

平成 22 年度大学院博士前期課程修士論文

初級日本語教科書における「-テイル」の考察  
－「運動の持続」と「結果の状態」の用法を中心に－

**An Analysis of Japanese Aspect Marker "-te iru" in Basic Japanese Textbooks:  
Focusing on the Progressive and the Resultative State Usages**

東京外国語大学大学院  
総合国際学研究所 言語応用専攻 日本語教育学専修コース  
**5109007**  
ハリ・スティアワン

## 要旨

日本語の文法を学習する際、アスペクト表現の「ーテイル」は最も困難な文法項目の一つであると指摘されている(寺村 1984)。また、中・上級学習者であっても、初級段階で習った「ーテイル」の基本的な用法が理解できない、あるいは使えないことが明らかであるため、初級段階の「ーテイル」の扱われ方を調べる必要があるという指摘もなされている。

これまでの「ーテイル」の習得に関する研究は、学習者言語または、学習者のアウトプットを中心にした研究が多く、学習者が受けるインプットの1つである教科書を対象とした研究はいまだ見られない。野田(2001)は、教科書の中にある文法項目の提示の傾向が、かえって誤用を導く可能性があることを指摘しており、初級日本語教科書に注目してインプットとしての特徴を明らかにする必要性を説いている。特にインドネシアなどの外国語学習環境では、日本語のインプットとなるメディアが少なく、学習者は教科書に依存しているのが現状である。以上を踏まえて、本研究では、教科書でインプットの観点から「ーテイル」の扱われ方について考察する。

本研究では、2つの研究設問を設定した。まず、初級日本語教科書において、どのような「ーテイル」の用法が扱われ、どのような順序で提示されているのか。そして、各教科書の特徴を踏まえて、「運動の持続」と「結果の状態」の用法にどのような傾向が見られるのかという設問である。

今回の調査は、『みんなの日本語初級 I・II』と『Situational Functional Japanese Volume 1・2・3』を対象にし、初級日本語教科書における「ーテイル」の扱われ方について調べる。データ収集の取り扱う範囲は、各教科書の本冊と文法解説が書かれている補助教材である。これらの範囲から、本文、文法解説などの学習する際のインプットだと考えられる部分から「ーテイル」が含まれている例文を抽出する。抽出した例文を許(2000)が提案した「ーテイル」の用法分類を参考にして分類した。「ーテイル」の全体的な傾向を見るため、「ーテイル」だけではなく、「ーテイタ」、「ーテイナイ」、連体修飾の例文もデータとして扱うとする。

それぞれの教科書で4つの用法が扱われているが、分析した結果を見ると、教科書によって扱われている用法が異なっている。『みんな初級』では、導入の順に、「運動の持続(一長期)」、「結果の状態」、「運動の持続(+長期)」、「繰り返し」といった用法が扱われている。そして、『SFJ』の場合は、「結果の状態」、「性質・状態(+可変性)」、「運動の持続(+長期)」、「運動の持続(一長期)」といった用法が扱われている。尚、各教科書の例文に扱われている用法以外に、他の用法を表しているものも見られ、『みんな初級』では、「性質・状態(+可変性)」と「経歴・経験」を表している例文が出ている。一方、『SFJ』の場合は、「繰り返し」と「経歴・経験」を表してい

る例文が出ている。さらに、『SFJ』では、「ーテイナイ」と「ーテイタ」についての導入があり、「ーテイル」の用法と同じように解説されている。

『みんな初級』は構造シラバスを採用しているため、文法項目を簡単な項目から難しい項目という順に提示している。一方、『SFJ』の場合は、構造シラバス、場面シラバス、機能シラバスなどが含まれた複合的なシラバスを採用し、コミュニケーションの場面に応じて、必要な文法項目を提示している。教科書を分析した結果を見ると、採用したシラバスによる背景は「ーテイル」の用法の導入に影響を与えているということが分かった。「ーテイル」の用法の導入の順番を見ると、『みんな初級』では、習得がされやすいと言われている「運動の持続」は「結果の状態」より先に導入されている。しかし、『SFJ』では、「運動の持続」より「結果の状態」の用法が必要になる場面が先に出ているため、「結果の状態」の用法が最初に導入されている。

更に、各教科書の例文の分布を見ると、『みんな初級』は、「ーテイル」が導入されてから、その例文の数が少なくなっていく傾向にある。その一方、『SFJ』では、『みんな初級』と異なり、導入された後も例文がまだ出され、例文の数が多くなっていく用法さえある。この例文の分布の違いも、おそらくシラバスの違いによるものだと考えられる。そのような傾向は「動作のやりもらい」にも見られる。

## Abstract

Many studies regarding the acquisition of “-te iru”, focus on the learner’s language output and there are very few research that focus on textbooks as the input in the language studies. Noda (2001) says, that there is a possibility that introduction of grammatical items in textbooks tend to lead the learners to misuse of “-te iru”. Thus, he argues that there is a necessity to clarify the characteristics of the grammatical items in the basic level textbooks as a language input. Especially, in the study abroad setting, such as in Indonesia, non-textbook sources for the input of Japanese are limited, therefore Indonesian Japanese learners mostly depend on textbooks. This research will discuss about the introduction of “-te iru” in the basic level textbooks from the input viewpoint.

The researcher sets 2 research questions: first, what usages of “-te iru” are introduced and in what order is it introduced in the basic level textbooks. Second, what tendency is seen in the usages of “the progressive” and “the resultatives state” based on the features of each textbook.

This research examines how “-te iru” is introduced in “Minna no Nihongo Shokyu” and “Situational Functional Japanese”. The data in this research include the main textbook and it’s grammatical explanation, from which “-te iru” sentences are collected and classified based on Kyo (2000)’s “-te iru” usages classification. In order to identify general tendency of “-te iru” in textbooks, “-te ita”, “-te ina” and adnominal are also included as data.

Each textbooks recognizes 4 different usages of “-te iru” based on Kyo (2000)’s classification. The usages in “Minna Shokyu” based on the introduction order are, “Progressive usage, - long term”, “Resultative state usage”, “Progressive usage, + long term” and “Repetition usage”. In “SFJ” are “Resultative state usage”, “Quality – state usage, +variability”, “Progressive usage, + long term” and “Progressive usage, - long term”. However, this research finds that there are actually 2 additional usages of “-te iru” in each textbook: In “Minna shokyu” there are “Quality – state usage, + variability” and “history – experience usage”. In “SFJ” are “Quality – state usage, + variability” and “Repetition usage”. Furthermore, in “SFJ” there are an introduction and explanation about “-te ina” and “-te ita”.

The analysis also shows that the syllabus adopted by each textbook affect how the grammatical items are introduced. If we look at how “-te iru” usages are introduced on each textbook, “Minna shokyu” intruduces “Progressive usage, - long term” earlier than “Resultative state usage”, while “SFJ”

introduces “Resultative state usage” earlier than “Progressive usage, - long term” because the setting which need “Resultative state usage” is introduced earlier.

Moreover, if we look at the distribution of the examples of “-te iru” in each textbook, in “Minna shokyu”, after the “-te iru” usages are being introduced, the number of examples tend to decrease. On the other hand, in “SFJ” the examples can still be found, some of which show increase in subsequent chapters. The researcher argues that these differences are affected by the different syllabus.

## 目次

目次	i
表のリスト	iii
図のリスト	iv
1. はじめに	1
2. 「ーテイル」に関する先行研究	2
2.1 「ーテイル」の用法分類に関する選考研究	2
2.2 「ーテイル」に関する習得研究	4
2.3 パイロット調査	8
3. 研究方法	12
3.1 研究設問	12
3.2 研究対象	13
3.3 教科書の特徴	14
3.3.1 『みんな初級』	14
3.3.1.1 『みんな初級』の全構成	15
3.3.1.2 『みんな初級』の各課の構成	16
3.3.1.3 『みんな初級』の文法項目	16
3.3.2 『SFJ』	17
3.3.2.1 『SFJ』の全構成	17
3.3.2.2 『SFJ』の各課の構成	18
3.3.2.3 『SFJ』の文法項目	20
3.4 「ーテイル」のデータ収集の取り扱う範囲	21
3.5 「ーテイル」の用法の捉え方	22
3.6 データ分析の方法	25
4. 分析結果と考察	25
4.1 『みんな初級』	25
4.1.1 『みんな初級 I & みんな初級解説 I 』	29
4.1.2 『みんな初級 II & みんな初級解説 II 』	32
4.1.3 『みんな初級』の全体的な傾向	36
4.2 『SFJ』	42
4.2.1 『SFJ Vol. 1』	45
4.2.2 『SFJ Vol. 2』	48
4.2.3 『SFJ Vol. 3』	53
4.2.4 『SFJ』の全体的傾向	57
4.3 考察	64
5. おわりに	81

5.1 結論	81
5.2 日本語教育への示唆	84
5.3 今後の課題	84
参考文献	85
資料 1 『みんなの日本語初級』の文法項目	89
資料 2 『Situational Functional Japanese』の各課のタイトル	97
資料 3 『Situational Functional Japanese』の文法項目	98
資料 4 『みんなの日本語初級』のデータ	103
資料 5 『Situational Functional Japanese』のデータ	110

## 表のリスト

表. 1 「ーテイル」の習得に関する研究	7
表. 2 パイロット調査の結果	10
表. 3 各教科書のデータ収集の取り扱う範囲	21
表. 4 『みんな初級』の「ーテイル」の順序と比率	26
表. 5 パイロット調査の『みんな初級』の分析結果	27
表. 6 本研究の『みんな初級』と『みんな初級解説』のデータの比較	28
表. 7 『みんな初級 I』の本冊と解説の例文の数	31
表. 8 『みんな初級 I』の「ーテイル」の動詞	32
表. 9 『みんな初級 II』と『みんな初級解説 II』の例文の数	34
表. 10 『みんな初級 II』の「ーテイル」の例文の動詞	35
表. 11 『みんな初級 I & II』の「ーテイル」の例文の動詞	39
表. 12 『みんな初級』の「運動の持続」の動詞	41
表. 13 『みんな初級』の「結果の状態」の動詞	42
表. 14 『SFJ』の「ーテイル」の順序と比率	42
表. 15 『SFJ Vol. 1』の「ーテイル」の例文の動詞	48
表. 16 『SFJ Vol. 2』の「ーテイル」の例文の動詞	51
表. 17 『SFJ Vol. 3』の「ーテイル」の例文の動詞	55
表. 18 『SFJ Vol. 3』の「サ変動詞」と「等」の動詞	56
表. 19 『SFJ』の「ーテイル」の例文の動詞	60
表. 20 『SFJ』の「サ変動詞」と「等」の動詞	60
表. 21 『SFJ』の「運動の持続」と「結果の状態」の動詞	62
表. 22 「ーテイル」の順序と比率	64
表. 23 各教科書の「ーテイル」の導入順序	68
表. 24 『みんな初級』の「ーテイル」の導入順序	81
表. 25 許 (2000) による『みんな初級』の「ーテイル」の用法	81
表. 26 『SFJ』の「ーテイル」の用法	82
表. 27 許 (2000) による『SFJ』の「ーテイル」の用法	83

## 図のリスト

図. 1 『みんな初級』の「ーテイル」の用法比率	27
図. 2 『みんな初級』と『みんな初級解説』の例文の分布	29
図. 3 『みんな初級Ⅰ』の「ーテイル」の例文の分布	30
図. 4 『みんな初級Ⅰ』と『みんな初級解説Ⅰ』の「ーテイル」の用法の比	30
図. 5 『みんな初級Ⅱ』の「ーテイル」の例文の分布	33
図. 6 『みんな初級Ⅱ』と『みんな初級解説Ⅱ』の「ーテイル」の用法の比率	34
図. 7 『みんな初級』の用法ごとの傾向	37
図. 8 『みんな初級』の「運動の持続」&「結果の状態」の全体的な傾向	40,80
図. 9 『みんな初級』の「運動の持続」の(+&-長期)の全体的な傾向	41
図. 10 『SFJ』の「ーテイル」の用法比率	44
図. 11 『SFJ』の「ーテイル」の例文の分布	45
図. 12 『SFJ Vol. 1』の「ーテイル」の例文の分布	46
図. 13 『SFJ Vol. 1』の「ーテイル」の用法の比率	46
図. 14 『SFJ Vol. 2』の「ーテイル」の例文の分布	49
図. 15 『SFJ Vol. 2』の第15課の「ーテイル」の用法の傾向	49
図. 16 『SFJ Vol. 2』の「ーテイル」の用法の比率	50
図. 17 『SFJ Vol. 3』の「ーテイル」の例文の分布	53
図. 18 『SFJ Vol. 3』の「ーテイル」の用法の比率	53
図. 19 『SFJ』の用法ごとの傾向	57
図. 20 『SFJ』の「運動の持続」&「結果の状態」の全体的な傾向	62,80
図. 21 『SFJ』の「運動の持続」の(+&-長期)の全体的な傾向	62
図. 22 各教科書の用法の比率	65
図. 23 各教科書の連体修飾としての「ーテイル」の例文の比率	66
図. 24 『みんな初級』の例文の傾向	67
図. 25 『SFJ』の例文の傾向	67
図. 26 各教科書の「ーテイル」、「ーテイナイ」と「ーテイタ」の比率	69
図. 27 『みんな初級』の「結果の状態」の傾向	69
図. 28 『SFJ』の「結果の状態」の傾向	70
図. 29 『みんな初級』の「運動の持続(ー長期)」の傾向	71
図. 30 『SFJ』の「運動の持続(ー長期)」の傾向	71
図. 31 『みんな初級』の「運動の持続(+長期)」の傾向	73
図. 32 『SFJ』の「運動の持続(+長期)」の傾向	73
図. 33 『みんな初級』の「繰り返し」の傾向	75
図. 34 『SFJ』の「繰り返し」の傾向	75
図. 35 『みんな初級』の「性質・状態(+可変性)」の傾向	76

図. 36 『SFJ』の「性質・状態（+可変性）」の傾向 .....	77
図. 37 『みんな初級』の「経歴・経験」の傾向 .....	78
図. 38 『SFJ』の「経歴・経験」の傾向 .....	78

## 1. はじめに

日本語の文法を学習する際、アスペクト表現の「ーテイル」は最も困難な文法項目の一つであると指摘されている(寺村 1984)。また、中・上級学習者であっても、初級段階で習った「ーテイル」の基本的な用法が理解できない、あるいは使えないことが明らかであるため、初級段階の「ーテイル」の扱われ方を調べる必要があるという指摘もなされている。

これまでのアスペクト表現、特に「ーテイル」の習得に関する研究は、文字化された学習者の発話資料や書き資料などのいわゆる学習者言語、文法性判断テストなど、学習者のアウトプットを中心にした研究が多く、学習者が受けるインプットの1つである教科書を対象とした研究はいまだ見られない。教科書は、学習者のニーズに合わせて、作成されるものであり、ある程度文法項目を体系的に提出されているが、野田(2001)は、教科書の中にある文法項目の提出の傾向が、かえって誤用を導く可能性があることを指摘しており、初級日本語教科書に注目してインプットとしての特徴を明らかにする必要性を説いている。特にインドネシアなどの外国語学習環境では、日本語を使ったメディアが少なく、周囲にいる日本語母語話者や、ネイティブの日本語講師などの数も限られているため、インドネシアの日本語学習者は大体教科書に依存しているのが現状である。このような状況で、主要なインプットとなる教科書を研究対象にし、インプットの観点から研究を行うことにより、「ーテイル」の習得研究を新たな視点から捉えられるのではないだろうか。

以上をふまえ、本研究では、初級日本語教科書の分析を通じて、「ーテイル」が初級日本語教科書においてどのように扱われているかを明らかにしたい。これによって、各教科書で登場している「ーテイル」の例文の特徴、扱われている「ーテイル」の用法の傾向などが分かり、日本語教育現場において「ーテイル」の指導の留意点になると考えられる。また、初級教科書の作成において、今回の調査結果を応用することも期待できると考えられる。

本研究は、『みんなの日本語初級』と『Situational Functional Japanese』を対象にし、初級日本語教科書における「ーテイル」の扱われ方について調べる。データ収集の取り扱う範囲として、各教科書の本冊と文法解説が書かれている補助教材である。それらの範囲から、本文、文法解説といった学習する際インプットだと思われる部分から「ーテイル」が含まれている例文を抽出する。抽出した例文を許(2000)が提案した「ーテイル」の用法分類を参考にして分類した。「ーテイル」の全体的な傾向が見られるため、「ーテイル」だけではなく、「ーテイタ」、「ーテイナイ」、連体修飾の例文もデータとして扱うとする。

例文を用法ごとに分類し、各用法にどのような傾向が見られるのかを調べる。また、各用法の例文にどのような特徴あるのか、どのような頻度で登場するのかについて明らかにする。更に、「一テイル」の先行研究で議論されてきた「運動の持続」と「結果の状態」の用法は、2つの教科書においてどのような傾向にあるのかということに焦点を当てたい。

本研究の構成として、5の章から成っている。第1章では、本研究の背景、動機、本研究の全体的な内容を述べている。第2章では、「一テイル」に関する先行研究を述べ、第3章は、各教科書の基本的な情報、特徴などのような説明になっている。第4章では、各教科書の分析結果を書き、第5章では結論や、今後の課題などを述べる。

## 2. 「一テイル」に関する先行研究

本章では、「一テイル」に関する先行研究を概観する。2つの部分に分けており、「一テイル」の用法分類に関する部分と「一テイル」に関する習得研究のものである。本章では、「一テイル」の用法分類に関する先行研究を3つ紹介し、古川(1971)、寺村(1982)と砂川(1986)の研究がある。これらの研究は、「一テイル」の用法を巡って書かれたものであり、他の研究においても頻繁に参考にされているものである。

「一テイル」の習得に関する研究については、3名の学者の研究を参考にし、黒野(1995)、許(1997、2000)と菅谷(2003、2004、2006)の研究がある。黒野(1995)では、「一テイル」の基本的な用法である「動作の継続」と「結果の状態」についての調査が行われた。また、許(1997、2000)は、OPIの発話資料に基づき、行われた習得研究である。本研究では、許(2000)の「一テイル」の用法分類を参考にしてデータ分析を行う。また、菅谷(2003、2004、2006)、特に菅谷(2003)は、教室習得中心の学習者について述べられ、本研究の背景になる先行研究である。

### 2.1 「一テイル」の用法分類に関する先行研究

古川(1971)は、「一している」の基本的な意味として、「動作・作用の継続」と「動作・作用の結果の状態」の2つだと述べている。動作・作用の過程を見ると、その途中の部分に注目した表現が「動作・作用の継続」の用法であり、その結果に注目した表現が「動作・作用の結果の状態」の用法である。

派生的な用法には、「単なる状態」の用法があり、「動作・作用の結果の状態」から派生しているものである。「単なる状態」の用法は「動作・作用の結果の状態」と同じように静的な状態を表すものだと考えられる。しかし、「動作・作用の結果の状態」は、前提となる動作・作用を考えて、その結果の状態を表したのであるのに対して、「単なる状態」は、前提となる動作・作用を問題にしないのである。更に、「動作・作用の結果の状態」から派生した用法としても考えられるのは、「経験」の用法である。「経験」は、間接的な状態で、目に見えないような形の結果を示している用法である。最後に、「繰り返し」の用法が挙げられ、これも「動作・作用の継続」の用法からの派生したものである。この用法は、同じ言葉で表される個々の過程がいくつか集まったものの全体を1つの過程と見て、個々の過程が次々に行われるということを示している。

寺村(1982)では、「一テイル」の意味に関して、基本的な意味として考えられるのは次のように述べている。

a. 動作や現象が継続していることを表す場合。例：

- 赤ん坊が泣いている。
- 村の人がもちをついている。
- 雪が降っている。

b. ある過去(以前)の出来事が終わって、その結果が今ある状態として残っていることを表す場合。

例：

- 金魚が死んでいる。
- 筑波では、繭玉行事が始まっている。
- あそこに百円玉が落ちている。

また、派生的な意味もあり、それらの意味は次のようである。

a. 習慣を表す用法。例：

- 父はこの頃6時頃には起きています。
- 父は最近朝30分程ジョギングをしています。

b. 過去の事実を回想し、いわば頭の中に再現させるような用法。例：

- その年、東京には二度大雪が降っている。
- あの人はたくさんの小説を書いている。

c. 最後の用法は形容詞的な動詞の場合に見られる用法。例：

- この作品が一番優れている。
- 団子は繭の玉の形をしている。

- 窓の外は白く、冷え冷えとしている。

砂川 (1986) は、基本的な意味「動作の継続、結果の状態」と派生的な意味「習慣／反復、経験／回顧、単なる状態」のほかにも、更に派生的な意味を加えた。それらの意味は次のようである。

a. 反実仮想

- もしあの飛行機に乗っていたら、みんな死んでいたね。

b. 慣用法

- あなたは高橋さんを知っていますか。
- すみませんが、ライターを持っていますか。

c. 所属／職業

- 私は高校で数学を教えています。

3つの研究で述べられている「ーテイル」の用法を見ると、古川 (1971) と寺村 (1982) では、同じ用法が述べられ、基本的なもの（結果の状態・動作の持続）と派生的なもの（単なる状態・経験・繰り返し）である。それに対して、砂川 (1986) では、派生的なものに関して、古川 (1971) と寺村 (1982) で述べられたものに「反実仮想」と「慣用法」の用法が加わっている。砂川 (1986) も「繰り返し」を2つに解体し、「習慣」と「反復」の用法である。更に、「動作の持続」から派生した用法だと考えられるものも設けており、「所属・職業」というものである。

## 2.2 「ーテイル」に関する習得研究

黒野 (1995) は、いろいろな言語を母語とする初級日本語学習者を実験の対象とし、「動作の継続」と「結果の状態」という2つの基本的な用法のどちらが習得困難であるか、また習得過程がどのように異なるか、文法性判断テストを用いて調査している。

調査の対象は、名古屋大学言語文化部春季特別日本語講座の初級クラスを受講していた留学生17名である。留学生の母語は中国、ベンガル語などの様々であり、年齢は20代後半から30代前半がほとんどである。

その結果、まず、「結果の状態」の用法は、「動作の継続」の用法よりも習得が困難であることが分かった。次に、それぞれの習得過程では3つの段階が見られた。

「動作の継続」の習得過程：

- 「ール」が「動作の継続」を表すと判断する段階。
- 「ール」と「ーテイル」の両方が「動作の継続」を表すと判断する段階。
- 「ーテイル」が「動作の継続」を表すと判断する段階。

「結果の状態」の習得過程：

a. 「ール」が「結果の状態」を表すと判断する段階。

b. 「ータ」が「結果の状態」を表すと判断する段階。

「ーテイル」が「結果の状態」を表すと判断する段階。

許（1997）は、日本と台湾にいる中・上級台湾人日本語学習者を対象にし、絵を用いたオーラルプロダクションと文法テストを用いて、「ーテイル」の習得を横断的に調査した。その結果、「結果の状態」の用法は「動作の継続」の用法よりも習得が困難であると報告し、黒野（1995）の調査結果と一致している。その上、この調査によって、台湾と日本で学ぶ学習者にとって、「ーテイル」の8種類の用法の習得難易度は難しい順に「経歴・経験」、「反実仮想」、「結果の状態」、「動作の持続」、「習慣・繰り返し」、「形容詞的な働き」、「慣用法」、「所属・職業」であることが分かった。許の調査からも学習環境の違いが「ーテイル」の習得に影響を与えうることが示唆された。

許（2000）も、学習者の自然な発話における「ーテイル」の習得状況について、中国語、韓国語、英語母語話者、それぞれ30名（初級・中級・上級・超級の4レベル）のOPIの発話資料に基づき、考察している。これまでの日本語学のアスペクト研究で扱われている「ーテイル」の用法は、「ーテイル」の基本的な用法として「動作の持続」と「結果の状態」を設定し、さらにその派生的な用法として「繰り返し」、「単なる状態」、「経験」があることについては大体一致した見解がある。許の研究はその5つの用法を参考にし、学習者のデータを分析する基準を新たに設定した。その基準は以下のようなものである。

- 運動の持続（その下位分類として「+長期」と「-長期」を設定する）
- 結果の状態
- 繰り返し
- 性質・状態（その下位分類として「+可変性」と「-可変性」を設定する）
- 経歴・経験
- 状態の変化

その結果、次のようなことが明らかになった。

a. 「ーテイル」の習得は、中国語・韓国語・英語を母語とする学習者の間に普遍的な傾向が見られ、初級から超級までの日本語レベルに沿って習得順序がほぼ一致している。

b. 「ーテイル」の習得は、「現在性」「持続性」「運動性」という三つの典型的な要素をどの程度表しているかというプロトタイプ性と関連している。「ーテイル」の意味がこの3つの要素を欠

けば欠くほど、またこの3つ以外の要素を加えれば加えるほど、「ーテイル」の意味の習得が遅くなる。

また、許も、この研究において、中・上級の学習者であっても、初級段階で習った「ーテイル」の基本的な意味が理解できない、あるいは使えないことを指摘している。

菅谷は、「ーテイル」に関する一連の研究をしており、本研究で参考にしたものは3つある。3つの研究のうち2つが「ーテイル」の習得に関する研究で、1つはアスペクトとテンスの使い分けに関する研究である。

菅谷(2003)では、日本語学習者の「ーテイル」の中心的用法である「動作の持続」と「結果の状態」の使用状況に関して縦断的な調査が行われており、その習得過程を考察している。調査対象は、日本語を自然習得により学習してきたロシア語母語話者と教室習得中心のテルグ語母語話者である。データ収集は、インタビューによるもので、日記インタビューとOPIの方法が使用された。調査の結果、教室習得中心の学習者には全体的に使用数が少ないが、「結果の状態」に比べ、「動作の持続」の出現が早く、正用率も高くなっていることが分かった。一方、自然習得した学習者の方が「結果の状態」と「動作の継続」の両方を様々な動詞で用いており、正用率も高かったと結論づけている。

菅谷(2004)は、文法テストによる日本語学習者のアスペクト習得について調査をしている。この研究では、L1の役割の検討も加わっており、L1における進行形の有無の影響の調査が行われている。研究の対象は、母語に進行形のない学習者(L1ロシア語、ブルガリア語、ドイツ語)と進行形のある学習者(L1英語)である。調査は「動作の持続」と「結果の状態」の「ーテイル」の用法の習得を中心にして行われた。また、比較データとして、21名の日本語母語話者からもデータを収集した。学習者を完結相の得点に基づき、上位群と下位群に分類した。文法テストは、会話文の空欄箇所に、ル、タ、テイル、テイタの中から適切な動詞語形を全て選んであてはめる形式のものである。結果として、L1に関わらず、日本語学習者は「動作の持続」の方が習得しやすいと言える。また、この結果は、先行研究で報告されてきた「動作の持続」→「結果の状態」という習得パターンには、L1以外の要因が働いているということを示唆している。尚、菅谷(2004)も意味と形のマッピングの複雑さ、インストラクションの影響などが習得に強く影響している可能性を指摘している。

菅谷(2006)では、日本語学習者を対象にテンス・アスペクト形式の使い分けについての調査が行われた。調査の対象は、中上級の日本語学習者61名で、L1に進行形のない学習者が35名(ドイツ語17、ロシア語16、ブルガリア語2)とL1に進行形のある学習者が26名(L1英語)である。また、比較として、日本語母語話者(21名)のデータも使用されている。調査はOPI、絵の口頭描写タスク、文法性判断テスト、フェイスシート記入の順に行われた。結果として、テイルで習得されやすい動詞

とルやタで習得されやすい動詞があることが確認された。また、テイルの用法だけでなく、個々の動詞によりテイルの習得難易度が異なる可能性が指摘された。さらに、教科書などで提示される動詞の語形と母語話者からのインプットの語形に偏りがあり、それが学習者の選択語形に影響している可能性も考えられる。

「ーテイル」の習得に関する研究をまとめると次のようになる。

	被験者	調査の方法	主な結果
黒野 (1995)	留学生 17 名 母語：中国、ベンガル語等 年齢：20 代後半～30 代前半	文法性判断テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>「結果の状態」の用法は、「動作の継続」の用法よりも習得が困難である。</li> <li>それぞれの習得過程では 3 つの段階が見られた。</li> </ul>
許 (1997)	日本と台湾にいる中・上級台湾人日本語学習者	OPI、文法テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>「結果の状態」と「動作の継続」の習得に関して黒野（1995）の調査結果と一致している。</li> <li>学習環境の違いが「ーテイル」の習得に影響を与えうることが示唆された。</li> </ul>
許 (2000)	90 名 母語：中国語、韓国語、英語 それぞれ、初級：5 人、中級：10 人、上級：10 人、超級：5 人ずつ	KY コーパス (90 人分の OPI データを文字化した言語資料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ーテイル」の習得は、学習者の間に普遍的な傾向が見られた。</li> <li>「ーテイル」の習得は、「現在性」「持続性」「運動性」という三つの典型的な要素と関連している。</li> <li>中・上級の学習者であっても、初級段階で習った「ーテイル」の基本的な意味が理解できない、あるいは使えない。</li> </ul>
菅谷 (2003)	自然習得のロシア語母語話者：1 名 教室習得中心のテルグ語母語話者：1 名	日記インタビュー、OPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室習得中心の学習者には全体的に使用数が少ないが、「結果の状態」に比べ、「動作の持続」の出現が早く、正用率も高くなっている。</li> <li>自然習得した学習者の方が「結果の状</li> </ul>

			態」と「動作の継続」の両方を様々な動詞で用いており、正用率も高かった。
菅谷 (2004)	61名 母語に進行形のない学習者 35名 (ロシア語:16名、ブルガリア語: 2名、ドイツ語:17名) 進行形のある学習者(英語:26名) 日本語母語話者:21名	OPI、絵の口頭描写タスク、文法テスト、フェイスシートを1対1個別で実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● L1に関わらず、日本語学習者は「動作の持続」の方が習得しやすい。</li> <li>● 「動作の持続」→「結果の状態」という習得パターンには、L1以外の要因が働いている。</li> </ul>
菅谷 (2006)	61名 母語に進行形のない学習者 35名 (ロシア語:16名、ブルガリア語: 2名、ドイツ語:17名) 進行形のある学習者(英語:26名) 日本語母語話者:21名	OPI、絵の口頭描写タスク、文法テスト、フェイスシートを1対1個別で実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テイルで習得されやすい動詞とルヤタで習得されやすい動詞がある。</li> <li>● テイルの用法だけでなく、個々の動詞によりテイルの習得難易度が異なる可能性が指摘された。</li> <li>● 教科書などで提示される動詞の語形と母語話者からのインプットの語形に偏りがあり、それが学習者の選択語形に影響している。</li> </ul>

表.1 「一テイル」の習得に関する研究

### 2.3 パイロット調査(2008)

筆者は初級日本語教科書における「一テイル」の取り扱いについて2008年にパイロット調査を試みた。このパイロット調査は5つの初級日本語教科書を対象に、「動作の持続」と「結果の状態」の用法を中心にして行ったものである。分析の対象にする教科書は、林(2004)の教科書の選定基準を参考にして選定した。その基準とは、国際交流基金の調査などを参考にし、国内外で広く主教材として使われているものであること、入門から開始し、学習時間を300時間以内と指定する教科書であること、4技能の習得を満遍なく目指す総合教科書であること、の3つである。その5つの教科書は以下の通りである。

- 石沢弘子・豊田宗周監修（2000）『みんなの日本語初級 I と II』スリーエーネットワーク（以下：みんな）
- 国際交流基金（1981）『日本語初歩』凡人社（以下：初歩）
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター（1992）『日本語初級』三省堂（以下：初級）
- 文化外国語専門学校（2000）『新文化初級日本語』凡人社（以下：新文化）
- 吉田弥寿夫（1973）『Japanese For Today』Gakken（以下：JFT）

データ収集の範囲は、練習の部分、解説などを除いて、本冊の本文のみである。また、各教科書それぞれの補助教材や副教材を持っており、その数は各教科書によって異なっているため、補助教材や副教材などもデータ収集の範囲から外すことにした。

データの分析方法は、本研究の分析方法と同様である。まず、選択した教科書から「ーテイル」が含まれている文を取り出し、リストアップをする。次に、リストアップしたデータを、許（1997）の「ーテイル」の用法の分類を参考にして分類した。「ーテイル」の例文を用法ごとに決める際、筆者自身の判断だけによらず、筆者が調べたデータの一部を2人の日本語母語話者に依頼し、助言を得た。日本語母語話者がチェックしたデータを参考にし、筆者が残りのデータを分類し、分析を行った。このパイロット調査に協力した2人の日本語母語話者は、日本語教育に携わっており、日本語教育の経験がある人である。

以下はパイロット調査が参考にした許（1997）の「ーテイル」の用法分類である。

- |         |           |
|---------|-----------|
| ● 経歴・経験 | ● 習慣・繰り返し |
| ● 反実仮想  | ● 単なる状態   |
| ● 結果の状態 | ● 慣用法     |
| ● 動作の持続 | ● 所属・職業   |

データを分析した結果、以下の通りである。

JFT		
用法	初出課	出現数
動作の持続	7 課	99 (45.4%)
結果の状態	7 課	78 (35.8%)
習慣/反復	7 課	17 (7.8%)
慣用法	7 課	13 (6%)
単なる状態	7 課	9 (4.1%)
職業/所属	21 課	2 (0.9%)
経験	—	—
反実仮想	—	—
	合計	218

初級		
用法	初出課	出現数
動作の持続	11 課	101(47.8%)
結果の状態	11 課	69 (32.7%)
習慣/反復	15 課	13 (6.2%)
慣用法	13 課	9 (4.3%)
単なる状態	18 課	12 (5.7%)
職業/所属	11 課	7 (3.3%)
経験	—	—
反実仮想	—	—
	合計	211

みんな		
用法	初出課	出現数
動作の持続	14 課	31 (38.7%)
結果の状態	15 課	19 (23.8%)
習慣/反復	19 課	15 (18.7%)
慣用法	15 課	12 (15%)
単なる状態	—	—
職業/所属	15 課	3 (3.8%)
経験	—	—
反実仮想	—	—
	合計	80

新文化		
用法	初出課	出現数
動作の持続	10 課	92 (51.4%)
結果の状態	11 課	48 (26.8%)
習慣/反復	29 課	11 (6.1%)
慣用法	19 課	16 (9%)
単なる状態	—	—
職業/所属	11 課	9 (5%)
経験	11 課	3 (1.7%)
反実仮想	—	—
	合計	179

初歩		
用法	初出課	出現数
動作の持続	16 課	128 (58.2%)
結果の状態	16 課	55 (25%)
習慣/反復	16 課	7 (3.2%)
慣用法	17 課	7 (3.2%)
単なる状態	21 課	15 (6.8%)
職業/所属	16 課	5 (2.3%)
経験	19 課	3 (1.3%)
反実仮想	—	—
	合計	220

表. 2 パイロット調査の結果

表に示されているように、すべての教科書に必ず見られる用法は4つある。「動作の持続」、「結果の状態」、「習慣/反復」、「慣用法」である。また、教科書の例文として出ている「慣用法」は、「知っている」の出現が多く、ここで、許(2007)が指摘した「-テイル」のかたまりとしての使用が教科書に反映しているのではないかと思われる。更に、設定した「-テイル」の用法は8つあり、5つの教科書から「-テイル」の用法の種類が最も多く出ている教科書は『初歩』で、7種類の用法が出ている。『初歩』に出ている用法は、出されている順番に、次のようである。

- 動作の持続
- 結果の状態
- 習慣/反復
- 慣用法
- 単なる状態
- 職業/所属
- 経験

出されていない用法は、1つしかなく、「反実仮想」の用法である。一方、『みんな』は、8つの用法のうち5つの種類しか出ておらず、出されている「-テイル」の用法が最も少ない教科書である。また、「-テイル」の例文の数から見ると、『初歩』には220の例文が出ており、例文が最も多い教科書である。8種類の用法のうち「反実仮想」の用法の出現が全くない。その理由として、テンスと関わっており、より複雑な項目であるため、初級日本語の教科書には出されていないということが考えられる。

結果の表を見ると、5つの教科書に同じ傾向が見られる。まず、日本語のアスペクト表現の基本的な用法として、「動作の持続」と「結果の状態」が他の用法に比べ、出現数が多いということが分かった。また、「動作の持続」の用法の出現数は、「結果の状態」の用法の出現数より多く、特に『新文化』と『初歩』で出されている「動作の持続」の用法の例文は「-テイル」の例文の50%以上を占めている。

菅谷(2003)は、教室習得中心の学習者と自然習得中心の学習者を対象にした「-テイル」の習得研究を行い、教室習得中心の学習者の「結果の状態」の習得が自然習得中心の学習者の習得より遅いと結論付けた。このパイロット調査では、5つの教科書を分析し、「結果の状態」の例文が「動作の持続」の例文より少ないということが明らかになった。菅谷(2003)で取り上げられた教室習得中心の学習者の日本語学習は、教科書を中心に行われたものだと考えられるため、このパイロット調査の結果は菅谷(2003)の調査の結果と繋がっているのではないかと考えられる。なぜなら、教科書

に出されている「結果の状態」のインプットが少ないために、教室習得中心の学習者の「結果の状態」の習得が困難になっているという可能性が考えられるからである。

この調査では、データとして扱われたのは「ーテイル」が含まれている文のみであるため、「ーテイル」の全体的な傾向が見られたとは言えないと考えられる。そのため、本研究では、「ーテイル」のみならず、「ーテイタ」、「ーテイナイ」が含まれている例文もデータとして扱う。また、全体的な傾向が得られるため、連体修飾としてのものも収集し、分析の範囲に入れる。

パイロット調査において、許（1997）の「ーテイル」の用法分類を利用してデータを分析した際、「住んでいる」などのような長期的な動作の例文によって迷いが生じたため、本研究では、動作や、状態などをより細かく定義している許（2000）の用法分類を利用して分析を行うことにする。

そして、パイロット調査では、「ーテイル」の用法を動詞の部分だけ見て判断したため、用法の判断にミスが多かった。それで、本研究では「ーテイル」形の動詞だけではなく、文全体の文脈も見て「ーテイル」の用法を判断する。

また、パイロット調査では図を使わずに出したため、各「ーテイル」の用法の傾向を視覚的に見ることができなかった。そのため、本研究では図などを活かし、調査の結果を述べる。

### 3. 研究方法

本章では、研究設問、研究対象、対象の特徴について述べる。また、「ーテイル」のデータ収集の取り扱う範囲についても書き、更に「ーテイル」の用法の捉え方データ分析の方法も述べる。

#### 3.1 研究設問

本研究では、初級教科書において「ーテイル」の扱われ方についてインプットとしての観点から考察する。それに関して、筆者は2つの研究設問を設定した。

研究設問 1：初級日本語教科書において、「ーテイル」のどのような用法が扱われ、どのような順序で提示されているのか。

研究設問 2：各教科書の特徴を踏まえて、「運動の持続」と「結果の状態」の用法にどのような傾向が見られるのか。

### 3.2 研究対象

本研究では、『Situational Functional Japanese』と『みんなの日本語初級』の2つの教科書を中心として、初級日本語教科書における「一テイル」の取り扱いについて調べる。

パイロット調査では、5つの初級日本語教科書の本文における「一テイル」の取り扱いについて調べた。調査の結果として、5つの教科書にいくつか同じ傾向が見られた。まず、導入の順番で、「動作の持続」と「結果の状態」の用法は同じ順番で提示され、「動作の持続」→「結果の状態」というパターンで導入される。そして、教科書に提出される「動作の持続」と「結果の状態」の用法の例文の数で、「動作の持続」の例文の数が「結果の状態」の例文の数より、多いということが確認できた。したがって、5つの教科書に同じ傾向が見られたという結論が得られた。パイロット調査の対象にした初級教科書は構造シラバスを採用したものであるため、同じ傾向が見られたと考えられる。このように、本研究では構造シラバスだけでなく、他のシラバスを取り入れている初級教科書も対象にし、「一テイル」について見ていきたい。

国際交流基金の日本語教育国別情報によると、東南アジアでは、『みんなの日本語初級』は最も広いシェアを持っている教科書で、広く使われている教科書であると述べている。そのため、国際交流基金の日本語教育国別情報とパイロット調査の結果を踏まえて、パイロット調査の対象にした5つの教科書を『みんなの日本語初級』だけに絞り、従来の初級日本語教科書の代表として本研究の対象に選定した。

次の研究の対象は『Situational Functional Japanese』で、『みんなの日本語初級』と違うシラバスを使用しているから選定した。『Situational Functional Japanese』は、場面シラバス、機能シラバスと構造シラバスを複合的なシラバスを採用し、場面に応じて、必要な文法事項、言語の機能などを提出している。また、小早川(2005)では、『Situational Functional Japanese』は、自然の会話に近い項目や例文などを取り入れている教科書として報告されている。さらに、『Situational Functional Japanese』を見てみると、「一テイル」の各用法の導入の順序において、『みんなの日本語初級』と異なる導入の順序を取り入れている。

各教科書には、それぞれの副教材や、補助教材などが備わっているが、種類とその数に偏りがあるため、本研究では、問題集、視聴覚教材などを除いて、主教材(本冊)とその解説の部分だけに絞り、調査を行う。

以上の点を踏まえて、本研究では、『みんなの日本語初級』と『Situational Functional Japanese』を選定し、研究の対象にした。以下は本研究で扱う教科書の詳細である。

- 筑波ランゲージグループ (1996) 『Situational Functional Japanese, Volume 1, Second Edition』  
凡人社 (以下: SFJ Vol. 1)
- 筑波ランゲージグループ (1996) 『Situational Functional Japanese, Volume 2, Second Edition』  
凡人社 (以下: SFJ Vol. 2)
- 筑波ランゲージグループ (1994) 『Situational Functional Japanese, Volume 3, Second Edition』  
凡人社 (以下: SFJ Vol. 3)
- 石沢弘子・豊田宗周監修 (2005) 『みんなの日本語初級 I』スリーエーネットワーク (以下: みんな初級 I)
- 石沢弘子・豊田宗周監修 (2006) 『みんなの日本語初級 II』スリーエーネットワーク (以下: みんな初級 II)
- 石沢弘子・豊田宗周監修 (2010) 『みんなの日本語初級 I/翻訳・文法解説英語版』スリーエーネットワーク (以下: みんな初級解説 I)
- 石沢弘子・豊田宗周監修 (2002) 『みんなの日本語初級 II/翻訳・文法解説英語版』スリーエーネットワーク (以下: みんな初級解説 II)

尚、教科書の全体的な分析を述べる場合、『Situational Functional Japanese, Volume 1・Volume 2・Volume 3,』を省略し『SFJ』と書く。『みんなの日本語初級 I・II』の場合は、『みんな初級』と書く。

### 3.3 教科書の特徴

本研究では、『みんな初級』と『SFJ』における「一テイル」の扱われ方について調査する。次に、それぞれの教科書の特徴について述べる。

#### 3.3.1 『みんな初級』

『みんな初級』は世界中で広く使われている教科書で、『新日本語基礎』の姉妹版として 1998 年に始めて出版されたものである。教科書分析に関する研究でもよく使用され、分析されているため、従来の教科書の代表としても言えよう。近年、日本語の自然さや、言語習得研究などに基づいて作られた教科書が続々と出ており、日本語の教科書に対する観念も変わりつつある。その中でも『みんな初級』は、その使いやすさや、求めやすさなどでまだ広く使用されていると思われる。『みんな初級』は 10 カ国語以上に翻訳された文法解説の補助教材を設け、また、視聴覚教材、問題集、漢字練習帳などの副教材もあり、学習者の自律学習をサポートできるように作られていると考えられる。

『みんな初級』の対照は広く、職場、家庭、学校、地域などで日本語によるコミュニケーションを必要としている外国人の学習者である。また、進学のための予備教育、専門学校、大学などの短期集中コース用教科書としても勧められる。

### 3.3.1.1 『みんな初級』の全構成

『みんな初級』の主教材は、『本冊』、『翻訳・文法解説』と『語彙訳』によって構成されている。『本冊』は、初級の場合2つに分かれており、『みんなの日本語初級Ⅰ』（以下：みんな初級Ⅰ）と『みんなの日本語初級Ⅱ』（以下：みんな初級Ⅱ）である。『翻訳・文法解説』は、学習者の多様性と言語背景に対応し、学習者の理解を助けるために作られたものである。日本語教科書の中で、このような対応は非常に少なく、『みんな初級』の特徴として知られている。この『翻訳・文法解説』は、インドネシア語、タイ語、スペイン語、英語、韓国語、中国語などの10ヶ国語以上に翻訳され、初級日本語学習者の自律学習を計る教材だと思われる。

2つの『本冊』、『翻訳・文法解説』と『語彙訳』にそれぞれ25の課が扱われ、全て50の課がある。また、教材としては、以下のものがある。

- 標準問題集
- 漢字
- 漢字カードブック
- 漢字練習帳
- 書いて覚える文型練習帳
- 初級で読めるトピック 25
- やさしい作文

尚、総合的な教材として『みんな初級』も視聴覚教材を持っている。『みんな初級』の視聴覚教材は次のようである。

- CD
- 練習C・会話イラストシート
- 導入・練習イラスト集
- 絵教材 (B4サイズ・携帯用)
- 会話DVD
- 聴解タスク 25

教師側の教材として、『教え方の手引き』もあり、中に教材の基本情報、各教材の効率的な使い方、文法項目の導入し方、練習の仕方などが記載されている。それらの情報が具体的に書かれ、授業の準備が細かくできるため、授業もやりやすくなると思われる。

### 3.3.1.2 『みんな初級』の各課の構成

各課8ページずつ分配され、「文型」「例文」「会話」「練習A、B、C」「問題」という順番で構成されている。簡単な文法項目から難しい文法項目に展開していき、文法積み上げ式の構造シラバスが採用されている。

「文型」に、各課に学ぶ文型を示す項目で、各文型1つの例文で提示している。「例文」に各課に学ぶ文型の例文も提示されているが、質問、答え、実際の発話などの形に提示されている。また、「例文」にも、助詞、副詞などの文型以外の学習項目の導入も含まれている。「会話」の項目では、職場、家庭、地域などの場面での日常的な話題で、自然に近い会話文が紹介されている。練習はA、B、Cの3つのパターンがある。練習Aは代入練習と変換練習の形になっており、一目で学習項目が分かるように提示され、基本的に口頭練習の形で学習者を練習させる。練習Bでは、基本的な代入練習と変換練習以外、文の繰り返しドリル、文を完成するドリル、質問応答ドリルなどのパターンが設けられ、学習項目の機能や、形の変化などを学習者に定着させる。練習Cは、場面性のある会話の形で学習者を練習させ、場面に適切な慣用表現の使い方も提出される練習のパターンである。最後の項目である問題では、応用練習（学習者の状況に照らして答える形式）、聴解練習、などのような学習項目の習得度を確認するための問題が出されている。

『みんな初級』にもイラストが多用している。描かれたイラストは会話の場面や、例文の状況、登場人物の表現、様子などを細かく描かれているため、学習者も文法に対する理解を深めることができると思われる。

### 3.3.1.3 『みんな初級』の文法項目

上述したように、『みんな初級』は構造シラバスを採用し、文法積み上げ式の教科書なので、文法項目、または文型を中心にして、指導内容を展開する。『みんな初級』では、学習項目が「文型」で学習項目として紹介され、その文型の機能は次の「例文」に実際の会話でどのように使われるのかが示される。学習項目に場面性を加えたものは「会話」の部分に提示される。

『みんなの日本語初級』において、「丁寧体」が「普通体」より先に導入される。学習者が「丁寧体」について理解し、運用力も身に付けたと思われる時点で「普通体」が導入される。「普通体」を

導入後も「丁寧体」が会話とかでまだ示され、「丁寧体」と「普通体」の使い分けを学習者に身に付けさせる。

『みんな初級Ⅰ』は、文型を中心にし、学習項目を提示するが、『みんな初級Ⅱ』の場合は、動詞の中心にして、学習項目を提示するものである。各教材の文型の整理したものを資料1で確認できる。

『みんな初級』の基本的な導入の流れは、まず、文型や、例文の導入、次に練習A、B、C、に入り、会話、最後に問題集に展開するというように行われる。

『みんな初級』の「本冊」は、「聞く」「話す」を中心にして構成されているので、文字の指導は書かれていない。漢字、仮名などの文字指導は、別冊の『みんなの日本語初級 漢字』と、『みんな初級Ⅰ』の『みんなの日本語初級Ⅰ 漢字カードブック』を使って行われる。

### 3.3.2 『SFJ』

『SFJ』は、例文や、場面などから見ると、従来の教科書とは全く違う個性を持っている教科書だと考えられる。『SFJ』では、出された例文が非常に自然で、日本語母語話者の日常会話に近い。また、場面の選定からみると、日本語学習者がよく経験する場面で、応用力を養えるものと思われる。

『SFJ』は日本語学習経験が全くない人を対象にしている。必要な語彙、文法などの基本的な知識だけでなく、『SFJ』でも社会文化的な知識も提出され、実際のコミュニケーション場面で使えるような技能を学習者に身に付けさせる。『SFJ』も海外で勉強した経験のある人、または日本である期間生活しており、日本語に慣れているが、体系的に日本語を学習したことのないような学習者も対象にしている。

#### 3.3.2.1 『SFJ』の全構成

『SFJ』は2つの種類の教科書からなり、『Notes』という本冊と『Drill』という問題集である。『Notes』と『Drill』はさらに3つに分かれており、Volume 1, 2と3で、現在、ドイツ語、中国語、韓国語とスペイン語の4ヶ国語に翻訳されたものである。『Notes』と『Drill』の1冊につき、8つの課に構成され、全て24つの課が扱われている。

また、付属教材として、音声テープとビデオテープが提供され、教科書の登場人物の音調、表情、言葉遣いなどがどのように変わるかがより分かりやすく提示される。その他に、『SFJ』準拠の教材も2種類市販されており、学習者の自律学習をサポートする。

- 『わくわく文法リスニング 99』
- 『CAI Situational Functional Japanese』 CD-ROM 版

尚、著者である筑波ランゲージグループも『SFJ』の補助教材を開発している。開発中の補助教材は以下の通りである。

- 語彙練習用教材
  - 語彙リストと音声テープ
  - 単語作文練習
  - 単語クイズ
  - 単語絵カード
- SD (Structure Drills) 用補助教材
  - 文作文練習
  - 例文集
  - SD 復習シート
  - 練習用絵カード
- CD (Conversation Drills) 用補助教材
  - 日本語会話練習用ビデオ
  - CD 予習シート
  - CD 復習シート
- 読解技能養成教材
  - 基本的な読解技能養成教材
  - 素朴に応じた読解技能養成教材
- 作文技能養成教材

以上の補助教材は開発中の教材でもあり、著者側から、参考として紹介されたものである。著者側は、『SFJ』を使用している教師に以上のような補助教材があれば、より効率的に学習活動が行えると勧めている。

### 3.3.2.2 『SFJ』の各課の構成

『Notes』の第1課に入る前に、イントロダクション (Introduction to Japanese) とプリセッション (Pre-session) という部分がある。内容は第1課に入る前の準備、ウォーミングアップのようなものである。イントロダクションでは、日本語はどのような言語なのか、どのような文字、文法や発音を使っているのかを簡潔に紹介される。また、言語使用に当たって、必要な社会文化的な情報もあり、学習者は日本の社会でどのような立場を取って、コミュニケーションを行えばいいかという情報であ

る。プリセッションに入ると、日本語における述語についての説明が書かれており、日本語において、どのような述語があるか、どのように使われるかという説明である。イントロダクションとプリセッションに書かれている説明は英文で、英語圏の学習者向けの教科書だという意図が示されている。

『Notes』の各課には5つの部分があり、全てのタイトルは英語で書かれている。「Model Conversation (MC)」、「Report」、「New Words and Expressions」、「Grammar Notes (GN)」、「Conversation Notes (CN)」である。4つの課の後にある「まとめ」という部分は、学んだ文法項目のまとめになっている。また、学習者が学習した文法項目の理解を確認できるように、教科書の最後のページの辺りに「Grammar Check」という部分が設けられる。この部分を使って、学習者が自分でまたは、教師の指導の下で、学習項目の定着の確認ができる。

「MC」では、場面性のある会話が提示され、その課で学習する文法項目が紹介される。「MC」の始めに、登場人物の状況の説明、会話の展開のフォローチャート、絵などがあり、会話の場面が具体的に提示されている。また、各課の「MC」では、言葉遣いが初対面の際に使われるものから親しみを表す砕けたものに徐々に展開していき、心理的な距離の動きが描かれている。

「Report」の部分では、「Model Conversation」で話された内容を日記、手紙などの書き言葉の形に変えて、示され、書き言葉と話し言葉の違いを学習者に理解させる。「Report」と「Model Conversation」で扱われている進出の単語と表現が説明される場所である。ここで、単語や、表現の読み方ももちろん、英訳も付いており、より具体的な意味が学習者に提示される。次に「Grammar Notes (GN)」があり、各課の学習項目が説明される場所である。文法の説明、発音などが英文で書かれており、理解の助けになるようなイラストも豊富に使われている。「Conversation Notes (CN)」では、文法の説明ではなく、社会文化的な説明がメインになっており、一般知識とストラテジーという項目がある。一般知識は、人間関係に関する情報であり、異文化のギャップを埋めるという目的を持っている。ストラテジーの場合は、コミュニケーションに必要な談話ストラテジーが紹介される。ストラテジーは6つに分けて、まとめられている。

- 「事実」に関するストラテジー
- 「判断」に関するストラテジー
- 「感情」に関するストラテジー
- 「行動」に関するストラテジー
- 人間関係を円滑に行うための「社交」ストラテジー
- 会話の流れをコントロールするための「コミュニケーション」ストラテジー

「SFJ」の問題集として、「Drills」は、4つの部分から構成されており、「New Words in Drills」、「Structure Drills」、「Conversation Drills」、「Tasks and Activities」の部分である。「New Words in Drills」では、新出単語の説明が提示される。そして、「Structure Drills」は第1段階の練習で、学習した項目を定着させたり、文法項目に対する理解を深めたりする部分である。「Conversation Drills」の場合は、「Conversation Notes」で学習した社会文化的な知識や、会話ストラテジーなどの適切な使い方を学習者に身に付けさせる部分であり、4つの種類の練習し方で提示され、代入練習、応答練習、情報交換練習、ロールプレイの練習がある。最後に、「Tasks and Activities」では、会話だけではなく、読み書きを含めた4技能を全般にわたって実現に即した応用的な活動ができるようにすることを目標にしている。学習者に自然な場面の会話を聞かせたり、書かせたりして、タスクを与える。

### 3.3.2.3 『SFJ』の文法項目

「SFJ」は4技能から、話す・聞く力を学習者に身に付けさせることを目的とする教科書であり、漢字の読み書き、読解、作文などの技能を補うために他の補助教材と組み合わせで使用するのが勧められる。

「SFJ」にも「Situational Functional Japanese 教師用指導書」があり、「SFJ」の使用に当たって、勧められる効率的な教え方、練習の仕方、コースデザイン、カリキュラムなどが説明される。「みんなの日本語」のように「SFJ」も海外で使用されているが、「みんなの日本語」のように広く使われているとはまだ言えないであろう。「SFJ」はメキシコ、アメリカ、カナダ、イギリスなどの英語圏の国で使用されていると報告されている。

「SFJ」では、全ての文法解説は英語で提示されている。解説だけではなく、教科書の使い方なども英文で提示されている。上述したように、「SFJ: Volume 1」の最初の部分に、イントロダクションとプレセッションがあり、日本語がどのような言葉が説明される部分である。まず、イントロダクションに、3つの部分に分かれており、文法、発音と文字の部分である。文法の部分では、日本語の特徴、述語、品詞、助詞、日本における人間関係の仕組みなどの説明が簡潔に提示されている。特に助詞と人間関係についての説明は非常に分かりやすく、日本語学習の準備として適していると思われる。次の部分は発音の部分で、ここで、音節、アクセント、発音などが英語で簡潔に説明されている。文法説明の最後の部分は文字の説明で、日本語で使われている文字の基本的な説明、ひらがなとカタカナの書き方などが説明されている。

プレセッションでは、述語と述語の使用に関する説明が提示される。述語の説明に、動詞と形容詞の説明があり、動詞と形容詞の活用の説明が書かれている。また、述語を実際の会話でどのように使われているのかも分かりやすく説明されている。

プレセッションの後、第1課に入る前に、最後の説明になるのは、本冊の会話に出ている登場人物の説明が書かれ、図示されている。学習者が登場人物の背景を知ることによって、登場人物の言語使用も理解でき、学習項目の解釈に役に立つと考えられる。

タイトルから見ると、場面シラバスも取り入れられていることが分かった。『SFJ』の課のタイトルは資料3で確認できる。また、各課の文法項目を見ると、場面に応じて必要な文法項目や言語の機能などが挙げられ、各課の項目の分配を細かく数えると、数に決まりがない。そして、動詞について、一ます形から始まり、辞書形や、一て形など含めて、比較的早い段階で導入される。

### 3.4 「一テイル」のデータ収集の取り扱う範囲

本研究では、選定した教科書の「一テイル」が含まれている例文、会話文を取り出し、データとして扱う。

教科書によって、練習の仕方や、練習の容量などが異なっているため、練習の部分を除いて、各教科書の本文と文法解説の部分だけに絞り、「一テイル」が含まれている文をデータとして取り出す。各教科書のデータ収集の取り扱う範囲は以下の通りである。

みんな初級	SFJ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文型</li> <li>■ 例文</li> <li>■ 会話</li> <li>■ 翻訳・文法解説の「Grammar Explanation」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Model Conversation</li> <li>■ Report</li> <li>■ New Words and Expressions</li> <li>■ Grammar Notes</li> <li>■ Conversation Notes</li> <li>■ まとめ</li> </ul>

表.3 各教科書のデータ収集の取り扱う範囲

以上の部分から、「一テイル」が含まれている例文を取り出し、リストアップをする。学習のレベルが上がるにつれて、「一テイル」の例文も、過去、否定、受身、使役、敬語などの形で示されている。「一テイル」を全体的に調査するというを考えているため、過去、否定、受身、使役、敬語

の形の「ーテイル」の例文もデータとして扱うことにする。また、従属文としての「ーテイル」の例文もデータとして収集する。従属文としての「ーテイル」は、主文の出来事のテンスと関わっており、初級日本語の学習者にとって習得が非常に困難な項目で、「ーテイル」の習得が困難になっている原因として考えられるため、従属文としての「ーテイル」の例文を調べることにする。

また、1つの文に「ーテイル」形の動詞が2つ含まれている場合もあり、本研究では、それぞれの動詞が2つの意味、または状態を表している場合、2つのデータとして扱うとする。

### 3.5 「ーテイル」の用法の捉え方

「ーテイル」の用法に関して、本研究では、許(2000)の「ーテイル」の用法分類を参考にし、データを分類することにした。許(2000)の用法の分類は、「ーテイル」の用法が比較的細かく分類されていると判断したため、この分類を使うことにした。

本研究でデータの分析に使用する「ーテイル」の用法は以下の通りである。

#### a. 運動の持続(その下位分類として「+長期」と「-長期」を設定する)

- 運動の持続「+長期」(以下:UJ+)

長い期間の動作の持続を表すものである。中に「勤めている」、「働いている」のような従来「所属・職業」と言われてきたものも含まれている。例:

- 教師です。富士大学で教えています。(みんな初級 I p. 122)
- 職員 A: 駅間の営業所であつかってるんですよ。(SFJ Vol. 2 p. 156)
- 林さんは横浜に住んでいらっしやいます。(SFJ Vol. 2 p. 19)

- 運動の持続「-長期」(以下:UJ-)

一時的な動作を表すものである。例:

- 今、会議室で松本さんと話しています。(みんな初級 I p. 114)
- アニルさんはいま手紙を書いています。(SFJ Vol. 2 p.143)
- いえ。ちょっと見ているだけです。(SFJ Vol. 2 p.51)

#### b. 結果の状態(以下:KJ)

ある出来事が終わって、その結果が今ある状態として残っていることを表すものである。例:

- 窓が閉まっています。(みんな初級Ⅱ p.26)
- 鈴木:あ、いまソーターがこわれているから、ちょっと使わないで。(SFJ Vol. 1 p.175)
- お金が落ちています。(SFJ Vol. 2 p.115)

c. 繰返し (以下:KK)

動作の反復を表すものである。例:

- そうですね。たいてい絵をかいています。(みんな初級Ⅱ p. 18)
- 鈴木さんはいつもお金がないと言っているのだが、リサさんにはとても親切だった。  
(SFJ Vol. 2 p.131)
- 鈴木:こちらこそ。鈴木です。おうわさは山下くんからいつも聞いています。(SFJ Vol. 2 p.130)

d. 性質・状態 (その下位分類として「+可変性」と「-可変性」を設定する)

「性質・状態」は人や物の性質・状態を表し、変化の時点は明らかではない。2 つに分けることができ、「+可変性」と「-可変性」である。

「-可変性」は、同じ文脈でも基本形と過去形に置き換えられない場合と、「～タ」という形の連体修飾でも過去の意味が感じられない場合である。この基準に当てはまらないものは「+可変性」とする。「-可変性」として考えられるのは、形容詞的な動詞で、常に「-テイル形」で表示されているものが多い。

「+可変性」の場合は、可変性のあるものを指している。例として、「流行っている」という状態に、「流行っていない」という状態も考えられるため、「流行っている」は「+可変性」に入っている。

● 性質・状態「+可変性」 (以下: SJ+)、例:

- ところが、鈴木さんはテレビを2台持っているから、古いのをリサさんにあげると言った。(SFJ Vol. 2 p. 131)
- ...ええ。知らないことばを聞いたらすぐ調べられるように、持っているんです。(みんな初級Ⅱ p. 86)

- 鈴木：実は2台もあって、困ってたんです。（SFJ Vol. 2 p.131）

● 性質・状態「一可変性」（以下：SJ）、例：

- 弟は母と似ています。（許 2000：22）
- 学校と家はけっこう離れています。（許 2000：22）
- 道が曲がっている。

e. 経歴・経験（以下：KR）

以前に実現した運動が記録として現在残されていることや、以前に実現した運動が現在の状態に何らかの関わりを持っていることを表すものである。例：

- ...ええ、15歳まで大阪に住んでいました。（みんな初級解説Ⅱ p. 8）
- ミラーさんは来週大阪へ出張すると言っていました。（みんな初級Ⅱ p. 60）
- 子どもの時、インドに住んでいました。（SFJ Vol. 2 p.143）

本研究では、「～と言っています」の「一テイル」は、話し手の記録として考えられるため、経歴・経験の用法に入れることにする。また、「一ていない」という形も、文脈によって、経歴・経験という用法に分類できると考えられる。

- ...いいえ、まだ書いていません。（みんな初級Ⅱ p. 44）
- まだごはんを食べていません。（SFJ Vol. 1 p.206）
- まだ新聞を読んでいません。（SFJ Vol. 2 p.115）

以上の例文は、「まだ書いていない」という状態としても考えられるが、「まだ実現していない、そのような経験はがない」というような解釈も考えられるため、経歴・経験という用法にも分類できると思われる。

f. 状態の変化 (以下: JH)

「慣れてきている」、「増えている」のように、動詞自身の語彙的意味や補助動詞の関係で、その状態が変化しつつあることを表すものである。

- 日本の生活にも一応慣れてきています。(許 2000 : 22)

### 3.6 データ分析の方法

まず、上記のデータの取り扱う範囲から、「一テイル」が含まれている例文を取り出し、リストアップをした。次に、許(2000)の用法の分類を基にリストアップされたデータを分類した。分類する際、動詞の種類、話し手の視点、文脈などを見て、「一テイル」の用法を判断する。また、「一テイル」の用法を分類する際、筆者自身の判断だけによらず、筆者が調べたデータの一部を日本語母語話者に依頼し、助言を得ることとする。日本語母語話者がチェックしたデータを参考にし、筆者が残りのデータを分類する。調査に協力した日本語母語話者は、2名で、1名は日本語教育に携わっており、日本語を教えた経験のある人で、1名は日本語教育経験のない人である。

次に、各教科書の「一テイル」の初出課、出現数、扱われている用法、その提示の順序などを調査し、それぞれの教科書で出されている「一テイル」の例文の特徴を分析する。

最後に、以上の調査の結果に触れながら、教育現場における教科書の使用に当たって、どのような問題点が考えられるかを探り、「一テイル」の導入に関する留意点を考察する。

## 4. 分析結果と考察

### 4.1 『みんな初級』

『みんな初級』から、152の「一テイル」の例文が収集でき、許(2000)の分類方法に従って分類した。以下は本冊と解説を含めて、『みんな初級』の例文を分類した結果であり、各用法の提出順序と全体的な比率を表している表である。

用法	初出課	出現数 (比率)
運動の持続 (-長期) /UJ-	14 課	34 (22%)
性質・状態 (+可変性) /SJ+	14 課	24 (16%)
運動の持続 (+長期) /UJ+	15 課	33 (22%)
結果の状態/KJ	15 課	23 (15%)
繰り返し/KK	28 課	27 (18%)
経歴・経験/KR	28 課	11 (7%)
状態の変化/JH	—	—
性質・状態 (-可変性) /SJ-	—	—
合計		<b>152 (100%)</b>

表.4 『みんな初級』の「-テイル」の順序と比率

以上の表で見て分かるように、「-テイル」の例文は、第14課で初めて出現している。『みんな初級』が始めて「-テイル」を扱う課である。本研究の用法の分類から見ると、第14課では、「運動の持続」を表す例文は6つあり、全て「-長期」の例文である。1つだけ「性質・状態 (+可変性)」だと見なされる例文があり、『みんな初級I』の『みんな初級解説I』で出されている。

■ ...いいえ、降っていません (みんな初級解説I p. 95)

また、第14課より前の課では、「-テイル」の例文の出現はまったく見られず、第15課の後、第16課～第18課までも「-テイル」の例文は出されていない。さらに、第23課～第25課までにも「-テイル」の例文が見られない。

尚、表で分かるように、「運動の持続 (+&-長期)」の例文の数は圧倒的に多いということが確認できた。8つの用法から、「性質・状態 (-可変性)」と「状態の変化」の2つの用法が『みんな初級』で出されていない。図で表してみると、以下のようなになる。

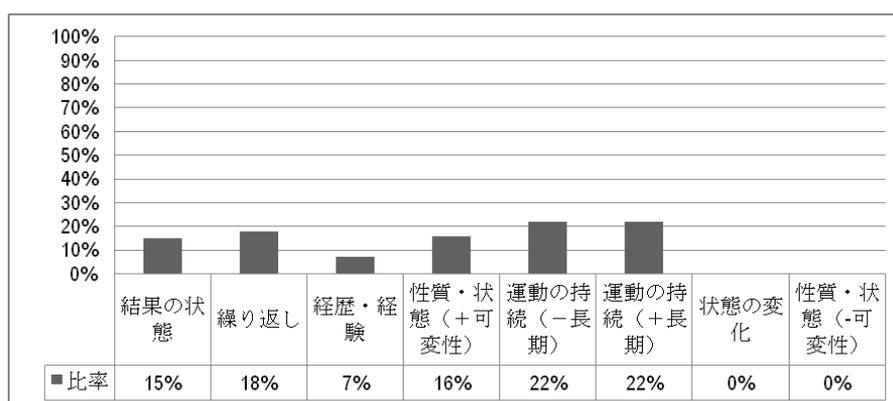


図.1 『みんな初級』の「ーテイル」の用法比率

用法ごとに分類し、比率を見ると、「運動の持続 (+&-長期)」は全体の用法を 44%占めており、他の用法より例文が多いということが分かった。以上の結果をパイロット調査の結果と比較してみよう。

用法	初出課	出現数 (比率)
動作の持続	14 課	31(38.7%)
結果の状態	15 課	19(23.8%)
慣用法	15 課	12(15%)
職業/所属	15 課	3(3.8%)
習慣/反復	19 課	15(18.7%)
単なる状態	—	—
経験	—	—
反実仮想	—	—
合計		<b>80 (100%)</b>

表.5 パイロット調査の『みんな初級』の分析結果

パイロット調査では、許 (1997) の用法分類を参考にし、分類をした。許 (2000) では、「ーテイル」の用法が許 (1997) の用法分類より細かく定義されているため、データの分析にも影響を与えた。進行形を現す用法は、どの調査の結果でも同じ傾向が見られたが、パイロット調査で使った用法の「職業/所属」は、本研究では、「運動の持続」 (+長期) に入れることにしたため、本研究の「運動の持

続」の数が調査のパイロットの「動作の持続」の数より多くなった。また、パイロット調査では、『みんな初級解説』はデータ収集の範囲から外したため、パイロット調査と本研究のデータの数も異なっている。

本冊の『みんな初級』と解説の『みんな初級解説』を個々に見ると、次のようになる。

みんな初級 I	
用法	数 (比率)
運動の持続 (UJ-)	5 (31%)
性質・状態 (SJ+)	3 (19%)
運動の持続 (UJ+)	6 (38%)
結果の状態 (KJ)	2 (12%)
繰り返し (KK)	-
経歴・経験 (KR)	-
性質・状態 (SJ-)	-
状態の変化JH	-
合計	16 (100%)

みんな初級 II	
用法	数 (比率)
結果の状態 (KJ)	13 (19%)
繰り返し (KK)	17 (25%)
経歴・経験 (KR)	5 (8%)
性質・状態 (SJ+)	7 (11%)
運動の持続 (UJ-)	18 (27%)
運動の持続 (UJ+)	7 (10%)
性質・状態 (SJ-)	-
状態の変化JH	-
合計	67 (100%)

みんな初級解説 I	
用法	数 (比率)
運動の持続 (UJ-)	4 (14%)
性質・状態 (SJ+)	10 (36%)
結果の状態 (KJ)	1 (4%)
運動の持続 (UJ+)	13 (46%)
繰り返し (KK)	-
経歴・経験 (KR)	-
性質・状態 (SJ-)	-
状態の変化JH	-
合計	28 (100%)

みんな初級解説 II	
用法	数 (比率)
結果の状態 (KJ)	7 (17%)
繰り返し (KK)	10 (24%)
経歴・経験 (KR)	6 (15%)
性質・状態 (SJ+)	4 (10%)
運動の持続 (UJ-)	7 (17%)
運動の持続 (UJ+)	7 (17%)
性質・状態 (SJ-)	-
状態の変化JH	-
合計	41 (100%)

表.6 本研究の『みんな初級』と『みんな初級解説』のデータの比較

『みんな初級』の「ーテイル」の例文の全体的な分布を見てみると、以下ようになる。

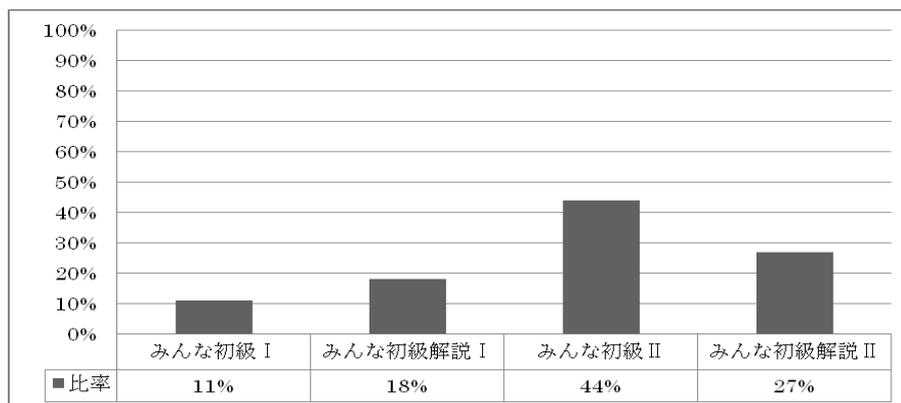


図.2 『みんな初級』と『みんな初級解説』の例文の分布

#### 4.1.1 『みんな初級 I & みんな初級解説 I』

『みんな初級 I』では、「ーテイル」の例文が本冊ではなく「みんな初級解説 I」に多く出されている。「ーテイル」の用法に関しては、『みんな初級 I』では、8つの用法から、4つしか出されていない。「運動の持続」（一長期）と（+長期）、「性質・状態（+可変性）」と「結果の状態」の用法である。一方、『みんな初級 II』では、本冊の方で多く出されており、他の「ーテイル」の用法も導入されている。『みんな初級 I』で出されている4つの用法に加えて、『みんな初級 II』では、2つの用法が導入されている。「繰り返し」と「経歴・経験」の用法である。また、『みんな初級』で扱われていない用法が2つあり、「性質・状態（一可変性）」と「状態の変化」の用法である。この2つの用法は、補助動詞や動詞の性質などに関係し、仕組みが他の用法より複雑だと思われるため出されていない可能性が考えられる。

『みんな初級 I』では、「ーテイル」は第14課と第15課で扱われている。『みんな初級解説 I』によると、第14課では、進行している動作を表す用法が扱われていると説明している。

- ミラーさんは今電話をかけています。（みんな初級 I p.114）
- 今、会議室で松本さんと話しています。（みんな初級 I p.114）

また、第15課では、「結果の状態」と「所属・職業」を表す用法が扱われていると説明している。

- いいえ、結婚しています。（みんな初級 I p.122）

- 教師です。富士大学で教えています。(みんな初級 I p. 122)

本研究の用法の分類から考えると、第14課では、「運動の持続（一長期）」が扱われ、第15課では、「結果の状態」と「運動の持続（+長期）」が扱われていると考えられる。

例文の分布を見ると、その2つの課に集中し、他の課での出現は比較的少ない。以下は『みんな初級 I』（みんな初級解説を含めて）の例文の分布の図である。

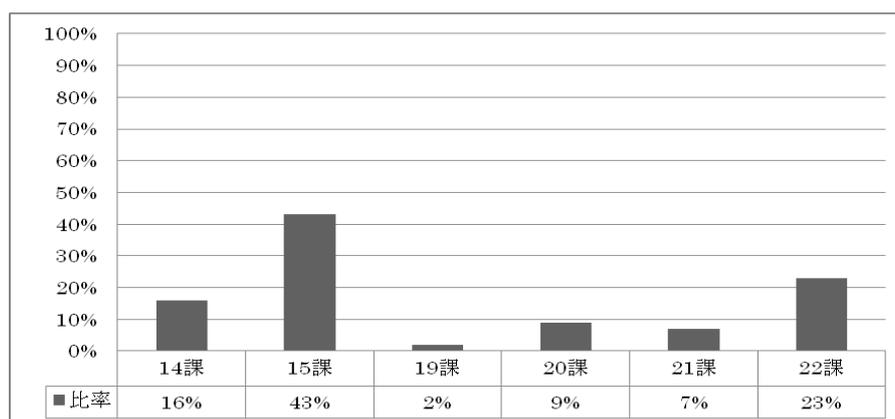


図. 3 『みんな初級 I』の「一テイル」の例文の分布

図を見ると第22課の例文も23%占めており、「一テイル」が扱われている第14課より多いということが分かった。

『みんな初級 I』と『みんな初級解説 I』の例文を用法ごとに見てみると、次のように表される。

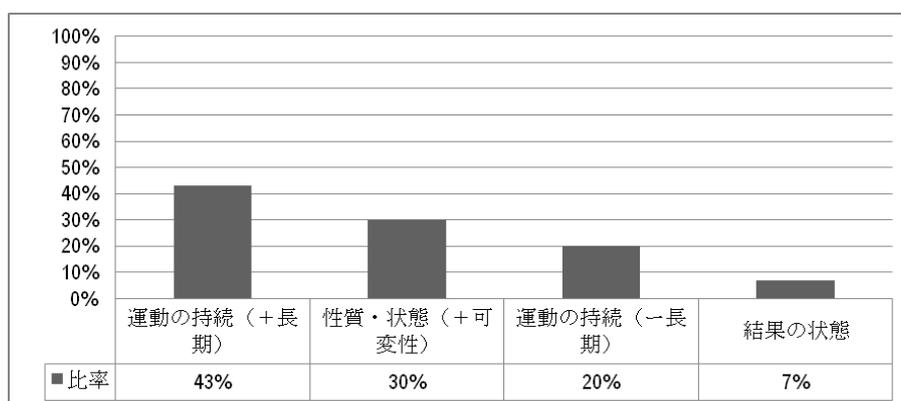


図. 4 『みんな初級 I』と『みんな初級解説 I』の「一テイル」の用法の比率

『みんな初級 I』で導入されている用法としては、「運動の持続（+長期）」の例文が多い。また、「知っている」を使った例文が多く、その例文は「性質・状態（+可変性）」に入っているため、「性質・状態（+可変性）」の用法の出現も多くなっている。

尚、『みんな初級 I』の本冊と解説の例文の数を個々に見ると、次のようになる。

『みんな初級 I』		『みんな初級解説 I』	
課	数	課	数
14 課	2	14 課	5
15 課	9	15 課	10
19 課	1	20 課	3
20 課	1	21 課	1
21 課	2	22 課	9
22 課	1	合計	<b>28</b>
合計	<b>16</b>		

表.7 『みんな初級 I』の本冊と解説の例文の数

上の表で示されているように、第22課の例文の多くは、『みんな初級解説 I』に出ており、「-テ イタ」の形で登場する。一方で、本冊には1つしか出ておらず、「-テイル」の形で出されている。第22課は、「連体修飾」について扱っており、例文も全て「連体修飾」の例文である。

- あの着物を着ている人はだれですか。（みんな初級 I p. 180）
- これはミラーさんが住んでいたうちです。（みんな初級解説 I p. 143）
- ミラーさんが住んでいたうちは古いです。（みんな初級解説 I p. 143）

また、動詞の面からみると、例文に多く使われている動詞は、「住む」（23%）、「知る」（17%）、「持つ」（9%）である。以下は、『みんな初級 I』の「-テイル」の例文に使われている動詞の表である。

動詞	数 (比率)	動詞	数 (比率)
住む	10 (23%)	作る	1 (2%)
知る	7 (17%)	着る	1 (2%)
持つ	4 (9%)	使う	1 (2%)
降る	4 (9%)	売る	1 (2%)
働く	3 (7%)	勉強する	1 (2%)
待つ	2 (5%)	話す	1 (2%)
結婚する	2 (5%)	ダイエットする	1 (2%)
電話をかける	2 (5%)	出張する	1 (2%)
教える	2 (5%)	合計	44

表.8 『みんな初級Ⅰ』の「ーテイル」の動詞

#### 4.1.2 『みんな初級Ⅱ&みんな初級解説Ⅱ』

『みんな初級Ⅱ』では、「ーテイル」は第28課と第29課で扱われている。『みんな初級Ⅰ』と比較してみると、『みんな初級Ⅱ』の例文の方が、より細かく分布されている。

第28課では、定期的な習慣を表す「ーテイル」の用法が扱われている。

- 毎朝ジョギングをしています。(みんな初級Ⅱ p.18)
- そうですね。たいてい絵をかいています。(みんな初級Ⅱ p.18)

第29課では、「結果の状態」が導入される。第15課でも「結果の状態」の用法が導入されるが、第29課の「結果の状態」の例文に多く使われている動詞は自動詞で、第15課より難易度の高い項目になる。

- 窓が閉まっています。(みんな初級Ⅱ p.26)
- この自動販売機は壊れています。(みんな初級Ⅱ p.26)

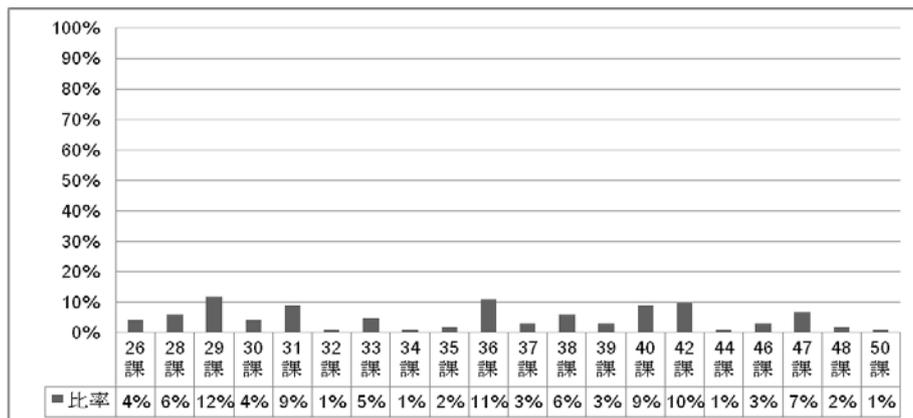


図.5 『みんな初級II』の「一テイル」の例文の分布

『みんな初級II』で、「一テイル」の例文が比較的多い課は、第29課、第31課、第36課、第40課、第42課である。第31課には、意向形の導入があり、多くは「～と思っています」の形で導入されている。

- インターネットを始めようと思っています。(みんな初級II p. 45)
- 将来自分の会社を作ろうと思っています。(みんな初級II p. 44)
- ...家族と温泉に行こうと思っています。(みんな初級II p. 44)

そして、第36課の項目として、到達目標を述べるということがあり、「～ように」が導入されている。導入の例文に「～ようにしています」の形がよく使われており、「一テイル」の出現が多くなっている。

- 毎日日記を書くようにしています。(みんな初級II p. 86)
- 速く泳げるように、毎日練習しています。(みんな初級II p. 86)
- ええ。できるだけ食べないようにしているんです。(みんな初級II p. 86)

第40課の場合は、「一テイル」を使う特定の項目がなく、「一テイル」は項目の難易度が高くなるにつれて導入されていると考えられる。第42課では、目的を述べる「～ために」が導入され、「一テイル」が多く使われている。

- 将来自分の店を持つために、貯金しています。(みんな初級Ⅱ p. 136)
- この夏盆踊りに参加するために、毎日練習しています。(みんな初級Ⅱ p. 136)

『みんな初級Ⅱ』を『みんな初級解説Ⅱ』も含めて、用法ごとに見てみると、次のように現れる。

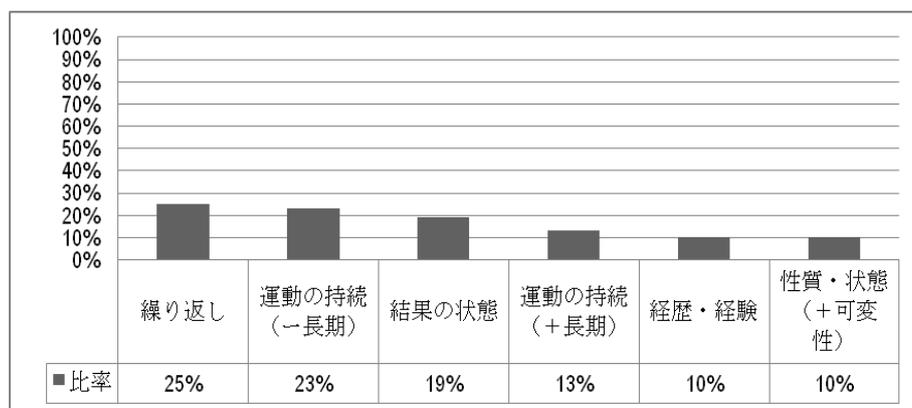


図.6 『みんな初級Ⅱ』と『みんな初級解説Ⅱ』の「一テイル」の用法の比率

以上の図を見てみると、『みんな初級Ⅱ』で出されている例文は、「繰り返し」の用法を表している例文が多く、『みんな初級Ⅱ』の例文の特徴だと考えられる。

また、『みんな初級Ⅱ』と『みんな初級解説Ⅱ』の例文の数をそれぞれ見てみると、以下のように示される。

『みんな初級Ⅱ』	
課	数
26 課	2
28 課	4
29 課	9
30 課	1
31 課	6
32 課	1
33 課	3
34 課	1

『みんな初級解説Ⅰ』	
課	数
26 課	2
28 課	3
29 課	4
30 課	3
31 課	4
33 課	2
36 課	4
37 課	1

35 課	2
36 課	8
37 課	2
38 課	3
39 課	3
40 課	7
42 課	5
44 課	1
46 課	2
47 課	4
48 課	2
50 課	1
合計	<b>67</b>

38 課	4
40 課	3
42 課	6
46 課	1
47 課	4
合計	<b>41</b>

表.9 『みんな初級Ⅱ』と『みんな初級解説Ⅱ』の例文の数

動詞の面から見ると、『みんな初級Ⅱ』の「-テイル」の例文にはサ変動詞「～する」と「思う」が多く使われている。サ変動詞「～する」の場合は、全体の動詞の **27%** を占めており、「思う」の場合は、**10%** を占めている。以下は、『みんな初級Ⅱ』の「-テイル」の例文に使われている動詞の表である。

動詞	数 (比率)
する	29(27%)
貯金する	
勉強する	
練習する	
輸出する	
心配する	
ジョギングをする	

動詞	数 (比率)
持つ	2(2%)
閉まる	2(2%)
寝る	2(2%)
使われる	2(2%)
壊れる	2(2%)
集まる	2(2%)
来る	2(2%)

故障する		遊ばせる	1(1%)
テストをする		開く	1(1%)
準備する		泣く	1(1%)
ジョギングする		降る	1(1%)
		並ぶ	1(1%)
思う	11(10%)	掛かる	1(1%)
住む	7(6%)	酔う	1(1%)
言う	6(6%)	走る	1(1%)
知る	6(6%)	向かう	1(1%)
覚える	5(5%)	続ける	1(1%)
入る	3(3%)	歩く	1(1%)
使う	3(3%)	待つ	1(1%)
書く	3(3%)	割れる	1(1%)
付く	2(2%)	話す	1(1%)
調べる	2(2%)	出かける	1(1%)
込む	2(2%)	<b>合計</b>	<b>108(100%)</b>

表.10 『みんな初級Ⅱ』の「ーテイル」の例文の動詞

#### 4.1.3 『みんな初級』の全体的な傾向

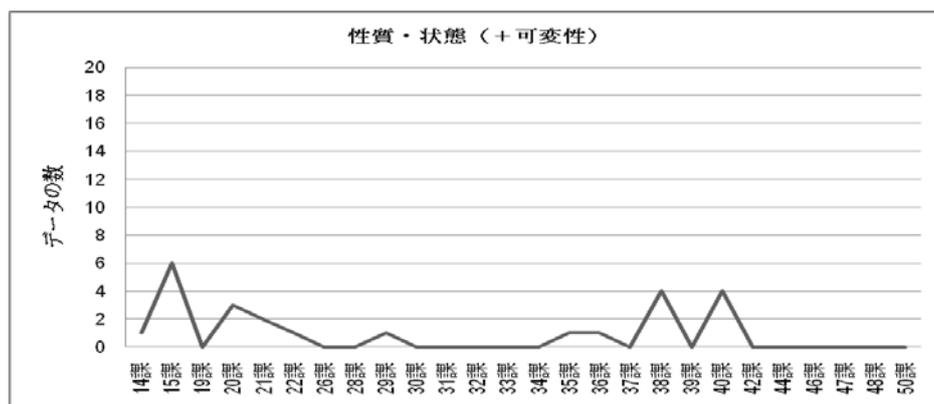
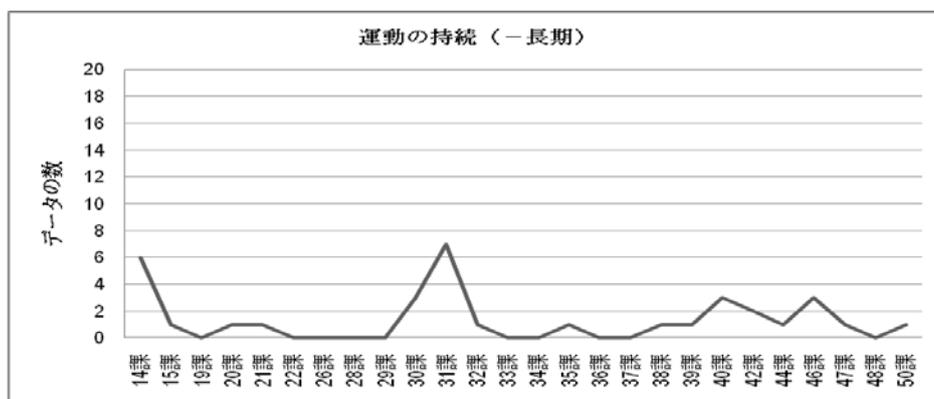
「ーテイル」の例文に使われている動詞を教材ごとに見ると、『みんな初級Ⅰ』に使われている動詞の数は、『みんな初級Ⅱ』の動詞の数より少ないということが分かった。

『みんな初級』では連体修飾としての「ーテイル」も登場している。『みんな初級Ⅰ』の第22課には「連体修飾」についての導入があり、「ーテイル」を連体修飾として出されている。また、『みんな初級Ⅱ』では「ーテイルところ」の項目があり、連体修飾としての「ーテイル」も出現する。

- あの着物を着ている人はだれですか。(みんな初級Ⅰ p.180)
- ワンさんが働いている病院。(みんな初級解説Ⅰ p.142)
- これはミラーさんが住んでいたうちです。(みんな初級解説Ⅰ p.143)

しかし、『みんな初級Ⅰ』『みんな初級Ⅱ』とも、連体修飾としての「-テイル」の出現は非常に少ない。特に『みんな初級Ⅰ』での出現では、本冊ではなく『みんな初級解説Ⅰ』の方に出されている。

尚、『みんな初級Ⅰ&Ⅱ』（本冊と解説）で出されている「-テイル」の例文を用法ごとに見てみると、次のようになる。



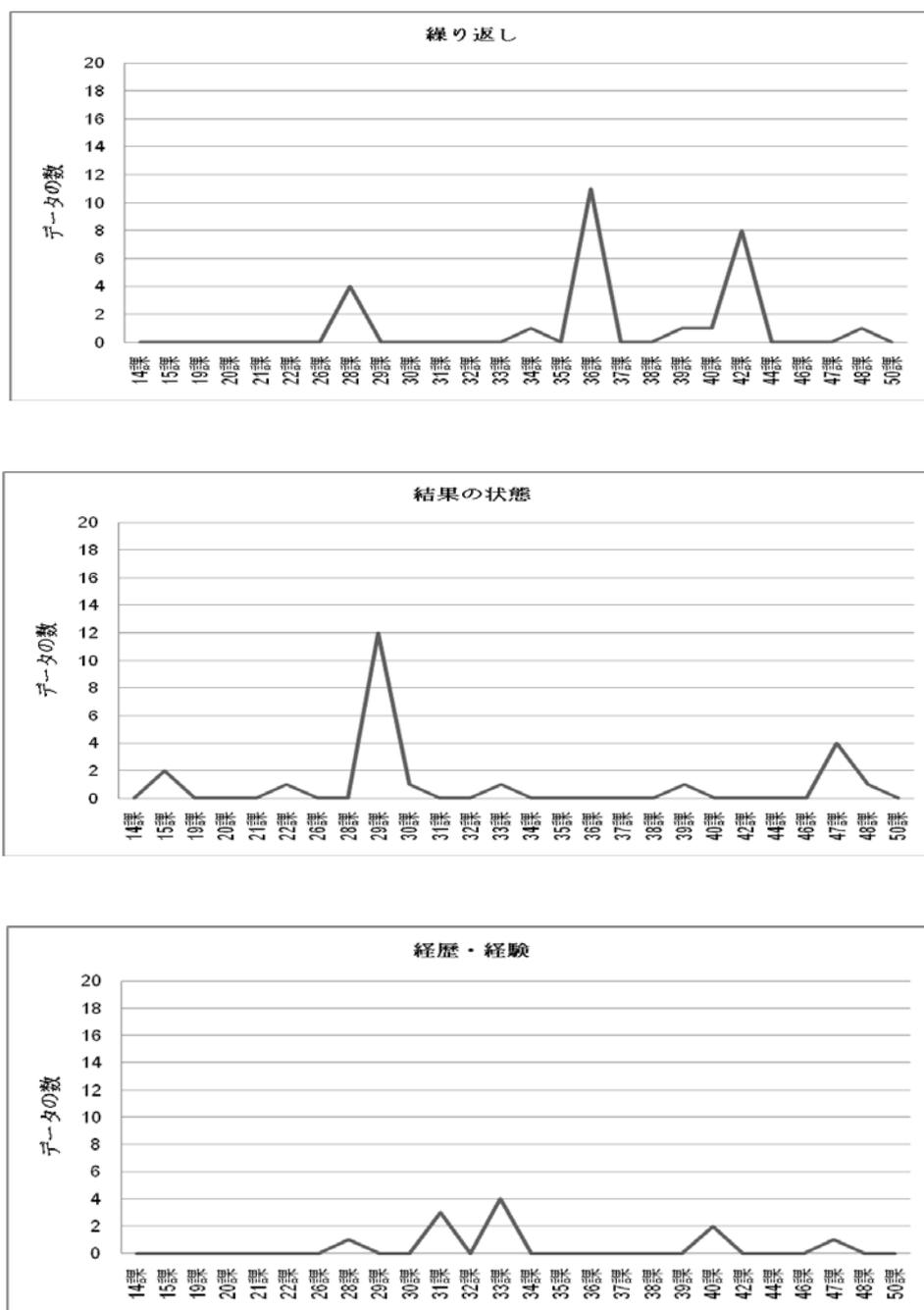


図.7 『みんな初級』の用法ごとの傾向

『みんな初級 I & II』で出されている「-テイル」の例文を用法ごとに見てみると、「-テイル」の用法を扱っている課に集中しているという傾向が見られる。特に「結果の状態」の用法は1つの課に例文が集中しており、他の課にはほとんど出ていないということも確認できる。また、「性質・状態 (+可変性)」と「運動の持続 (+&-長期)」が似た傾向にあり、他の用法と比較すると多く出されており、より細かく分布されているということが分かった。

『みんな初級I&II』の「-テイル」の例文に使われている動詞を全体的に見ると、その傾向が以下のように表示される。

動詞	数 (比率)
サ変動詞	33 (22%)
する	
勉強する	
貯金する	
練習する	
結婚する	
輸出する	
心配する	
準備する	
ダイエットする	
故障する	
ジョギングする	
テストをする	
ジョギングをする	
住む	17 (11%)
知る	13 (9%)
思う	11 (7%)
言う	6 (4%)
持つ	6 (4%)
降る	5 (3%)
覚える	5 (3%)
使う	4 (3%)
働く	3 (2%)
入る	3 (2%)
待つ	3 (2%)

動詞	数 (比率)
調べる	2 (1%)
付く	2 (1%)
寝る	2 (1%)
電話をかける	2 (1%)
閉まる	2 (1%)
壊れる	2 (1%)
込む	2 (1%)
使われる	2 (1%)
来る	2 (1%)
集まる	2 (1%)
話す	2 (1%)
並ぶ	1 (1%)
開く	1 (1%)
売る	1 (1%)
酔う	1 (1%)
走る	1 (1%)
続ける	1 (1%)
作る	1 (1%)
向かう	1 (1%)
割れる	1 (1%)
着る	1 (1%)
歩く	1 (1%)
泣く	1 (1%)
遊ばせる	1 (1%)
掛かる	1 (1%)

書く	3 (2%)
教える	2 (1%)

出かける	1 (1%)
出張する	1 (1%)
合計	152

表. 11 『みんな初級 I & II』の「-テイル」の例文の動詞

上の図を見ると、サ変動詞の「する」が全体の「-テイル」の例文の22%を占めており、「-テイル」の導入に最も使われている動詞である。次に「住む」と「知る」も多く出されており、全体の動詞のうち「住む」は11%、「知る」の場合は9%を占めている。

本研究で中心にした用法である「運動の持続」と「結果の状態」を細かく見ることにする。下の図を見ると、「運動の持続 (+&-長期)」の例文の数が「結果の状態」の例文の数より多いということが分かる。

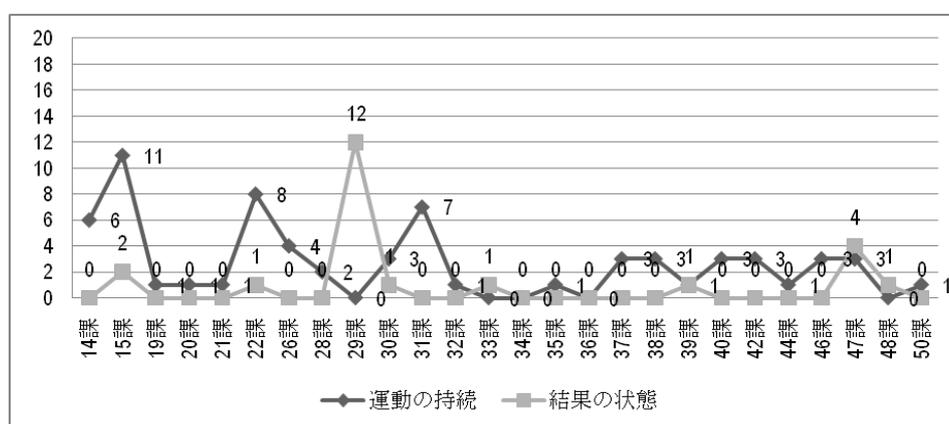


図. 8 『みんな初級』の「運動の持続」&「結果の状態」の全体的な傾向

上のデータの特徴としては、「運動の持続」の用法は、比較的幅広く分布され、扱われる頻度が多いということが挙げられる。「結果の状態」の場合は、扱われる頻度は少なく、例文が1つの課に集中しているということが図で示されている。

また、「運動の持続」と「結果の状態」の用法に使われている動詞を見てみることにする。『みんな初級』に出されている「運動の持続 (+長期)」と「運動の持続 (-長期)」を分けて、それらの例文の分布を見てみると、次のようになる。

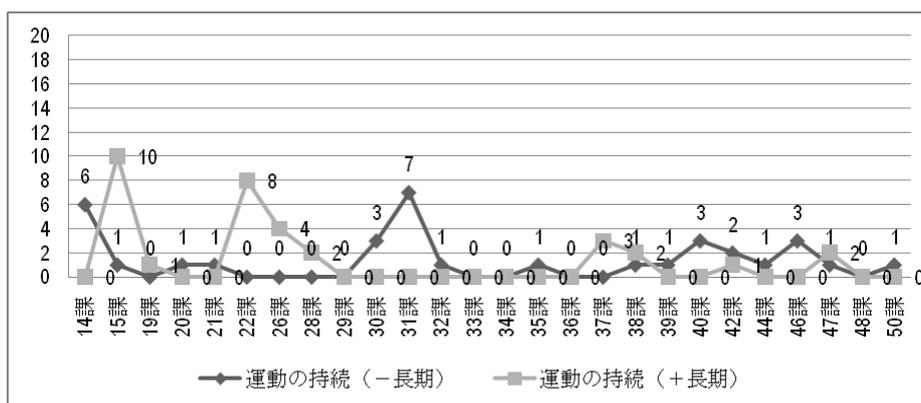


図. 9 『みんな初級』の「運動の持続」の(+&-長期)の全体的な傾向

尚、具体的にどのような動詞が使われているかを見てみると、次の表で表示される。

動詞	数 (比率)	動詞	数 (比率)
住む	17 (25%)	使う	3 (4%)
思う	11 (16%)	等	16 (24%)
サ変動詞	10 (15%)	調べる	2
する	1	電話をかける	2
出張する	1	話す	2
準備する	1	教える	2
心配する	1	使われる	2
ダイエットする	1	泣く	1
勉強する	4	向かう	1
輸出する	1	待つ	1
降る	4 (6%)	作る	1
覚える	3 (4%)	続ける	1
働く	3 (4%)	売る	1
		<b>合計</b>	<b>67 (100%)</b>

表. 12 『みんな初級』の「運動の持続」の動詞

『みんな初級』の「運動の持続」の例文に使われている動詞を見てみると、「住む」、「思う」と「する」がよく使われているということが分かる。

次に、「結果の状態」の用法に使われている動詞を見てみる。

動詞	数 (比率)	動詞	数 (比率)
入る	3 (13%)	集まる	2 (9%)
付く	2 (9%)	並ぶ	1 (4%)
来る	2 (9%)	出かける	1 (4%)
結婚する	2 (9%)	掛かる	1 (4%)
閉まる	2 (9%)	故障する	1 (4%)
込む	2 (9%)	着る	1 (4%)
壊れる	2 (9%)	割れる	1 (4%)
		<b>合計</b>	<b>23 (100%)</b>

表. 13 『みんな初級』の「結果の状態」の動詞

「結果の状態」の用法の例文では、「運動の持続」と比べてみると、例文の数も少なく、使われている動詞の数も少ない。その中でも、「結果の状態」の用法の例文に最も使われている動詞は「入る」で、全体の13%を占めている。

## 4.2 『SFJ』

『SFJ』からは、276の「一テイル」の例文が収集でき、『みんな初級』より例文の数が多いということが分かった。以下は『SFJ』の例文を分類した結果であり、各用法の提出順序と全体の中での比率を表している表である。

用法	初出課	出現数 (比率)
結果の状態/KJ	2 課	54 (19%)
性質・状態 (+可変性) /SJ+	3 課	66 (24%)
繰り返し/KK	7 課	13 (5%)
経歴・経験/KR	8 課	52 (19%)

運動の持続 (+長期) /UJ+	8 課	19 (7%)
運動の持続 (-長期) /UJ-	9 課	72 (26%)
状態の変化/JH	—	—
性質・状態 (-可変性) /SJ-	—	—
合計		276 (100%)

表. 14 『SFJ』の「-テイル」の順序と比率

『SFJ』では、第 2 課で初めて「-テイル」が扱われており、比較的早い段階で出されている。また、『みんな初級』とは異なり、『SFJ』では「運動の持続」の用法より「結果の状態」の用法の方が先に導入されている。しかし例文は早い段階で出されているものの、『SFJ』で最初に「-テイル」を扱っている課は『SFJ Vol. 1』の第 8 課である。第 8 課では「結果の状態」の用法が導入されているが、「結果の状態」ではないと考えられる「-テイル」の用法の例文も登場している。「結果の状態」以外の用法では、「持っている」、「知っている」と「住んでいる」という例文が導入され、どれも「-テイル」の形で使われている項目として紹介されている。

- A : 奥さんの写真を持っていますか。(SFJ Vol. 1 p. 184)
- B : 大学の宿舎に住んでいます。(SFJ Vol. 1 p. 184)
- A : あの人を知っていますか。(SFJ Vol. 1 p. 184)

また、「-テイナイ」という項目についても、「まだ実行していない動作」ということを表す項目として導入されている。そして、「-テイナイ」と共によく使われている項目として、「もう」と「まだ」が導入されている。

- まだ、手紙を出していません。(SFJ Vol. 1 p. 185)
- B : いいえ、まだ食べていません。(SFJ Vol. 1 p. 185)
- B : いいえ、まだ読んでいません。(SFJ Vol. 1 p. 185)

次に「-テイル」を扱っている課は、『SFJ Vol. 2』の第 13 課である。第 13 課では、「運動の持続」の用法が導入されている。第 13 課では「～ていた」の説明もあり、過去に行った動作のことを表している項目として説明されている。

- アニルさんはいま手紙を書いています。(SFJ Vol. 2 p. 143)
- きのう一日中雨が降っていました。(SFJ Vol. 2 p. 143)
- 子どもの時、インドに住んでいました。(SFJ Vol. 2 p. 143)

第8課でも、第13課でも基本的な知識の説明はもとより、実際にどのように使われているのかという説明もされている。それは、「ーテイル」はよく省略されて、使用されているというものである。

- A: 何をして(い)るんですか。(SFJ Vol. 2 p. 143)
- 田中さんがそう言って(い)ました。(SFJ Vol. 2 p. 143)

『SFJ』の「ーテイル」の例文を用法ごとに見てみると、以下のようになる。

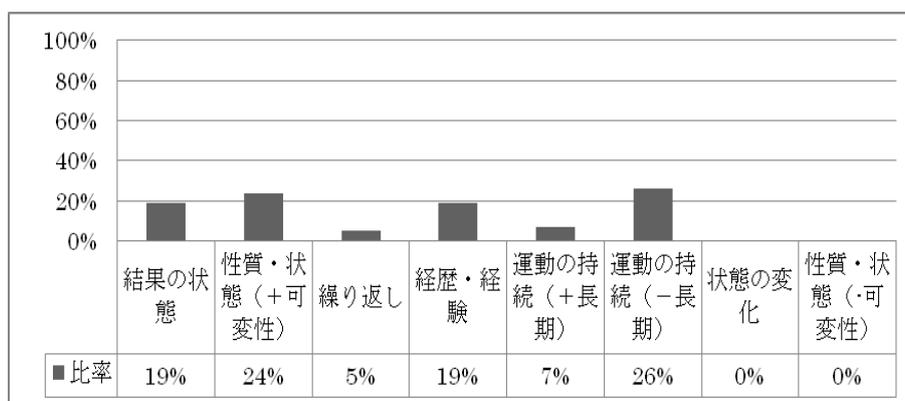


図.10 『SFJ』の「ーテイル」の用法比率

『SFJ』は『みんな初級』のような別冊の解説の教材を設けておらず、文法の解説が本冊で提示されている。

『SFJ』で出されている「ーテイル」の例文を分析すると『みんな初級』と同様の6つの用法が扱われていた。「結果の状態」、「性質・状態(+可変性)」、「繰り返し」、「経歴・経験」、「運動の持続(+長期)」と「運動の持続(-長期)」の用法である。例文が全く見られない用法は、「状態の変化」と「性質・状態(-可変性)」の2つである。

前に述べたように、「一テイル」の用法は、『SFJ Vol. 1』の第8課と『SFJ Vol. 2』の第13課で導入されている。しかし、「一テイル」が含まれている例文の分布を見てみると、『SFJ』では、「一テイル」の例文が『みんな初級』の例文より幅広く分布されているということが分かった。

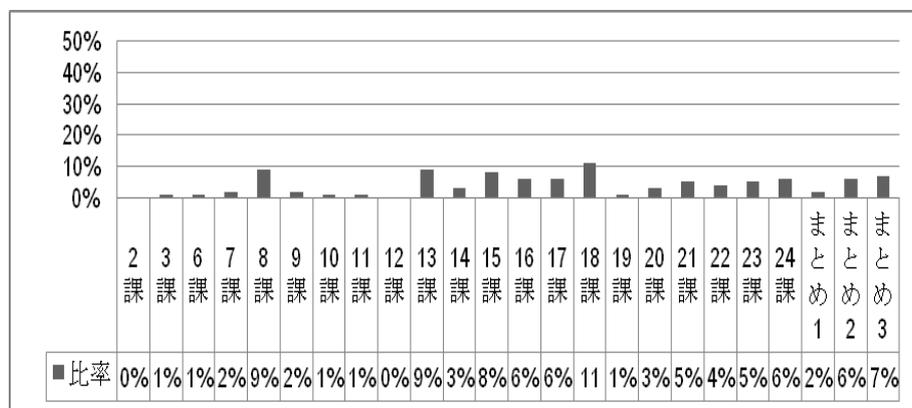


図. 11 『SFJ』の「一テイル」の例文の分布

上の図を見てみると、『SFJ』の第8課で「結果の状態」の用法が導入されてから、次の「一テイル」の導入（第13課）まで、「一テイル」の例文の出現回数が少なくなっているが、第13課から『SFJ Vol. 3』の第18課にかけて、他の部分より比較的多くなっている。第18課以降も「一テイル」の例文は出現するが、第13課から第18課までの部分ほど多くない。

特に第18課は、全体の例文の11%を占めており、「一テイル」の例文が最も多い課である。また、第18課では敬語の項目が導入されており、「一テイル」が使われた敬語の例文も多い。

- 先生は、「あしたは鈴木さんに発表してもらおう」とおっしゃっていましたので、よろしくお願  
いします。(SFJ Vol. 3 p. 27)
- 田中：はい。じゃ、お待ちしております。(SFJ Vol. 3 p. 43)
- Secretary：もうしわけございません。社長は、ただいま外出しておりますが。(SFJ Vol. 3 p. 44)

#### 4.2.1 『SFJ Vol. 1』

『SFJ』の『SFJ Vol. 1』では、44の「一テイル」の例文があり、『みんな初級I』の例文数より多い。『SFJ Vol. 1』における「一テイル」の例文の分布を細かく見ると、以下のようになる。

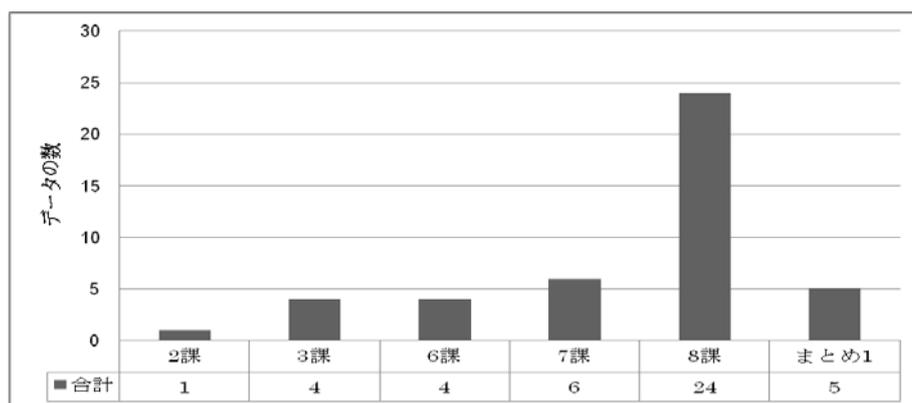


図. 12 『SFJ Vol. 1』の「-テイル」の例文の分布

既に述べたように、『SFJ Vol. 1』では、第8課で「-テイル」が扱われているため、第8課では例文数が多い。また、各用法を見てみると、次のようになる。

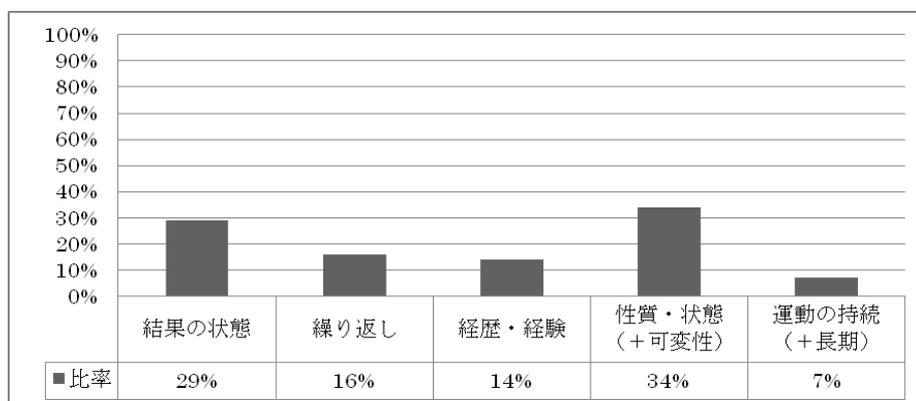


図. 13 『SFJ Vol. 1』の「-テイル」の用法の比率

第8課では、「結果の状態」の用法が扱われているが、本研究の用法分類に従って例文を全て分類してみると、「性質・状態(+可変性)」の用法の方が多いということが分かった。以下は、第8課で出されている「性質・状態(+可変性)」の用法の例文をいくつか抜粋したものである。

- A: あの人を知っていますか。(SFJ Vol. 1 p. 184)
- シャルマ: ええと、はんこは持ってないんですけど。(SFJ Vol. 1 p. 134)
- B: いいえ、持っていません。(SFJ Vol. 1 p. 184)

上の例文にある「ーテイナイ」の形は、人の何かを所有しているという性質または状態を表していると考えられるため、「性質・状態（＋可変性）」の用法に入れている。

「繰り返し」の場合は、以下の例文が『SFJ Vol. 1』で多く出されている。

- きょうの午後、やっていますか。（SFJ Vol. 1 p. 154）
- 何時から何時までやっていますか。（SFJ Vol. 1 p. 169）
- 受付：はい、やっています。（SFJ Vol. 1 p. 153）

そして、結果の状態の用法は第2課で出されており、会話の部分「Conversation Notes」で出されている。

- Costumer：あのう、おつり、ちがってるんですけど。（SFJ Vol. 1 p. 45）

上の例文は、支払いの場面での説明に出ており、違ったおつりをもらった時のフレーズとして紹介されている。このフレーズには「ーテイル」に関する説明はなく、支払いの場面によく使われているフレーズとして説明されている。

また、『SFJ Vol. 1』で出されている「経歴・経験」の用法の例文は、「まだ～ない」という形が多く、『SFJ Vol. 1』の特徴だと考えられる。

- B：いいえ、まだ食べていません。（SFJ Vol. 1 p. 185）
- まだ、手紙を出していません。（SFJ Vol. 1 p. 185）

上の例文は、「まだそのような経験がない」という解釈が考えられるため、「経歴・経験」の用法であると分析している。

『SFJ Vol. 1』には「運動の持続（＋長期）」の用法の出現も扱われており、全て「住む」を使った例文である。

- B：大学の宿舎に住んでいます。（SFJ Vol. 1 p. 184）
- A：シャルマさんも宿舎に住んでいますか。（SFJ Vol. 1 p. 184）

次の表は、『SFJ Vol. 1』における「ーテイル」の例文に使われている動詞の表である。

動詞	数	動詞	数
持つ	8 (18%)	違う	2 (4%)
やる	7 (16%)	結婚する	2 (5%)
住む	5 (11%)	食べる	2 (5%)
こわれる	4 (9%)	知る	2 (5%)
できる	3 (7%)	出す	1 (2%)
入る	3 (7%)	書く	1 (2%)
落ちる	3 (7%)	読む	1 (2%)
		合計	44 (100%)

表. 15 『SFJ Vol. 1』の「ーテイル」の例文の動詞

上の表で分かるように、最も使われている動詞は「持つ」で、『SFJ Vol. 1』の「ーテイル」の例文に使われている動詞の18%を占めている。『SFJ Vol. 1』では「持つ」を使った例文が8つも登場しており、そのうちの7つが「持っていない」という形で登場していることが特徴として挙げられる。

- シャルマ：ええと、はんこは持っていないんですけど。（SFJ Vol. 1 p. 134）
- はんこは持っていないんですけど。（SFJ Vol. 1 p. 137）

#### 4.2.2 『SFJ Vol. 2』

『SFJ Vol. 2』では、第13課で「ーテイル」が扱われており、「運動の持続」の用法が導入されている。既に述べたように、第13課では「ーテイタ」の説明もあり、過去に行った動作を表している項目として説明されている。次の図は『SFJ Vol. 2』における「ーテイル」の例文の分布の図である。

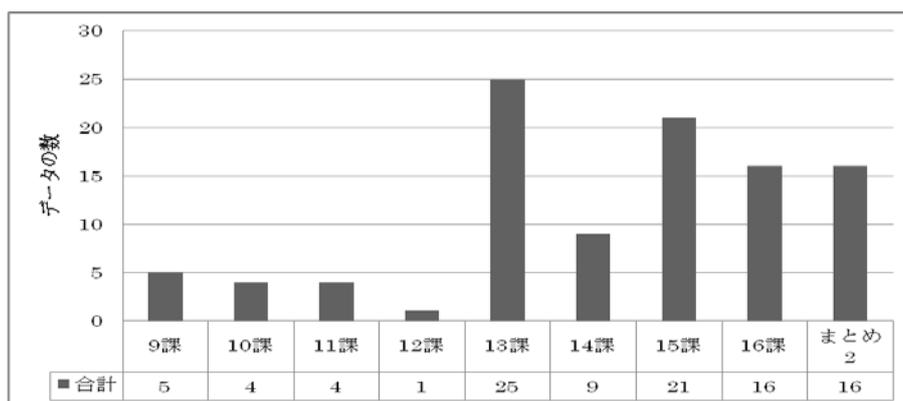


図. 14 『SFJ Vol. 2』の「一テイル」の例文の分布

よく見ると、「一テイル」が扱われている第13課まで「一テイル」の例文は少ないが、第13課から多くなるという傾向が見られる。特に第15課は、第13課と同様に「一テイル」の例文の出現が多い。

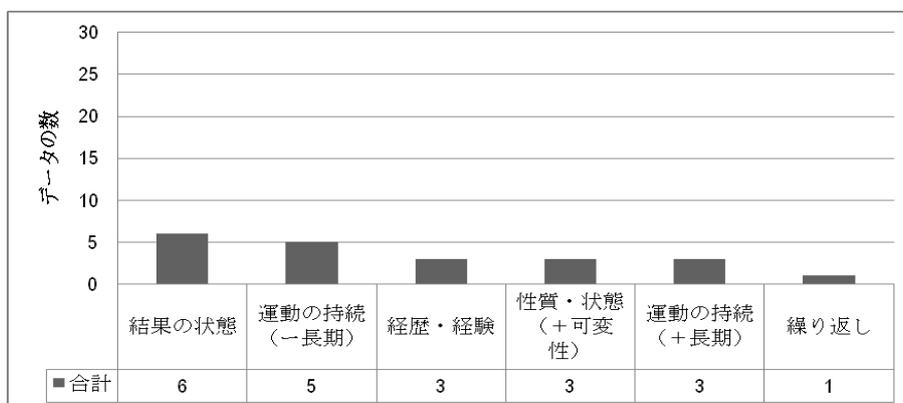


図. 15 『SFJ Vol. 2』の第15課の「一テイル」の用法の傾向

上の図を見ると、第15課で多く出されている用法は「結果の状態」と「運動の持続（一長期）」の用法である。「結果の状態」の例文には、以下のような例文が多い。

- 鈴木：だれか借りてってるんじゃないかな。ちょっと待ってて。(SFJ Vol. 2 p. 179)
- だれか借りてってるんじゃないかな。(SFJ Vol. 2 p. 181)
- ドアが開いている。(SFJ Vol. 2 p. 187)

また、「運動の持続（一長期）」の例文には、以下のような例文がある。

- 田中：ええと、エキスパート・システムについてさがしているんですけど、何かありますか。(SFJ Vol. 2 p. 178)
- だれか(が) ドアをロックしています。(SFJ Vol. 2 p. 191)
- きのは一日中雨が降っていました。(SFJ Vol. 2 p. 193)

『SFJ Vol. 2』において、各用法の分布を見てみると、次のような特徴が見られる。

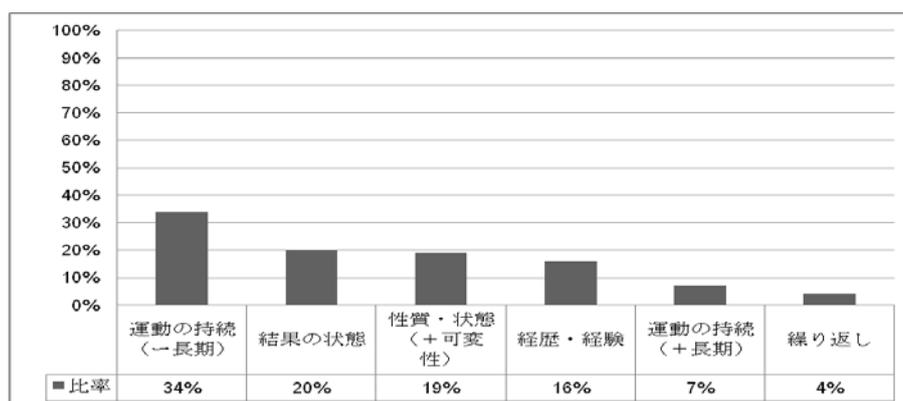


図. 16 『SFJ Vol. 2』の「一テイル」の用法の比率

「運動の持続 (一長期)」の用法が全体の34%を占めており、『SFJ Vol. 2』で最も多く出されている用法である。「運動の持続 (一長期)」の例文は第13課に集中しており、11の例文が出されている。以下は「運動の持続 (一長期)」の例文をいくつか抜粋したものである。

- 鈴木：先生たちと昼飯くってたもんだから (SFJ Vol. 2 p. 130)
- 鈴木：ああ、そうそう。ブラウンさん、リサイクルの安い店、さがしているんですって。(SFJ Vol. 2 p. 130)
- 鈴木さんは、先生と食事をしていて、20分も遅れてきた。(SFJ Vol. 2 p. 131)

「結果の状態」の場合は、第14課と第15課に例文が多く見られ、「入る」を使った例文が多い。

- 田中：茶色の紙袋です。中に本が入ってるんですけど。(SFJ Vol. 2 p. 157)
- 田中さんはバスの中に本が入っている茶色の紙袋を忘れました。(SFJ Vol. 2 p. 157)

- B：ええと、銀色の時計が入っています。（SFJ Vol. 2 p. 176）

「性質・状態（+可変性）」の用法の場合は、「～なっている」という形の例文が多く、19の例文のうち、7つの例文がこの形で登場している。また、この用法には「ご無沙汰する」を使った例文も含まれている。「長い間会わなかったり、連絡しなかったりする」という状態を表していると考え、この用法に入れることにした。

- 山下：「ノア」です。2階がディスコになっているところなんですけど。（SFJ Vol. 2 p. 205）
- 2階がディスコになっているところ。（SFJ Vol. 2 p. 208）
- 2階がディスコになっているところです。（SFJ Vol. 2 p. 217）
- 田中：どうも、ごぶさたしてます。（SFJ Vol. 2 p. 178）

「経歴・経験」の用法は、全体の16%を占めており、この用法の特徴としては、「言う」を使った例文が多いことがあげられる。

- 田中さんはあした東京に行くと言っています。（SFJ Vol. 2 p. 118）
- B：山田さんは3時に来ると言っています。（SFJ Vol. 2 p. 12）
- 子どもの時、インドに住んでいました。（SFJ Vol. 2 p. 143）

「経歴・経験」と判断した「～言っている」の形の例文は全て1人称の発話で、その人の記憶に残っている出来事を伝える例文である。一旦ある情報を把握して、その情報をまた誰かに伝えるということは、情報は伝える側の記録であると考えられるため、この形の例文は「経歴・経験」の用法に入ると考えられる。

次の表は、『SFJ Vol.2』で使われている動詞を示したものである。

動詞	数 (比率)
サ変動詞	13 (13%)
勉強する	4
する	3

動詞	数 (比率)
持つ	2 (2%)
知る	2 (2%)
借りていく	2 (2%)

ご無沙汰する	3
ノックする	1
買い物する	1
食事する	1
言う	11 (11%)
なる	8 (8%)
探す	7 (7%)
入る	7 (7%)
思う	6 (6%)
開く	4 (4%)
読む	4 (4%)
進む	3 (3%)
止まる	3 (3%)
降る	3 (3%)
落ちる	3 (3%)
扱う	2 (2%)
書く	2 (2%)
住む	2 (2%)
食う	2 (2%)
等	15 (15%)
取る	1
込む	1
待つ	1
買う	1
歩く	1
聞く	1
困る	1
見る	1
酔っ払う	1
付く	1
食べる	1
欠席	1
行う	1
手伝う	1
習う	1
合計	101 (100%)

表. 16 『SFJ Vol. 2』の「-テイル」の例文の動詞

サ変動詞は、動詞の種類も多く、それぞれの「-テイル」の用法に用いられている。一方、「言う」の場合、9割は「経歴・経験」を表している。「言う」を使った例文を見てみると、以下の例文が多い。

- 山田さんは「3時に行きます」と言っています。(SFJ Vol. 2 p. 10)
- 山田さんは3時に来ると言っています。(SFJ Vol. 2 p. 10)
- 田中: あ、東京なんです。どこかの会社にインタビューに行くって言ってましたけど。(SFJ Vol. 2 p. 178)

「言う」を使った例文の多くは、話し手の報告のようなもので、話し手の記録である情報の伝達の例文である。更に、『SFJ Vol. 2』で出されている「なる」も「性質・状態 (+可変性)」の用法を表している例文が多く、「言う」と「経歴・経験」の用法の傾向に近いものである。

### 4.2.3 『SFJ Vol. 3』

『SFJ Vol. 3』では、「ーテイル」を扱う課は特にならないが、『SFJ Vol. 1』や『SFJ Vol. 2』よりも「ーテイル」の例文の数は多い。また、例文も各課で出されており、幅広く分布されている。

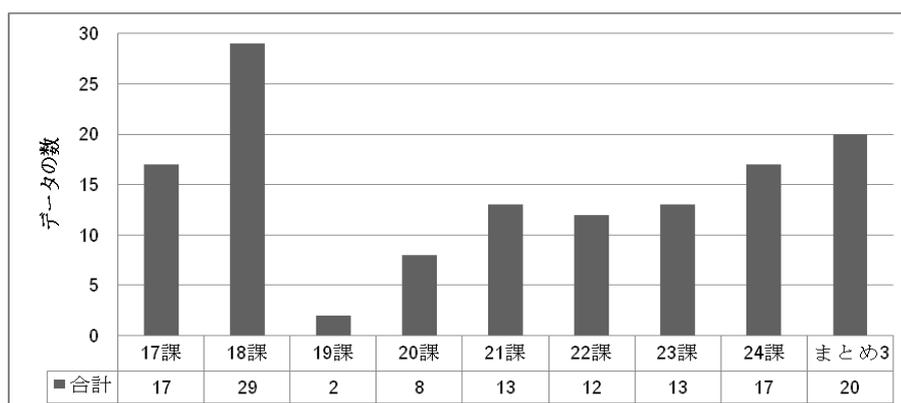


図. 17 『SFJ Vol. 3』の「ーテイル」の例文の分布

表から分かるように、他の教科書と比較すると、「ーテイル」の例文の数が多し。また、用法ごとに見ると以下のようなになる。

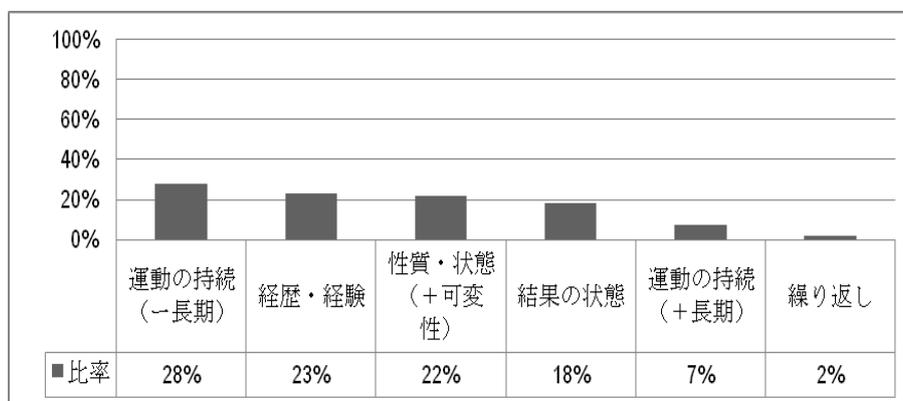


図. 18 『SFJ Vol. 3』の「ーテイル」の用法の比率

『SFJ Vol. 3』では、「運動の持続（一長期）」の用法が多く見られる。『SFJ Vol. 3』で登場している例文に使われている動詞は種類が多く、全部で16種類ある。その中から、「する」と「やる」の動詞の使用が多く、以下のような例文が多い。

- 山下：ア Nil さん、何してんの。（SFJ Vol. 3 p. 84）
- 何をしていますんですか。（SFJ Vol. 3 p. 86）
- 何してんの。（SFJ Vol. 3 p. 128）
- 隣の人：今、友達が集まって、ちょっとパーティーをやってるもんですから。（SFJ Vol. 3 p. 132）
- パーティーをやってるもんですから。（SFJ Vol. 3 p. 136）

次に、『SFJ Vol. 2』と同様に、「経歴・経験」の用法に「～言っている」という例文が多く使用されている。30ある例文のうち、14の文が「～言っている」というものがある。第17課では、「～してほしい」の項目が扱われており、他人の希望を伝える際、「～してほしい」と「～言っている」のパターンが組み合わせられるという説明がなされている。

『SFJ Vol. 3』に出現している「結果の状態」の例文は次のようなものがある。

- こんばん（私は）木村先生に食事にさそわれています。（SFJ Vol. 3 p. 13）
- みどりの母：あ、いまちょっと出かけてますけど。（SFJ Vol. 3 p. 44）
- みどりの母：あ、いまちょっと出かけてますけど。（SFJ Vol. 3 p. 46）

そして、「性質・状態（+可変性）」には、以下のような例文が出ている。

- 鈴木：うん。今週中にセンターの方に渡すことになってるから。（SFJ Vol. 3 p. 182）
- B：いや、残念だな。今から木村先生と会うことになっているんだ。（SFJ Vol. 3 p. 191）

上の例文は、何らかの状態にいるという解釈も考えられるため、「性質・状態（+可変性）」の用法に入れることも可能である。

尚、「結果の状態」の場合、「誘われている」という例文があるが、これは「誘われている」状態を表している。「誘われた」という出来事後に「誘われている」という状態が生じ、今も続いていると解釈できるため、「結果の状態」の用法として考えられる。

また、「出かけています」の場合は、話し手が他人の動作を誰かに報告しており、「出かけている人」の状態を説明していると考えられる。したがって、話し手は、「あの人は出かけた」という出来事を認識し、「あの人は出かけている」という現在の状態を伝えていると考えられ、「結果の状態」として解釈した。

最後に、「運動の持続（+長期）」と「繰り返し」の用法は、『SFJ Vol. 3』での出現が最も少ない用法で、例文が最後の23課と24課で登場している。「運動の持続（+長期）」の用法は、23課で「～ために」の例文として出されている。「繰り返し」の用法の例文は最も少なく、課ではなく「まとめ」の部分に出されている。

『SFJ Vol. 3』で登場する「-テイル」の例文に使われている動詞を細かく見てみると、次のようになる。

動詞	数 (比率)
サ変動詞	22 (17%)
言う	14 (11%)
やる	8 (6%)
書く	6 (5%)
思う	5 (4%)
住む	5 (4%)
なる	5 (4%)
来る	5 (4%)
頼まれる	4 (3%)
困る	4 (3%)
持つ	4 (3%)
席をはずす	3 (2%)
知る	3 (2%)

動詞	数 (比率)
できる	3 (2%)
おっしゃる	3 (2%)
帰る	3 (2%)
間違える	3 (2%)
着る	3 (2%)
待つ	3 (2%)
過ぎる	3 (2%)
覚える	3 (2%)
出かける	3 (2%)
乗る	3 (2%)
お見えになる	3 (2%)
食べる	3 (2%)
等	17 (13%)
<b>合計</b>	<b>131 (100%)</b>

表. 17 『SFJ Vol. 3』の「-テイル」の例文の動詞

「サ変動詞」と「等」の欄に含まれる動詞は次のようなものである。

サ変動詞	数	等	数
する	7	入る	1
勉強する	4	気が付く	1
退屈する	3	飲む	1
ネクタイする	2	愛す	1
外出する	1	働く	1
留守にする	1	行く	1
心配する	1	引く	1
ジョギングする	1	取る	1
相談する	1	読む	1
入院する	1	決まる	1
		誘われる	1
		止まる	1
		結婚される	1
		退屈なさる	1
		話す	1
		決める	1
		着く	1

表. 18 『SFJ Vol. 3』の「サ変動詞」と「等」の動詞

『SFJ Vol.3 3』では、受身形の動詞も扱われており、次のような例文が登場している。

- リサ：いいえ、先生に翻訳のチェックしてほしいって頼まれてるんです。（SFJ Vol. 3 p. 3）
- 先生に翻訳のチェックしてほしいって頼まれてるんです。（SFJ Vol. 3 p. 5）

『SFJ Vol. 2』で出現した「誘われている」という状態と同様、「頼まれている」も「頼まれた」という過程があるため、「結果の状態」として考えられる。

また、『SFJ Vol.3 3』では「一テイル」の用法の例文に「やる」が用いられており、次のような例文が多く見られる。

- A : キネカで「レインマン」やってるんです。(SFJ Vol. 3 p. 22)
- やってないの。(SFJ Vol. 3 p. 129)

#### 4.2.4 『SFJ』の全体的傾向

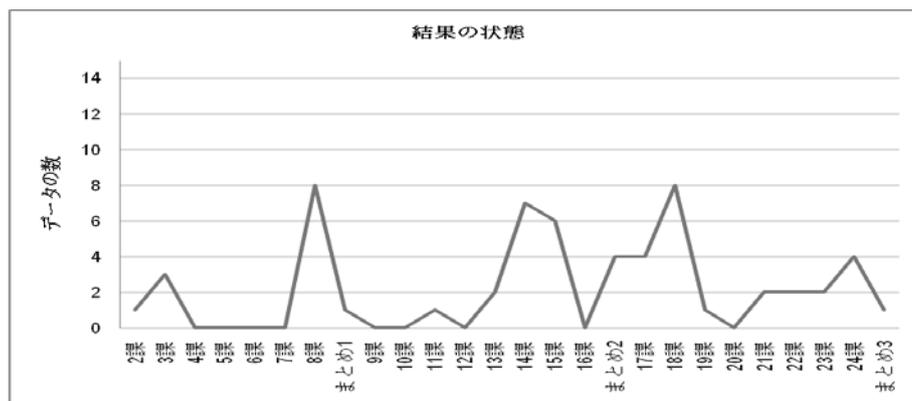
例文の数の傾向を見てみると、学習レベルが上がっていくにしたがって、例文も多くなり、使われている動詞も増えているということが分かる。

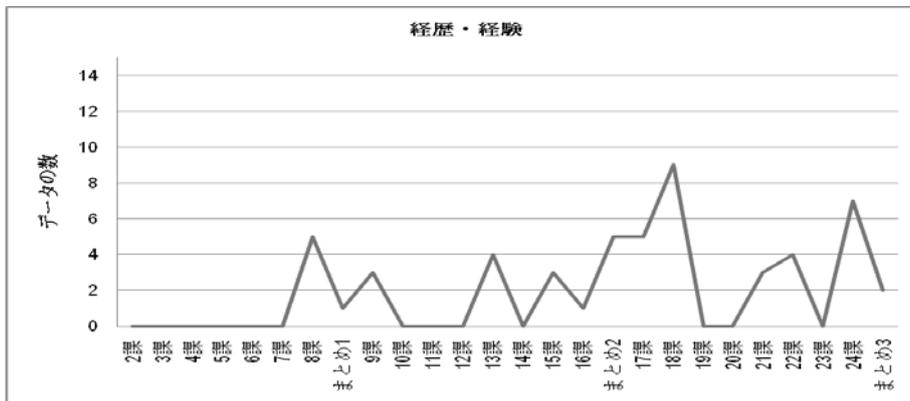
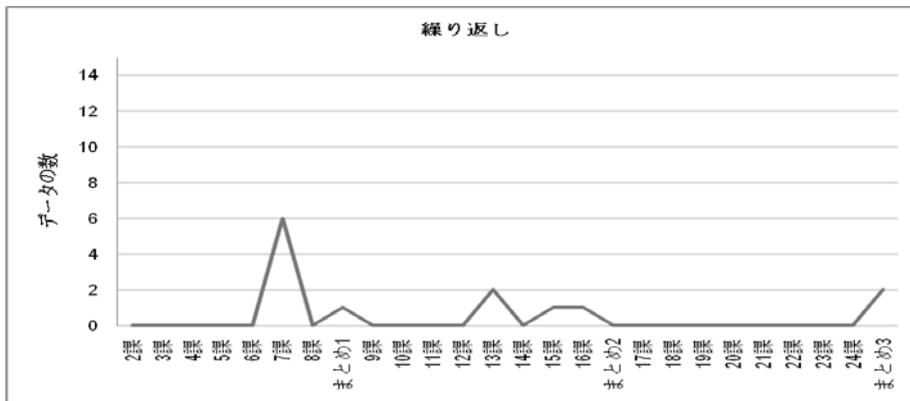
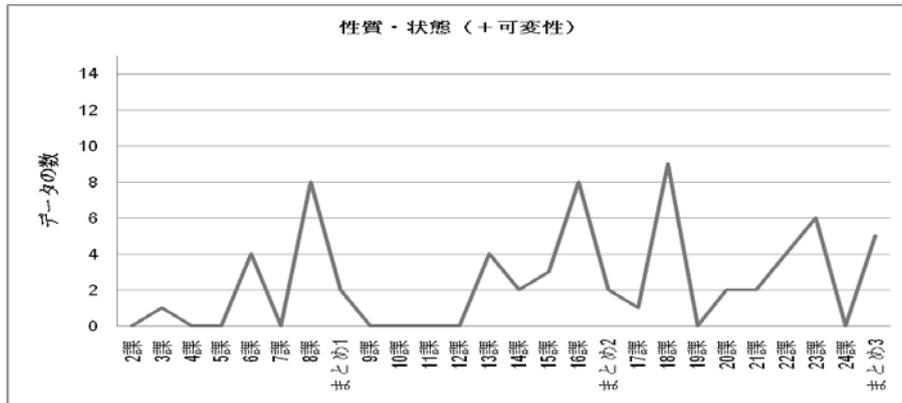
連体修飾としての「一テイル」も登場しており、これらは『SFJ Vol. 2』から出され始め、『SFJ Vol. 2』の第16課で多く扱われている。第16課では、「の」、「こと」と「ところ」の項目が導入され、文の名詞化が扱われている。その項目の例文にも「一テイル」を用いた例文が見られる。以下のようなものである。

- ゆうべ鈴木さんがきれいな女の人と歩いているのを見ました。(SFJ Vol. 2 p. 216)
- 電話がなっているのが聞こえませんか。(SFJ Vol. 2 p. 216)
- 2階がディスコになっているところです。(SFJ Vol. 2 p. 218)

連体修飾としての「一テイル」は、『SFJ Vol. 2』で多く登場しており、他の『SFJ』では比較的少ない。

次に、『SFJ』で扱われている「一テイル」の例文の用法ごとの傾向を導入される順番で見ると、次のように示すことができる。





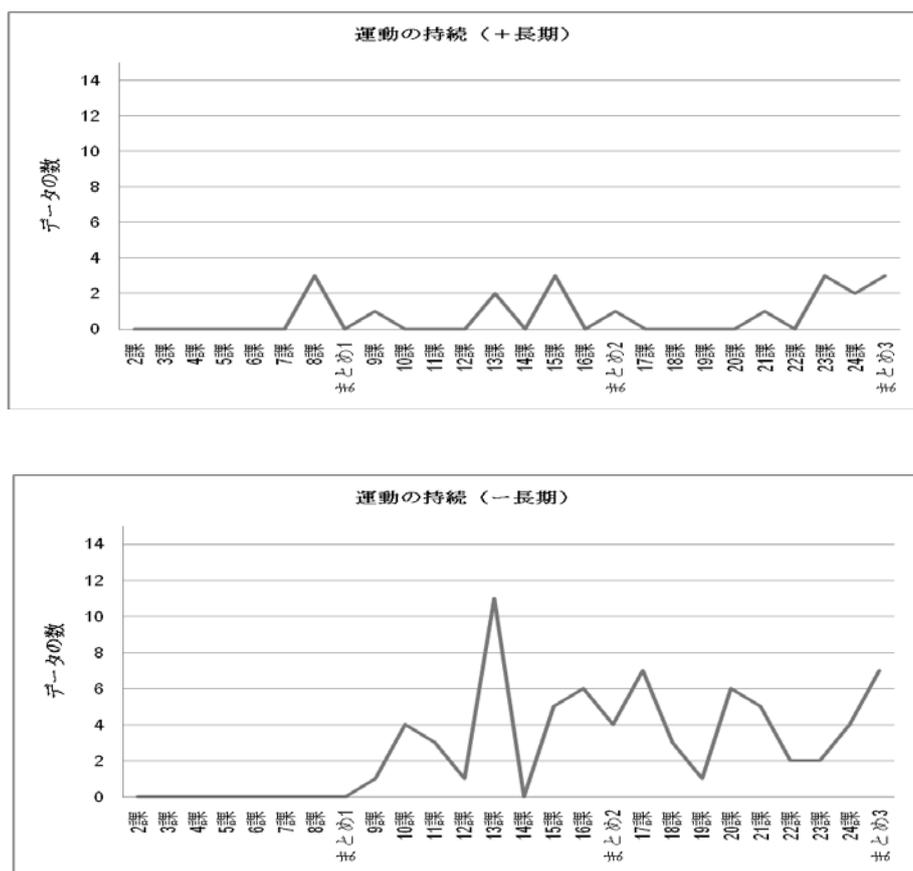


図. 19 『SFJ』の用法ごとの傾向

用法ごとに見てみると、各用法が比較的幅広く分布されているのが分かった。また、全体的に見ると、「繰り返し」の例分数とその頻度が少なく、第7課に集中しているということが確認できた。

「運動の持続（一長期）」の場合は、『SFJ Vol. 1』では登場しておらず、『SFJ Vol. 2』から登場し始め、数も頻度も課が進むにつれ増えていく傾向にある。

尚、『SFJ Vol. 2』の第14課では、2つの「一テイル」の用法しか出現せず、「結果の状態」と「性質・状態（+可変性）」の用法である。以下のような例文が多い。

- 田中：茶色の紙袋です。中に本が入ってるんですけど。（SFJ Vol. 2 p. 157）
- 田中：あ、そうですか。本、入ってますか。（S Vol. J 2 p. 157）
- B：むらさきの紙袋で、中に辞書が入っています。（SFJ Vol. 2 p. 176）

次に、動詞の面から見ると、種類が比較的多く、出現回数が非常に多い動詞もいくつか見られる。次の表では、『SFJ』の「一テイル」の例文に用いられた動詞が確認できる。

動詞	数 (比率)	動詞	数 (比率)
サ変動詞	39 (14%)	こわれる	4 (1%)
言う	25 (9%)	止まる	4 (1%)
等	23 (8%)	待つ	3 (1%)
やる	15 (6%)	降る	3 (1%)
持つ	14 (5%)	おっしゃる	3 (1%)
なる	13 (5%)	進む	3 (1%)
住む	12 (5%) 4	席をはずす	3 (1%)
入る	11 (4%)	乗る	2 (1%)
思う	11 (4%)	間違える	2 (1%)
書く	9 (3%)	違う	2 (1%)
知る	2 (3%)	取る	2 (1%)
探す	7 (3%)	着る	2 (1%)
できる	6 (2%)	過ぎる	2 (1%)
読む	6 (2%)	覚える	2 (1%)
落ちる	6 (2%)	お見えになる	2 (1%)
食べる	5 (2%)	扱う	2 (1%)
来る	5 (2%)	出かける	2 (1%)
困る	5 (2%)	食う	2 (1%)
開く	4 (1%)	帰る	2 (1%)
頼まれる	4 (1%)	借りていく	2 (1%)
		合計	276 (100%)

表. 19 『SFJ』の「-テイル」の例文の動詞

「サ変動詞」と「等」には、次のような動詞が含まれる。

サ変動詞	数
する	10

等	数
買う	1

勉強する	8
退屈する	3
ご無沙汰する	3
結婚する	2
ネクタイする	2
結婚される	1
ノックする	1
入院する	1
食事する	1
心配する	1
外出する	1
買い物する	1
相談する	1
ジョギングする	1
退屈なさる	1
留守にする	1

欠席	1
愛す	1
歩く	1
見る	1
気が付く	1
行う	1
聞く	1
習う	1
話す	1
行く	1
働く	1
酔っ払う	1
決まる	1
付く	1
込む	1
手伝う	1
誘われる	1
決める	1
引く	1
飲む	1
出す	1
着く	1

表. 20 『SFJ』の「サ変動詞」と「等」の動詞

『SFJ』の「一テイル」の例文においてはサ変動詞の使用率が最も多く、全体の動詞の14%を占めている。次に、「言う」も9%の使用率で、使用された例文のほとんどが「経歴・経験」の用法に入っている。

本研究の中心の用法である「運動の持続」と「結果の状態」を細かく見ることにする。下の図は「運動の持続（+&-長期）」と「結果の状態」の用法の傾向を表している図である。

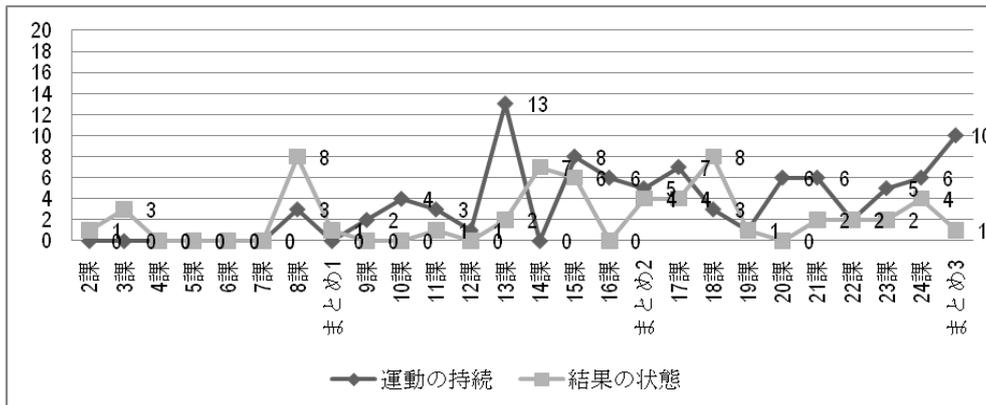


図. 20 『SFJ』の「運動の持続」&「結果の状態」の全体的な傾向

上の図を見てみると、「結果の状態」の例文より、「運動の持続」の例文が多いということが分かる。更に、「運動の持続」のみを見ると、「運動の持続」の（－長期）の例文が（＋長期）の例文より例文数が多く、頻度も高い。

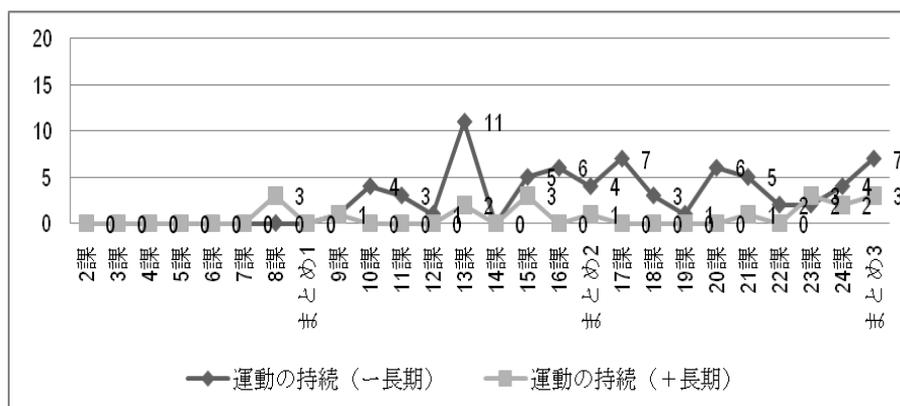


図. 21 『SFJ』の「運動の持続」の（＋&－長期）の全体的な傾向

また、その2つの用法の例文に使われている動詞を見ると、次のように示すことができる。

運動の持続の動詞	
動詞	数 (比率)
サ変動詞	20 (22%)
する	

結果の状態の動詞	
動詞	数 (比率)
入る	10 (18%)
落ちる	6 (11%)

勉強する	
する	
ノックする	
食事する	
心配する	
相談する	
買い物する	
思う	11 (12%)
住む	8 (9%)
探す	7 (8%)
書く	7 (8%)
やる	6 (7%)
読む	4 (4%)
降る	3 (3%)
待つ	3 (3%)
食う	2 (2%)
食べる	2 (2%)
進む	2 (2%)
なる	1 (1%)
愛す	1 (1%)
引く	1 (1%)
飲む	1 (1%)
覚える	1 (1%)
欠席	1 (1%)
見る	1 (1%)
行う	1 (1%)
取る	1 (1%)
乗る	1 (1%)
買う	1 (1%)

こわれる	4 (7%)
開く	4 (7%)
止まる	4 (7%)
頼まれる	4 (7%)
席をはずす	3 (5%)
違う	2 (4%)
過ぎる	2 (4%)
帰る	2 (4%)
結婚する	2 (4%)
借りていく	2 (4%)
出かける	2 (4%)
着る	2 (4%)
できる	1 (2%)
外出する	1 (2%)
結婚される	1 (2%)
着く	1 (2%)
入院する	1 (2%)
付く	1 (2%)
誘われる	1 (2%)
来る	1 (2%)
<b>合計</b>	<b>57 (100%)</b>

歩く	1 (1%)
来る	1 (1%)
話す	1 (1%)
行く	1 (1%)
働く	1 (1%)
<b>合計</b>	<b>91 (100%)</b>

表. 21 『SFJ』の「運動の持続」と「結果の状態」の動詞

上の表で分かるように、「運動の持続」によく使われている動詞は「サ変動詞」で、使われている動詞全体の22%を占めている。次に、「結果の状態」の用法の例文においては、「入る」が最も多く使われており、全体の18%を占めている。

### 4.3 考察

上記の分析結果をまとめると、次のようになる。

『みんな初級』				『SFJ』			
順番	用法	初出課	出現数 (比率)	順番	用法	初出課	出現数 (比率)
1	UJ-	14 課	34 (22%)	1	KJ	2 課	54 (19%)
2	SJ+	14 課	24 (16%)	2	SJ+	3 課	66 (24%)
3	UJ+	15 課	33 (22%)	3	KK	7 課	13 (5%)
4	KJ	15 課	23 (15%)	4	KR	8 課	52 (19%)
5	KK	28 課	27 (18%)	5	UJ+	8 課	19 (7%)
6	KR	28 課	11 (7%)	6	UJ-	9 課	72 (26%)
7	JH	—	—	7	JH	—	—
8	SJ-	—	—	8	SJ-	—	—
合計			<b>152 (100%)</b>	合計			<b>276 (100%)</b>

表. 22 「一テイル」の順序と比率

※UJ- 「運動の持続 (一長期)」、SJ+ 「性質・状態 (+可変性)」、UJ+ 「運動の持続 (+長期)」、KJ 「結果の状態」、KK 「繰り返し」、KR 「経歴・経験」、JH 「状態の変化」、SJ- 「性質・状態 (-可変性)」

上の表を見ると、2つの教材に見られる共通点が2つ挙げられる。まず、「状態の変化」と「性質・状態（一可変性）」の用法が出されていないことである。この2つの用法は動詞の種類や補助動詞などの項目と関係し、より複雑な項目であるため、初級の教科書には出されていないと考えられる。2つ目の共通点は、「運動の持続」と「結果の状態」の用法の全体的な比率が挙げられる。

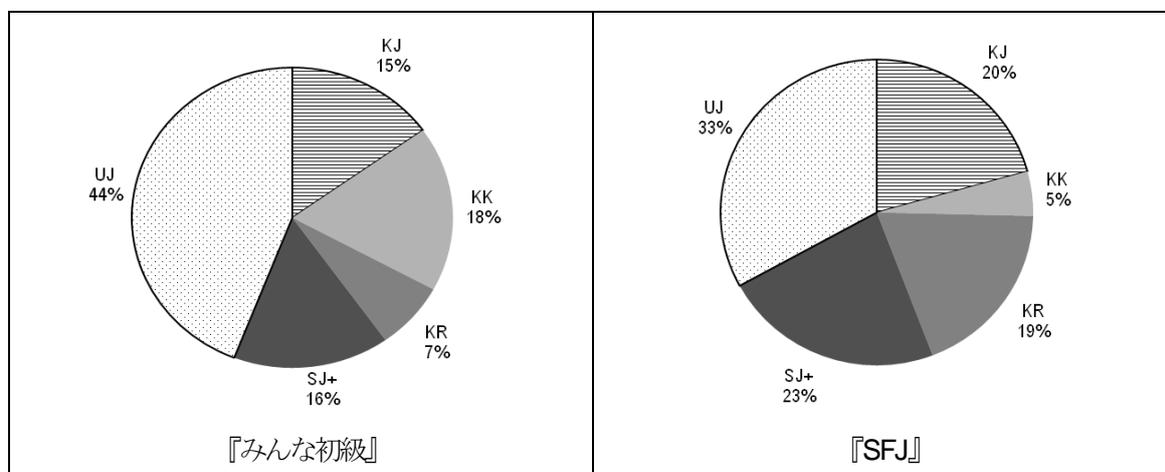


図. 22 各教科書の用法の比率

上の図は2つの各教科書の「一テイル」の各用法の比率を表している図である。「運動の持続/UJ」と「結果の状態/KJ」の比率を見ると、教科書によって各用法の比率は若干異なっているが、同じ傾向にあるということが言えよう。

また、表. 21 から離れて、「結果の状態」の導入に使われている動詞においても共通点が見られる。『みんな初級』は、「結果の状態」を第15課で最初に導入し、一方で『SFJ』は、第8課で導入する。これらの2つの課では「持つ」、「住む」と「知る」の動詞が「一テイル」の例文に使われている。『SFJ』ではこれらの3つの動詞はよく「一テイル」の形で使われていると説明されているが、『みんな初級』ではそのような説明は書かれていない。

また、連体修飾としての「一テイル」の例文の出現も2つの教科書の共通点として挙げられる。『みんな初級』は、第22課に「連体修飾」についての導入があり、次のような例文が出されている。

- あの着物を着ている人はだれですか。（みんな初級 I p. 180）
- ワンさんが働いている病院。（みんな初級解説 I p. 142）
- これはミラーさんが住んでいたうちです。（みんな初級解説 I p. 143）

連体修飾としての「ーテイル」の例文は第 46 課でも扱われており、「ーテイルところ」という項目の例文として出されている。第 46 課で出現している例文は次のようなものがある。

- ...いいえ、今調べているところです。(みんな初級Ⅱ p. 170)
- 係員：お待たせしました。今そちらに向かっているところです。(みんな初級Ⅱ p. 171)

『SFJ』の場合は、『SFJ Vol. 2』の第 16 課では、文の名詞化が扱われており、連体修飾としての「ーテイル」が多く出現している。その例文は次のようなものがある。

- ゆうべ鈴木さんがきれいな女の人と歩いているのを見ました。(SFJ Vol. 2 p. 216)
- 電話がなっているのが聞こえませんか。(SFJ Vol. 2 p. 216)
- 2階がディスコになっているところです。(SFJ Vol. 2 p. 218)

全体の例文数に対する連体修飾としての「ーテイル」の例文の比率を見てみると、次のように表すことができる。

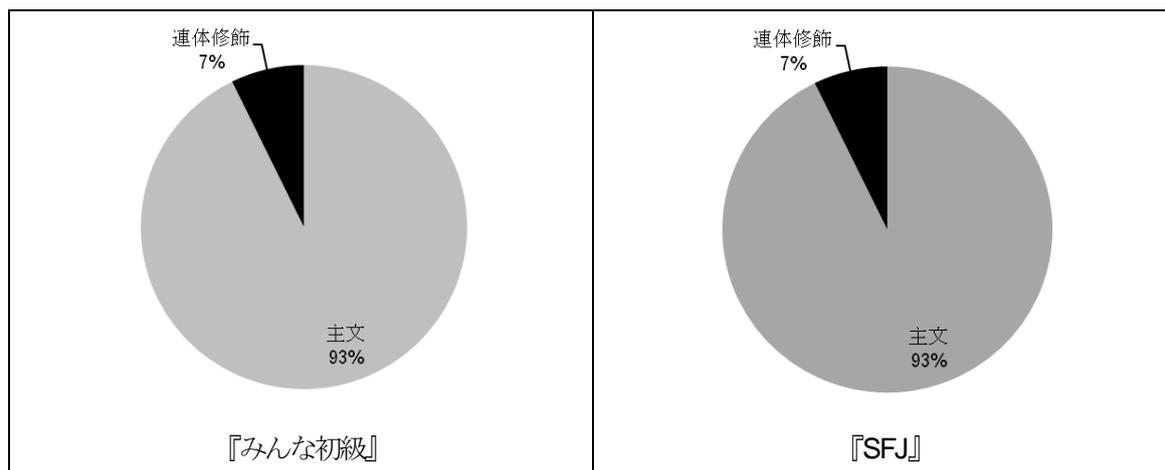


図. 23 各教科書の連体修飾としての「ーテイル」の例文の比率

連体修飾の「ーテイル」は『SFJ』の方が例文数は多いが、全体における割合を見ると、その出現において 2 つの教科書に同じ傾向が見られる。

2 つの教科書において異なっている部分についてもいくつか挙げられる。まず、例文数から見ると、『みんな初級』より『SFJ』の方が「ーテイル」の例文が多く登場しているということが分かった。

更に、「ーテイル」の例文が登場する順番も異なっている。『みんな初級』では「ーテイル」の例文は第14課で初めて登場し、「運動の持続（一長期）」の用法が扱われている。第14課は「ーテイル」が項目として導入される課であり、それより前に「ーテイル」の例文は出されていない。一方、『SFJ』の場合は、「ーテイル」が初めて導入される前に「ーテイル」の例文の登場が見られる。最初に第2課で登場し、かなり早い段階で学習者に紹介されている。『SFJ』の第2課で登場する例文には次のものがある。

■ Costumer : あのう、おつり、ちがってるんですけど。 (SFJ Vol. 1 p. 45)

上の例文は本文ではなく、「Conversation Notes (CN)」という社会文化的な説明がメインになっているところに登場している。この例文は支払いの場面で登場し、間違っただおつりをもらった時によく使われているフレーズとして紹介される。

下の図は『みんな初級』と『SFJ』における例文の傾向を表しているものである。

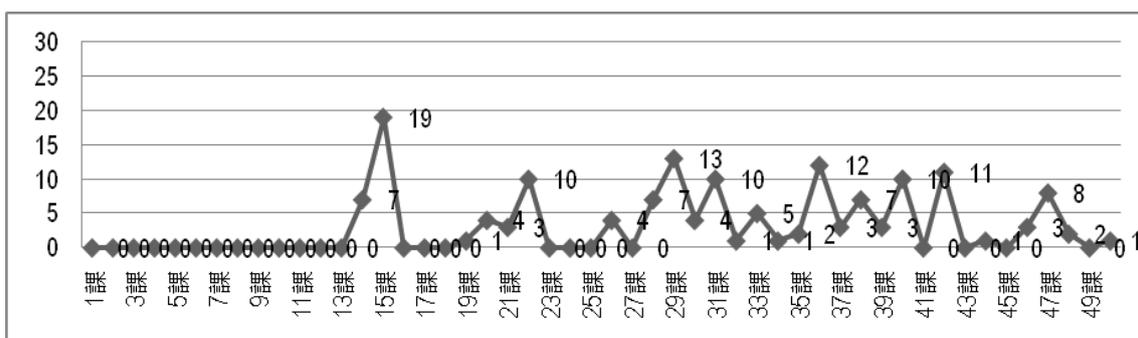


図. 24 『みんな初級』の例文の傾向

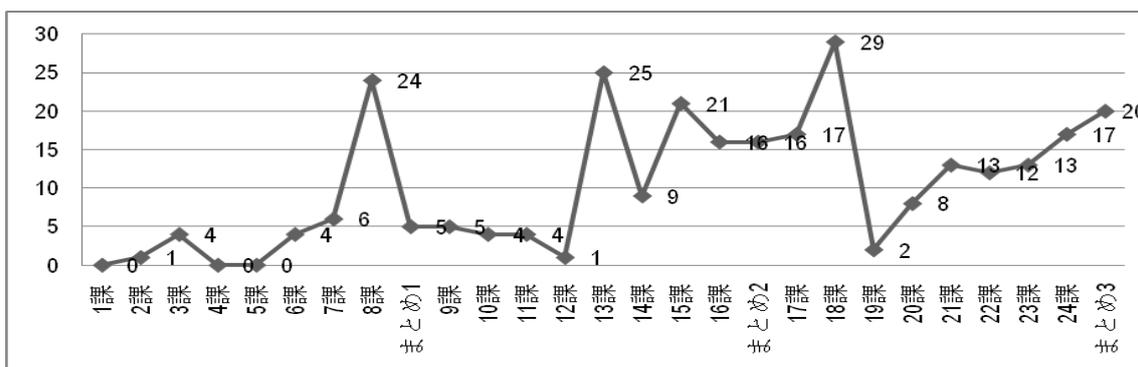


図. 25 『SFJ』の例文の傾向

上の図を見ると、各教科書によって例文の傾向が異なっているということが分かる。各課の例分数の平均を見ると、『みんな初級』の登場する例文数の平均は3.04であるのに対して、『SFJ』の平均は10.22で、『みんな初級』より高いということが確認できた。『みんな初級』では、「ーテイル」は難易度の高い項目と判断され、その例文の数が限られているという可能性が考えられる。一方、『SFJ』の場合は、日常生活で「ーテイル」を使った場面が多いため、その例文が多く出されているという可能性が考えられる。このように、シラバスによって出されている文法項目の例文の数が影響されているということが分かる。

以下は各教科書の「ーテイル」の導入の順番である。

『みんな初級』			『SFJ』		
順番	課	用法	順番	課	用法
1	14 課	運動の持続（一長期）	1	8 課	結果の状態
2	15 課	結果の状態			性質・状態（+可変性）
		運動の持続（+長期）			「ーテイナイ」
3	28 課	繰り返し	2	13 課	運動の持続（一長期）
4	29 課	結果の状態			「ーテイタ」

表.23 各教科書の「ーテイル」の導入順序

『みんな初級解説』によると、『みんな初級』では4つの用法が扱われていると述べられている。一方、『SFJ』の解説では5つの用法が導入されているが、「ーテイル」の用法に関する説明は、2つの用法しか書かれていない。それらの用法は、「結果の状態」と「運動の持続」である。そして、『SFJ』にも「ーテイナイ」と「ーテイタ」の導入がある。

また、導入の順番を見てみると、『みんな初級』では「運動の持続」→「結果の状態」という順番であるのに対して、『SFJ』の場合は「結果の状態」→「運動の持続」という順番で『みんな初級』とは異なっているパターンが取り入れられている。

尚、2つの教科書には「ーテイナイ」と「ーテイタ」という形の例文も出ている。以下は2つの教科書に出されている「ーテイル」、「ーテイナイ」と「ーテイタ」形の例文の比率を表している図である。

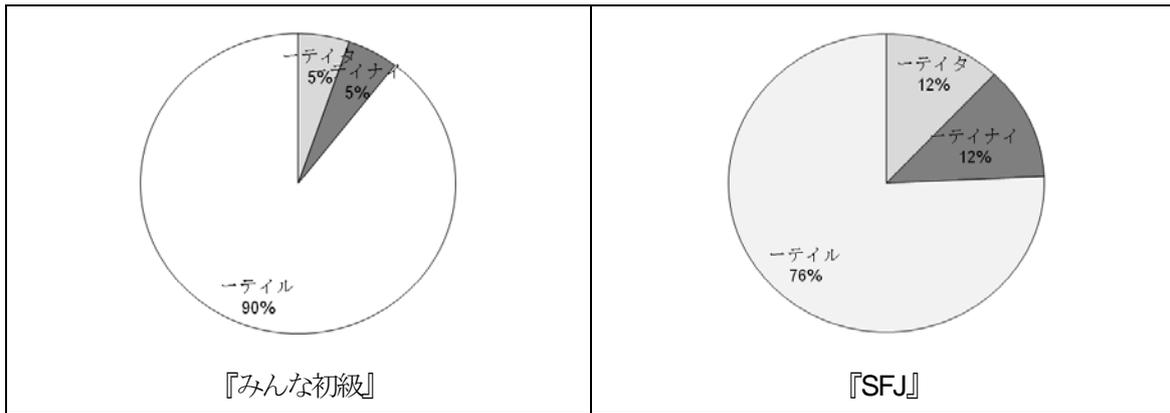


図.26 各教科書の「ーテイル」、「ーテイナイ」と「ーテイタ」の比率

上の図から、『SFJ』の方が「ーテイナイ」と「ーテイタ」形の例文の割合が高いということが分かる。

次に、各教科書に出されている「ーテイル」の用法もそれぞれ異なる傾向にある。それぞれの用法の傾向を見ることにする。

● 「結果の状態」

以下は『みんな初級』と『SFJ』の「結果の状態」の用法の傾向を表している図である。

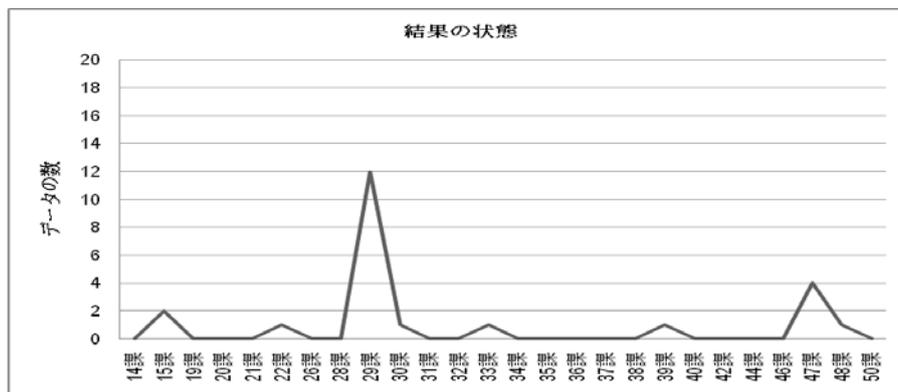


図.27 『みんな初級』の「結果の状態」の傾向

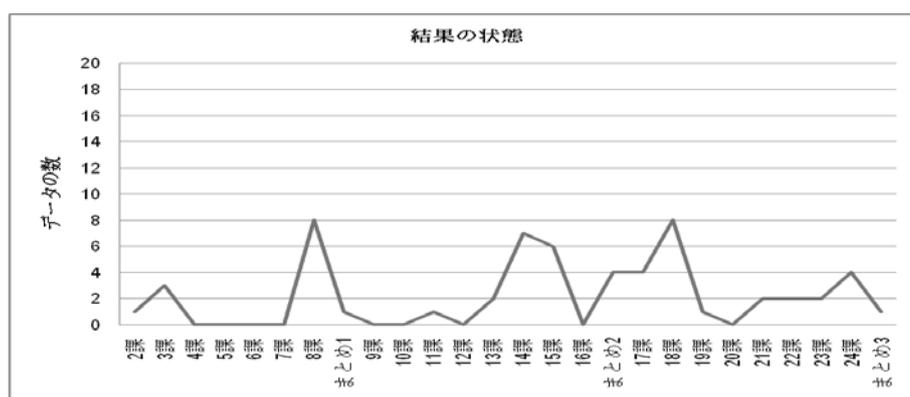


図.28 『SFJ』の「結果の状態」の傾向

それぞれの図を見ると、『みんな初級』の例文は「結果の状態」が扱われている第29課に集中しているのに対して、『SFJ』では、「結果の状態」が扱われている第8課だけに集中しておらず、他の課での出現も見られる。『みんな初級』で出現している「結果の状態」の用法には次のような例文がある。

- この自動販売機は壊れています。(みんな初級Ⅱ p. 26)
- 窓が閉まっています。(みんな初級Ⅱ p. 26)
- 会議室のかぎが掛かっていますね。(みんな初級Ⅱ p. 26)
- イー：青いカバンです。このぐらいの...外側に大きいポケットが付いています。(みんな初級Ⅱ p. 27)

『みんな初級』の第28課では、「繰り返し」の用法の導入があり、さらに第29課では「一テアル」の導入もあるため、「結果の状態」に使われている動詞を「一テアル」の項目と対立させるという目的が考えられる。一方『SFJ』の場合は、第8課以外では、「結果の状態」の例文は第14課と第18課で多く出されている。第14課で出現している例文は「入る」を使ったものが多い。そして、第18課で次のような例文が出現している。

- みどりの母：あ、いまちょっと出かけてますけど。(SFJ Vol. 3 p. 44)
- Secretary：もうしわけございません。社長は、ただいま外出しておりますが。(SFJ Vol. 3 p. 44)
- 会社の人：少々お待ちください。すみません。今ちょっと席を外してますが...(SFJ Vol. 3 p. 47)
- 鈴木：いまちょっと席をはずしていらっっしゃいますが。(SFJ Vol. 3 p. 50)

上の例文は「出かけている」、「外出している」、「席を外している」などを使った例文で、話し手が1人称の場合は「結果の状態」ではなく、「運動の持続」に入るものである。しかし、上の例文は全て3人称であり、3人称の視点から考えると他人の状態の説明になるため、「結果の状態」と捉えることができる。

- 「運動の持続（一長期）」

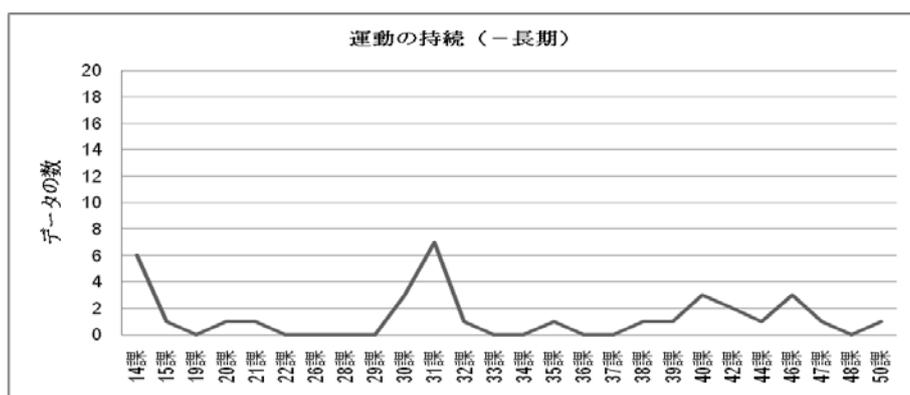


図. 29 『みんな初級』の「運動の持続（一長期）」の傾向

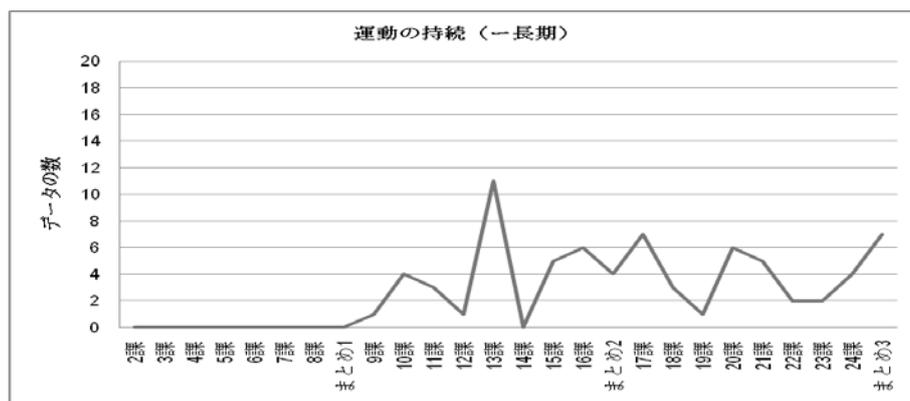


図. 30 『SFJ』の「運動の持続（一長期）」の傾向

「運動の持続（一長期）」は、『みんなの初級』では第14課、『SFJ』では第13課で導入されている。『SFJ』には24の課があり、第13課での導入は『みんな初級』より遅いという印象がある。一方で、『SFJ』とは異なり、『みんな初級』では第14課の前に、「運動の持続（一長期）」を表している例文は登場しない。このような傾向は「結果の状態」においても見られる。『みんな初級』の第14課は、「運動の持続（一長期）」が初めて扱われる課といえども、その例文の数は4つしかなく、非常に少ないと考えられる。

『みんな初級』では第14課以外でも、第31課に「運動の持続（一長期）」の例文が登場している。第31課では意向形が扱われており、「～と思っています」というような例文が多く登場している。第31課における意向形の例文には以下のようなものがある。

- 将来自分の会社を作ろうと思っています。（みんな初級Ⅱ p. 44）
- …家族と温泉に行こうと思っています。（みんな初級Ⅱ p. 44）
- 金曜日までにまとめようと思っています。（みんな初級Ⅱ p. 44）

一方、『SFJ』の場合、「運動の持続（一長期）」が扱われている第13課の前に、「運動の持続（一長期）」の例文が既に出されており、第13課の後の課でも（第14課を除いて）かなりの数で登場している。『SFJ』の第14課では、「忘れ物の問合せ」の場面が設定されており、「運動の持続（一長期）」の用法は設定されている場面にふさわしくないため出されていないと考えられる。第13課の「運動の持続（一長期）」の例文には次のようなものがある。

- 鈴木：先生たちと昼飯くってたもんだから。（SFJ Vol. 2 p. 130）

「運動の持続（一長期）」の例文に「食う」という日常生活によく使われている動詞が導入されているが、これは『みんな初級』で見られないことである。図. 29で分かるように、第13課の後の課でも、「運動の持続（一長期）」の例文が多く登場している。このようにして『SFJ』では、この用法の日常生活での必要性が示されている。

2つの教科書では、「運動の持続（一長期）」の例文が他の項目の導入にも使われている。また、例文を細かく見ると、『SFJ』では『みんな初級』と比べてより多くの項目と一緒にこの例文が使われている。『SFJ』で出されている「運動の持続（一長期）」の例文には以下のような例文がある。

- A：台風が来て（い）るらしいですよ。（SFJ Vol. 3 p. 105）
- A：もう少し、小さくしていただけないでしょうか。今、論文を書いているもんですから。（SFJ Vol. 3 p. 148）
- こんなに愛しているのに、どうして行ってしまうのですか。（SFJ Vol. 3 p. 215）
- デパートで買い物していたら、田中さんに会いました。（SFJ Vol. 2 p. 68）

上の例文を見ると、「運動の持続（一長期）」の例文がバリエーションの豊かな項目と合わせて出されている。一方、『みんな初級』では、上のような例文もあるが、そのバリエーションは非常に少ない。以下は『みんな初級』の「運動の持続（一長期）」の例文のバリエーションである。

- ...いいえ、今調べているところです。（みんな初級Ⅱ p. 170）
- ...ええ。パーティーでもしているようですね。（みんな初級Ⅱ p. 178）

『みんな初級』では、「一テイル」を他の難しい項目と合わせて導入したら、学習者を混乱させてしまうと懸念していると考えられる。それに対して、『SFJ』は、既習の項目に対する学習者の理解を深めようとし、「運動の持続（一長期）」の例文に既習の項目も取り入れている。

● 「運動の持続（+長期）」

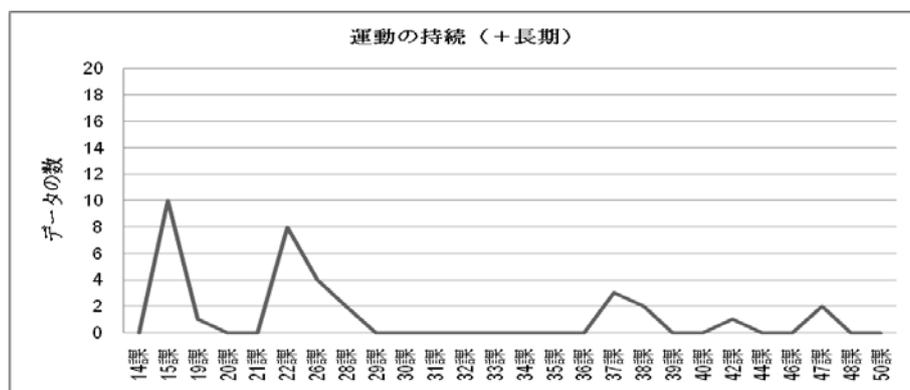


図. 31 『みんな初級』の「運動の持続（+長期）」の傾向

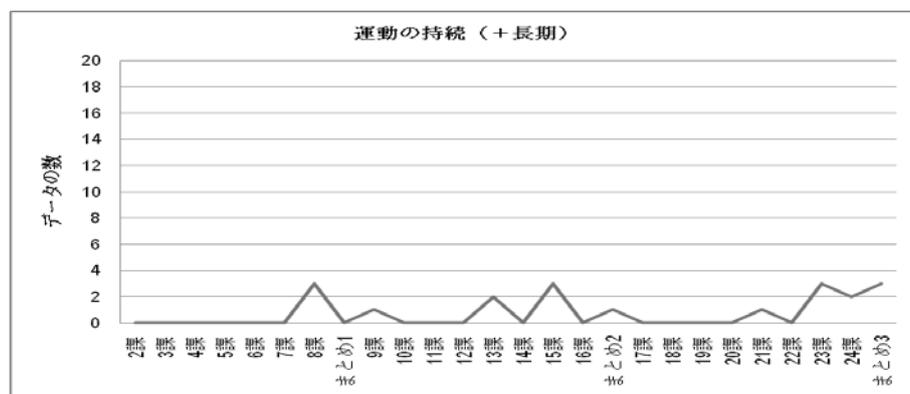


図. 32 『SFJ』の「運動の持続（+長期）」の傾向

「結果の状態」と「運動の持続（－長期）」の用法においては、『SFJ』の方が「－テイル」の例文が多く登場するという傾向にあるが、「運動の持続（＋長期）」では、そのような傾向が見られないようである。図で分かるように、例文が登場する頻度とその数も非常に少ない。この用法は『みんな初級』の場合、第15課で扱われており、長い期間にわたって行う習慣的な行動や動作として導入されている。この課では「運動の持続（＋長期）」の用法を現している例文が多く登場している。第15課で出ている例文は次のようである。

- マリアさんはどこに住んでいますか。（みんな初級 I p. 122）
- 教師です。富士大学で教えています。（みんな初級 I p. 122）
- 母は高校で英語を教えています。（みんな初級 I p. 123）

尚、『みんな初級』の第22課でも「運動の持続（＋長期）」を表している例文が多く登場している。しかし、そのほとんどが連体修飾で、本冊ではなく解説の方に登場している。その例文には以下のようなものがある。

- ワンさんが働いている病院。（みんな初級解説 I p. 142）
- これはミラーさんが住んでいたうちです。（みんな初級解説 I p. 143）
- ミラーさんが住んでいたうちは古いです。（みんな初級解説 I p. 143）
- ミラーさんが住んでいたうちを買いました。（みんな初級解説 I p. 143）

一方、『SFJ』の「運動の持続（＋長期）」の例文には『みんな初級』と異なっている傾向が見られる。『SFJ』では、「運動の持続（＋長期）」の例文に「住んでいる」という文が多く登場しており、「大学で教えている」のような職業の意味を表している例文は全く登場しない。

- 「繰り返し」

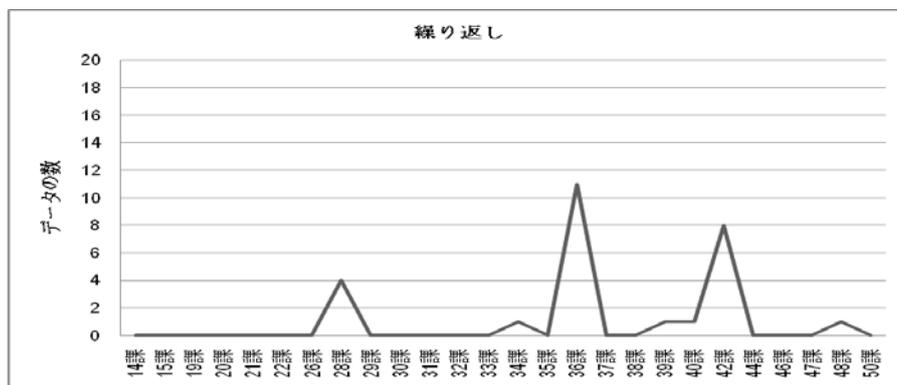


図.33 『みんな初級』の「繰り返し」の傾向

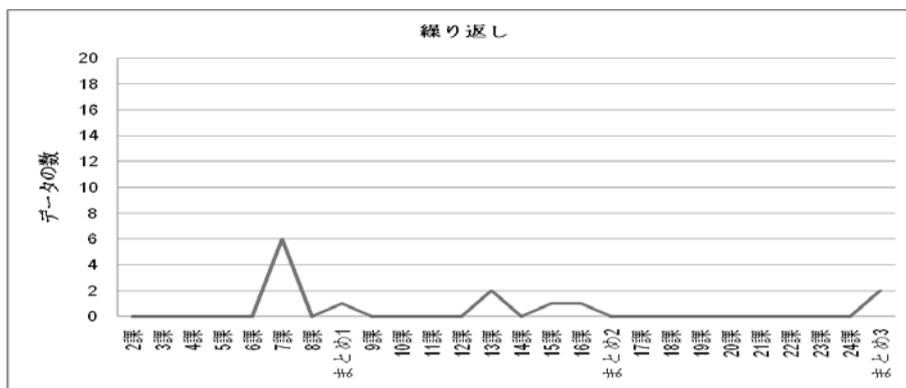


図.34 『SFJ』の「繰り返し」の傾向

図を見ると、「繰り返し」の用法は、上記で述べた「運動の持続（＋長期）」の用法と同じ傾向にあるということが分かった。『みんな初級』では、例文が第36課と第42課に集中して登場している。

『みんな初級』の第36課では、何かの目的を達成するために行う習慣的な行動を表す「～ように」の導入が行われている。そのため、「～ように～ています」というパターンの例文が多く登場している。それは次のようなものである。

- 速く泳げるように、毎日練習しています。（みんな初級Ⅱ p. 80）
- 毎日日記を書くようにしています。（みんな初級Ⅱ p. 80）
- ええ。できるだけ食べないようにしているんです。（みんな初級Ⅱ p. 80）

また、第42課では、上記の「～ように」と同じような項目で、「ために」が導入され、「～ために～ています」というような例文が多い。

一方、『SFJ』では、『みんな初級』で出ている例文のようなものではなく、「繰り返し」を表している例文も少ない。例文を細かく見ると、次のようなものが多い。

- 山下：きょうの午後、やっていますか。(SFJ Vol. 1 p. 152)
- ほかの日は朝9時から夕方5時半までやっていますが、火曜日と土曜日は昼の12時までです。(SFJ Vol. 1 p. 153)
- 何時から何時までやっていますか。(SFJ Vol. 1 p. 169)

『SFJ』では、上の例文以外に「毎日」、「毎朝」などのような時間を表す言葉を使った例文も出ているが、その数は非常に少ない。ここで、『SFJ』の例文は、『みんな初級』の例文と異なる傾向にあるということが分かる。

● 「性質・状態 (+可変性)」



図.35 『みんな初級』の「性質・状態 (+可変性)」の傾向

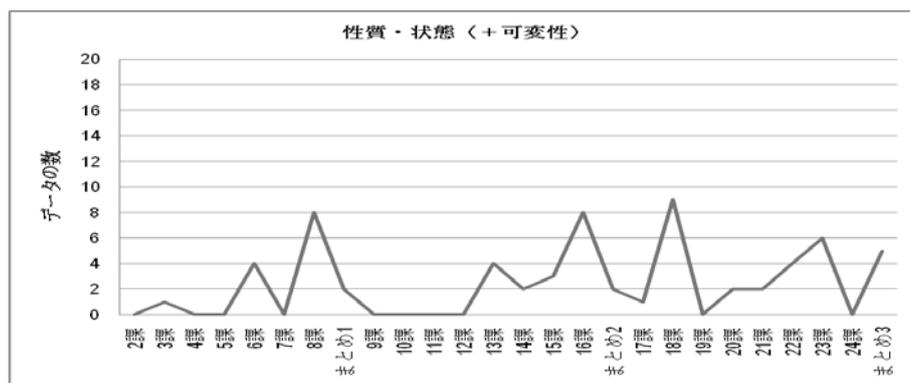


図.36 『SFJ』の「性質・状態 (+可変性)」の傾向

図で表している「性質・状態 (+可変性)」の用法の傾向を見ると、『みんな初級』の例文より『SFJ』の例文の方が頻繁に出ており、その数も多いということが分かった。このような傾向は「結果の状態」の用法にも見られるものである。

この用法の例文の特徴として、「知っている」と「持っている」を使った例文が多いということがあげられる。『みんな初級』で出ている例文もほとんどが「知っている」と「持っている」を使った例文である。

『SFJ』では、「知っている」と「持っている」の例文以外に、以下のような例文もある。

- 2階がディスコになっているところです。(SFJ Vol. 2 p. 208)
- 山下：「ノア」です。2階がディスコになっているところなんですけど。(SFJ Vol. 2 p. 205)
- B：あそこの、地下が駐車場になっているビルですよ。(SFJ Vol. 2 p. 218)

「ディスコになっているところ」というのは、ある場所の状態を表しているが、「あの場所はディスコになった」という出来事が起きてから生じた状態ではない。そのため、この例文は「結果の状態」ではなく、「性質・状態 (+可変性)」に入ると考えられる。

そして、「性質・状態 (+可変性)」の例文には「ーテイナイ」という形の例文も多く出されている。特に『SFJ』ではこのような例文が多く登場している。各教科書では、「ーテイナイ」は「ーテイル」の否定形として導入されている。しかし、「ーテイナイ」というのも、物事の状態でもあると考えられるため、本研究では、そのような「ーテイナイ」の例文を「性質・状態 (+可変性)」として解釈している。『SFJ』で登場している「ーテイナイ」の例文は次のようである。

- Waitress : ぶた肉ですか。いえ、入っていませんよ。(SFJ Vol. 1 p. 74)
- B : いいえ、宿舎には住んでいません。(SFJ Vol. 1 p. 184)
- 準備ができていません。(SFJ Vol. 1 p. 185)

尚、『SFJ』の「性質・状態 (+可変性)」の例文に以下のような例文もある。

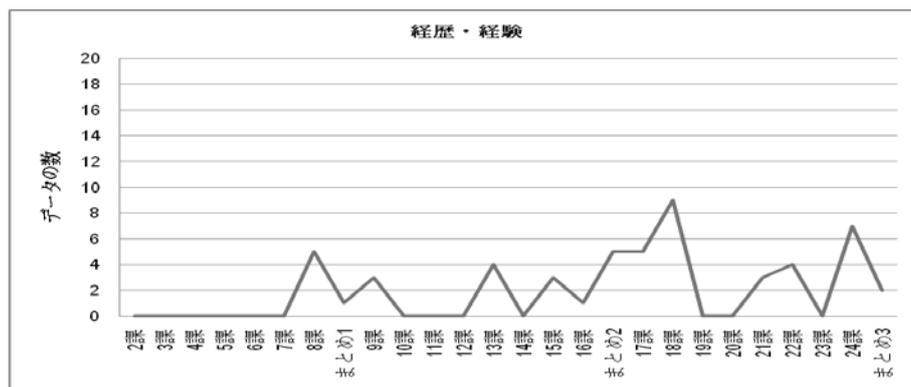
- 田中 : どうも、ごぶさたしてます。(SFJ Vol. 2 p. 178)
- 山下 : 先生、ごぶさたしてます。(SFJ Vol. 2 p. 197)

「ごぶさたしてます」の例文は『SFJ』の第15課に導入されており、会話を始める時によく使われているフレーズとして紹介されている。「ごぶさたしてます」というのもある人に対するほかの人の状態を表していると考えられるため、この用法として解釈している。

● 「経歴・経験」



図. 37 『みんな初級』の「経歴・経験」の傾向



### 図.38 『SFJ』の「経歴・経験」の傾向

図で分かるように、「経歴・経験」の用法においても、『みんな初級』と『SFJ』は異なる傾向にある。『みんな初級』には例文の登場が少なく、『SFJ』には、例文が頻繁に登場している。そのような傾向は、「運動の持続（一長期）」の用法に見られた傾向と同じである。しかし、例文を細かく見ても、2つの教科書には特に異なっているところはない。つまり、2つの教科書に見える差はただ例文の数の差のみである。以下は『みんな初級』で出ている例文である。

- ...いいえ、まだ書いていません。（みんな初級Ⅱ p.44）
- ...今出かけています。30分ぐらいで戻ると言っていました。（みんな初級Ⅱ p.60）
- 子どものとき、毎晩8時に寝ていました。（みんな初級解説Ⅱ p.20）

『SFJ』でも同じような例文が出ており、以下は『SFJ』に登場しているものである。

- まだごはんを食べていません。（SFJ Vol.2 p.115）
- 田中さんはあした東京に行くと言っています。（SFJ Vol.2 p.118）
- 子どもの時、インドに住んでいました。（SFJ Vol.2 p.143）

『SFJ』には「一テイナイ」という形の例文は多く出ている。この用法に入っている「一テイナイ」は「まだ」と一緒に出てくるものがほとんどである。それらは、「まだ実現していない、そのような経験はがない」というように考えられるため、この用法に含めている。

また、この用法には「～と言っています」の例文も多い。このケースにおいても上記の「出かけています」と同様で他の人の視線が入るため、話し手のことまたは記録ではなく話されている他人の記録になり、この用法に含められると考えられる。

最後に、各教科書の「運動の持続（+&一長期）」と「結果の状態」の全体的な傾向を見ることにする。以下はそれぞれの教科書で見られた傾向を表している図である。

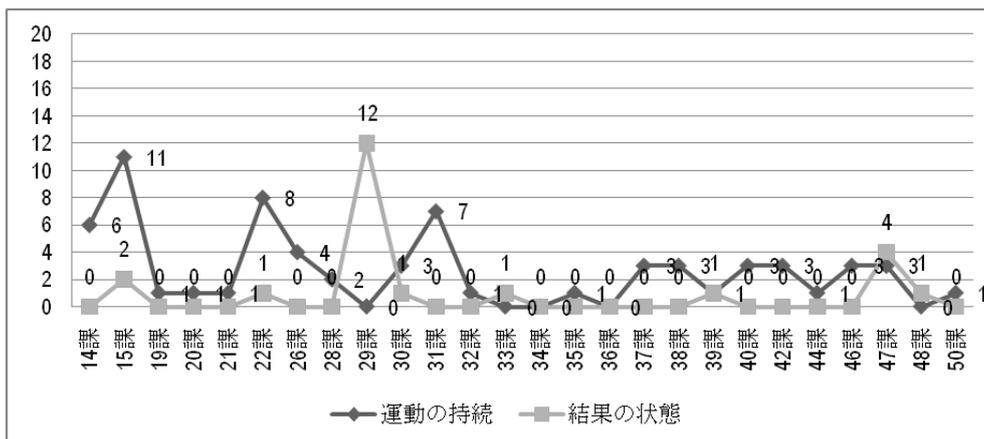


図.8 『みんな初級』の「運動の持続」&「結果の状態」の全体的な傾向

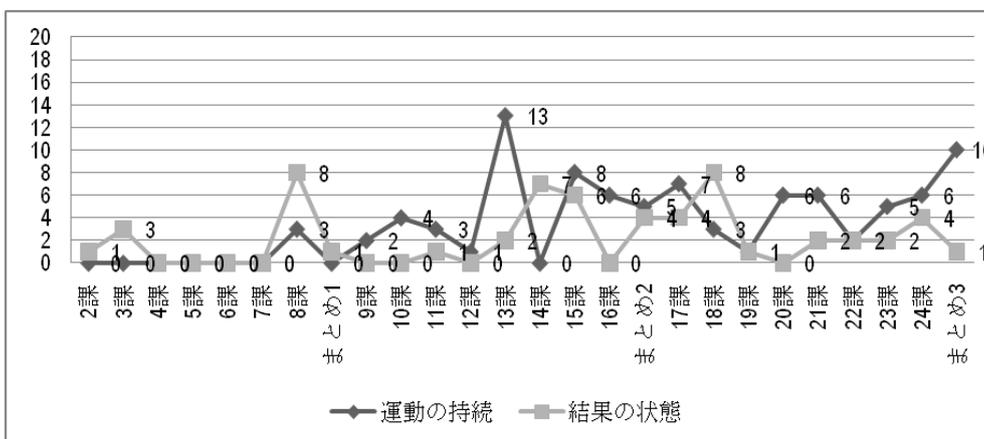


図.20 『SFJ』の「運動の持続」&「結果の状態」の全体的な傾向

上の図で分かるように、『みんなの初級』では、課が進むにつれて例文の数がだんだん減っているということが分かった。一方、『SFJ』の例文の数は『みんな初級』と全く異なる傾向を持っている。『SFJ』の場合、課が進むにつれて例文が多く出ているということが確認できた。上で述べたように、このような傾向は、各教科書のシラバスの影響が働いているということが考えられる。構造シラバスを用いた『みんなの初級』では、「一テイル」は難易度の高い項目とされており、学習者を混乱させないという目的でその用法の例文をあまりださないようにしている。しかし、複合的なシラバスを採用した『SFJ』では、「一テイル」は日常生活のコミュニケーションにおいて必要性の高い項目とされているため、例文が多く登場している。

## 5. おわりに

### 5.1 結論

本研究では、『みんなの日本語初級 I・II』と『Situational Functional Japanese Volume 1・2・3』を中心に、初級日本語教科書における「ーテイル」の扱われ方について調査した。分析結果を研究設問にそって示していくことにする。

まず、初級日本語教科書において、「ーテイル」のどのような用法が扱われ、どのような順序で提示されているのかについて述べる。

補助教材である『みんな初級解説』によると、『みんな初級』では、「ーテイル」の4つの用法を4つの課で扱っていると述べられている。簡単にまとめると次のようになる。

順番	課	用法
1	14 課	運動の持続（一長期）
2	15 課	結果の状態 運動の持続（+長期）
3	28 課	繰り返し
4	29 課	結果の状態

表.24 『みんな初級』の「ーテイル」の用法

「結果の状態」の用法は、第15課と第29課の2つの課で扱われている。第15課では、「結婚しています」のような、主体が人である「結果の状態」の用法が導入されている。一方、第29課では、物の状態を表す「ーテイル」が導入されている。

しかし、『みんな初級』で登場している例文を細かく分析し、許（2000）の分類方法に従って分類した結果、上の4つの用法だけではなく、「性質・状態（+可変性）」と「経歴・経験」の用法を表している例文も出ているということが分かった。以下は、許（2000）の分類方法による分析結果を表している表である。

順番	用法	初出課	出現数 (比率)
1	運動の持続 (一長期)	14 課	34 (22%)
2	性質・状態 (+可変性)	14 課	24 (16%)
3	運動の持続 (+長期)	15 課	33 (22%)
4	繰り返し	28 課	27 (18%)
5	結果の状態	15 課	23 (15%)
6	経歴・経験	28 課	11 (7%)
合計			152 (100%)

表.25 許 (2000) による『みんな初級』の「-テイル」の用法

一方、『SFJ』の場合は、「-テイル」の導入は大きく2つに分かれており、第8課と第13課で導入されている。教科書には4つの用法が出ているが、「-テイル」の用法に関する説明は2つしかない。「結果の状態」と「運動の持続」の用法の説明である。下の表は『SFJ』で導入される「-テイル」の用法表したものである。

順番	課	用法
1	8 課	結果の状態 性質・状態 (+可変性) 運動の持続 (+長期) 「-テイナイ」
2	13 課	運動の持続 (一長期) 「-テイタ」

表.26 『SFJ』の「-テイル」の用法

『SFJ』の第8課では、「結果の状態」の用法が導入されてから、「持っている」、「住んでいる」と「知っている」という項目が導入される。しかし、その3つの「-テイル」の導入では、どのような用法なのかという説明はなく、よく「-テイル」の形で使われているものとして紹介されているだけである。そして、第8課では「-テイナイ」も「まだ」と一緒に導入され、「まだ実行されていない動作」というように紹介されている。

下の表は、本研究の調査結果で、許（2000）の分類方法で分析した結果を表したものである。

順番	用法	初出課	出現数 (比率)
1	結果の状態	2 課	54 (19%)
2	性質・状態 (+可変性)	3 課	66 (24%)
3	繰り返し	7 課	13 (5%)
4	経歴・経験	8 課	52 (19%)
5	運動の持続 (+長期)	8 課	19 (7%)
6	運動の持続 (-長期)	9 課	72 (26%)
合計			<b>276 (100%)</b>

表.27 許（2000）による『SFJ』の「ーテイル」の用法

許（2000）の分類方法で分析した結果では、教科書に説明されていない2つの用法を表している例文が出されている「繰り返し」と「経歴・経験」の用法である。

次に、各教科書の特徴を踏まえて、「運動の持続」と「結果の状態」の用法の傾向について述べる。

『みんな初級』は構造シラバスを採用しているため、文法項目を簡単な項目から難しい項目という順に提示している。一方、『SFJ』の場合は、構造シラバス、場面シラバス、機能シラバスなどが含まれた複合的なシラバスを採用しており、コミュニケーションの場面に応じて、必要な文法項目を提示している。教科書を分析した結果を見ると、採用したシラバスの背景が「ーテイル」の用法の導入に影響を与えているということが分かった。「ーテイル」の用法の導入の順番を見ると、『みんな初級』では、習得がされやすいと言われている「運動の持続」は「結果の状態」より先に導入されている。しかし、『SFJ』では、「運動の持続」より「結果の状態」の用法が必要になる場面が先に出ているため、「結果の状態」の用法が最初に導入されている。

更に、各教科書の例文の分布を見ると、『みんな初級』では、「ーテイル」が導入されてから例文の数が少なくなっていくという傾向にある。その一方、『SFJ』では、『みんな初級』と全く異なり、導入された後も例文がまだ登場し、例文の数が多くなっていく用法さえある。この例文の分布の違いも、おそらくシラバスの違いによるものだと考えられる。

「ーテイル」の例文の傾向は、「動作のやりもらい」にも見られる。『みんな初級』では、「動作のやりもらい」は第24課において導入されるが、第24課まで「動作のやりもらい」の例文は登場せ

ず、導入の後も、例文数は非常に少ない。一方で、『SFJ』の場合は、「動作のやりもらい」は第 22 課で導入されるが、その前の課で例文が既に出されている。

## 5.2 日本語教育への示唆

これまでは、「運動の持続」と「結果の状態」の用法を中心に、初級日本語教科書における「一テイル」の扱われ方について考察した。その結果、教科書で出された「一テイル」の用法の例文として教科書で解説されていない用法を表す例文も出されているということが分かった。また、文法項目の例文の登場の頻度や数などの傾向がシラバスによって異なっているということも明らかになった。この調査の結果により、例文の傾向は文法項目への理解に影響を与え、学習者の習得を妨げる可能性も考えられる。

国内の日本語教育の現場では、教科書から得たインプットが少なくても、学習者は日常生活で自然に日本語のインプットを受けているため、習得にそれほど影響を与えないと言えよう。一方、海外の現場の場合は、日本語のインプットが少ないため、学習者はそれを補う努力をしなければならない。また、教師側から見ると、学習者に少しでも既習の文法項目に対する理解を深めさせるために意識的にそれを使ったり、学習している項目の例文に登場させたりする努力も必要とされている。

「一テイル」は困難な文法項目の 1 つとされている。そのような項目を教える際、教師は項目の体系をシンプルにして教える傾向があると考えられる。学習の時間が限られているため、学習の進度が早めるために文法項目をシンプルにして教えてもいいが、少なくとも教師がその項目の意味、機能、応用などをきちんと把握した上で授業を行うことが望ましい。「一テイル」の場合であれば、「一テイル」にはどのような用法があるか、各用法の体系はどのようなものであるかを理解して導入を行うということである。

## 5.3 今後の課題

本研究では、『みんなの日本語初級 I・II』と『SFJ』を中心に、初級日本語教科書における「一テイル」の扱われ方について調査した。今回のデータ分析は許(2000)の用法分類を参考にして行われたが、筆者自身が各用法の定義を明確に解釈できているとは言えないため、データを分類する際、迷いが生じて分析結果にも影響を及ぼしたのではないかと考えられる。更に、「一テイル」の用法は動詞や、視線などと関わっているため、今後それらの要素にも注目してデータを分析することが望まれる。

用法分類のチェックに日本語母語話者も協力したが、データの1部だけチェックをしてもらい、残りのデータを筆者が分析した。今後の課題として、信頼性の高い分析結果を得るために、用法に関する明確な定義を知った上で、日本語母語話者にデータの1部だけではなく、データを全体的にチェックしてもらうことが望まれる。

更に、本研究では、学習のインプットだと思われる部分に関してデータを収集したが、研究の対象である初級教科書が実際にどのように使用されているのかという実態は把握していないため、学習者にとってインプットだと思われる部分も明確ではない。今後の課題として、各教科書の実態を十分に判断して調査をしていきたい。

最後に、筆者の学習経験を振り返ると、「一テイル」の用法は2つしか教わらなかったという記憶がある。当時、その教師は困難な「一テイル」をシンプルにして教えていたのか、それとも教師も「一テイル」の用法は2つしかないと意識して教えていたのか、2つの可能性が考えられる。それを明らかにするため、今後、筆者の母国であるインドネシアの日本語教育現場における「一テイル」に対する教師の意識について調べていきたい。

## 謝辞

本研究を行うにあたり、構想から執筆の段階まで大変有益な助言と指導をいただきました海野多枝先生に深く感謝いたします。そして、本研究を行うにあたり、常に的確なご指摘をいただきました早津恵美子先生に深く感謝いたします。

また、本研究を行うにあたり、様々な形で支えてくださいました同期の皆さん、海野ゼミの皆さん、チューターの玉井茉莉子さん、溝口さやかさん、はこさん、嶋原耕一さん、李奎台さんに心より感謝いたします。さらに、日本に留学させてくださいました奨学金団体のアスジャ・インターナショナルに感謝しております。

最後に、留学のために、4年間一緒に過ごすことができないにも関わらず、日本に行かせてくれた妻のラニ、娘のナジュマーには感謝したいと思います。

## 参考文献

### <文献>

- 庵功雄・高梨信乃・中西久美子・山田敏弘（2000）『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 スリーエーネットワーク
- 庵功雄（2001）「テイル形、テイタ形の意味の捉え方に関する一試案」『一橋大学留学生センター紀要4』 pp.75-94 一橋大学留学生センター
- 市川 保子 2009『初級日本語文法と教え方のポイント』 スリーエーネットワーク
- 薄井廣美（1995）「日本語教科書『Situational Functional Japanese』,Structure Drills に関する一考察」『横浜国立大学留学生センター紀要2』 横浜国立大学留学生センター
- 尾上圭介（1982）「現代語のテンスとアスペクト」『日本語学 Vol.1 』12月号 明治書院
- 小矢野哲夫（1982）「国語学におけるテンス・アスペクト観の変遷」『日本語学 Vol.1 』12月号 明治書院
- 川瀬先郎（1986）「日本語教科書『日本語初級』の作成とその問題点」『日本語教育』59号 pp.100-107
- 河原崎幹夫・吉川武時・吉岡英幸（1992）『日本語教材概説 Handbook of Japanese Language Teaching Materials 』北星堂書店
- 金田一春彦（2004）『金田一春彦著作集 第四巻』 玉川大学出版部
- 許夏珮（1997）「中・上級台湾日本語学習者によるテイルの習得に関する横断的研究」『日本語教育』95号 pp.37-48
- 許夏珮（2000）「自然発話における日本語学習者によるテイルの習得研究—OPI データの分析結果から—」『日本語教育』104号 pp.20-29
- 許夏珮（2005）『日本語学習者によるアスペクトの習得』 くろしお出版
- 工藤真由美（1982）「シテイル形式の意味のあり方」『日本語学 Vol.1 』12月号 明治書院
- 工藤真由美（1989）「現代日本語の従属文のテンスとアスペクト」『横浜国立大学人文紀要第二類 語学・文学36』 横浜国立大学
- 工藤浩・小林賢次・真田信治・鈴木泰・田中穂積・土岐哲・仁田義雄・畠弘巳・林史典・村木新次郎・山梨証明（1996）『日本語要説』 ひつじ書房
- 工藤真由美（1997）『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間表現—』 ひつじ書房
- 黒野敦子（1995）「初級日本語学習者におけるテイルの習得について」『日本語教育』87号 pp.153-164
- 小早川麻衣子（2005）「初級日本語教科書における応答詞の扱い」 東京外国語大学大学院修士論文

- 斎藤修一 (1986) 「教科書論」 『日本語教育』 59号 pp.1-12
- 塩川絵美子 (2007) 「日本語学習者によるアスペクト形式テイルの習得『文末と連体修飾節との関係を中心に』」 『日本語教育』 134号 pp.100-109
- 菅谷奈津美 (2003) 「日本語学習者のアスペクト習得に関する縦断研究—『動作の持続』と『結果の状態』のテイルを中心に—」 『日本語教育』 119号 pp.65-74
- 菅谷奈津美 (2004) 「文法テストによる日本語学習者のアスペクト習得研究—L1の役割の検討—」 『日本語教育』 123号 pp.56-65
- 菅谷奈津美 (2006) 「日本語学習者はテンス・アスペクト形式の使い分けができるか」 『日本語教育学会秋季大会予稿集』 pp.141-146 新潟産業大学
- 鈴木綾乃・海野多枝 (2006) 「学習者言語コーパスに基づいた教材開発の可能性—日本語コロケーション習得を目的とした教材開発の試み—」 『言語情報学研究報告 14』 東京外国語大学大学院
- 砂川有里子 (1986) 『日本語文法セルフマスターシリーズ2 する・した・している』 くろしお出版
- 田中寛 (2006) 『はじめての人のための日本語の教え方ハンドブック』 国際語学社
- 寺村秀夫 (1982) 「テンス・アスペクトのコト的側面とムード的側面」 『日本語学 Vol.1』 12月号 明治書院
- 寺村秀夫 (1984) 『日本語のシンタクスと意味、第2巻』 くろしお出版
- 中石ゆうこ (2003) 「有対自動詞と有対他動詞の用法とその指導について：初級日本語教科書の分析の結果から」 『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域 51』 pp.385-392 広島大学大学院教育学研究科
- 野田尚史 (1986) 「日本語教科書における文型の扱い」 『日本語教育』 59号 pp.48-61
- 野田尚史・迫田久美子 (2001) 『日本語学習者の文法習得』 大修館書店
- 橋本ゆかり (2006) 「日本語を第二言語とする英語母語幼児のテンス・アスペクトの習得プロセス—タ形・テイ形の使用について—」 『日本語教育』 131号 pp.13-22
- 山下秀雄 (1986) 「新教科書体系について」 『日本語教育』 59号 pp.108-114
- 吉川武時 (1871) 「現代日本語のアスペクトの研究」 金田一春彦 (編) 『日本語動詞のアスペクト』
- 吉川武時 (1982) 「日本語教育におけるテンス・アスペクトのあつかい」 『日本語学 Vol.1』 12月号 明治書院
- 松井一美 (2008) 「ロシア人日本語学習者のテイルの習得研究：「動作の継続」と「結果の状態」を中心に」 『創価大学別科紀要 19』 創価大学
- 水谷修 (1986) 「教科書に現れた言語行動」 『日本語教育』 59号 pp.62-75

- 林恵恵 (2004) 「日本語教科書における終助詞の扱われ方」 東京外国語大学大学院修士論文
- 林佩怡 (2010) 「テイルの意味について—報告性を中心に—」 『国際文化研究 16』 東北大学大学院国際文化研究科 (言語文化交流論)

### <教科書>

- 石沢弘子・豊田宗周監修 (2005) 『みんなの日本語初級 I』 スリーエーネットワーク
- 石沢弘子・豊田宗周監修 (2006) 『みんなの日本語初級 II』 スリーエーネットワーク
- 石沢弘子・豊田宗周監修 (2010) 『みんなの日本語初級 I/翻訳・文法解説英語版』 スリーエーネットワーク
- 石沢弘子・豊田宗周監修 (2002) 『みんなの日本語初級 II/翻訳・文法解説英語版』 スリーエーネットワーク
- 国際交流基金 (1981) 『日本語初歩』 凡人社
- 小山悟 (2007) 『ジェイ・ブリッジ for Beginners Vol.1・2』 凡人社
- 坂野永理・大野裕・坂根庸子・品川恭子 (1999) 『初級日本語げんき I・II』 ジャパンタイムズ
- スリーエーネットワーク (2007) 『みんなの日本語初級 I 教え方の手引き』 スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク (2010) 『みんなの日本語初級 II 教え方の手引き』 スリーエーネットワーク
- 社会法人国際日本語普及協会 (2008) 『(改訂第3版) コミュニケーションのための日本語第1巻 かな版 テキスト JAPANESE FOR BUSY PEOPLE I』 講談社インターナショナル
- 社会法人国際日本語普及協会 (2008) 『(改訂第3版) コミュニケーションのための日本語第2巻 かな版 テキスト JAPANESE FOR BUSY PEOPLE II』 講談社インターナショナル
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター (1992) 『日本語初級』 三省堂
- 筑波ランゲージグループ (1996) 『Situational Functional Japanese, Volume 1:Notes, Second Edition』 凡人社
- 筑波ランゲージグループ (1996) 『Situational Functional Japanese, Volume 2:Notes, Second Edition』 凡人社
- 筑波ランゲージグループ (1994) 『Situational Functional Japanese, Volume 3:Notes, Second Edition』 凡人社
- 筑波ランゲージグループ (2000) 『Situational Functional Japanese, 教師用指導書 (改訂版)』 凡人社
- 文化外国語専門学校 (2000) 『新文化初級日本語』 凡人社
- 吉田弥寿夫 (1973) 『Japanese For Today』 Gakken

資料1 『みんなの日本語初級』の文法項目

『みんなの日本語初級I』の文法項目

第1課	第2課
N1 は N2 です	これ/それ/あれ
N1 は N2 じゃありません	このN/そのN/あのN
S か	そうです/そうじゃありません
N も	S1 か、S2 か
N1 の N2 (所属)	N の N2 (所有)
～さん	そうですか

第3課	第4課
ここ/そこ/あそこ/こちら/そちら/あちら	今 ～時～分です
N1 は N2 (Place) です	V ます
どこ/どちら	V ます/V ません/V ました/V ませんでした
N1 の N2 (生産地)	N (Time) に V
The こ/そ/あ/ど System of demonstrative words	N1 から N2 まで
お国	N1 と N2
	S ね

第5課	第6課
N (Place) へ行きます/来ます/帰ります	N を V (Transitive)
どこ[へ]も行きません/行きませんでした	N をします
N (Vehicle) で行きます/来ます/帰ります	何をしますか
N (Personal/Animal) と V	なん And なに
いつ	N (Place) で V
S よ	V ませんか
	V ましょう
	お～

第7課	第8課
N (Tools/Means) で V	Adjectives
"Word/Sentence" は～語で何ですか	N はな-Adj[な]です
N (Person) にあげます	N はい-Adj (～い) です
N (Person) にもらいます	な-Adj な N
もう V ました	い-Adj (～い) N

	とても
	あまり
	N はどうですか
	N1 はどんな N2 ですか
	S1 が、S2
	どれ

<b>第9課</b>	<b>第10課</b>
N があります/わかります	N があります/います
N が好きです/嫌いです	N1 (Place) に N2 があります/います
上手です/下手です	N1 は N2 (Place) にあります/います
どんな N	N1 (Thing/Person/Place) の N2 (Position)
よく/だいたい/たくさん/少し/あまり/全然	N1 や N2
S1 から、S2	Word (s) ですか
どうして	チリソースはありませんか

<b>第11課</b>	<b>第12課</b>
数字 (Saying numbers)	Past tense of noun sentences and な—adjective sentences
Quantifier (Period) に一回 V	Past tense of い—Adjective Sentences
Quantifier だけ/N だけ	N1 は N2 より Adjective です
	N1 と N2 と どちらが Adjective ですか
	... N1/N2 のほうが Adjective です
	N1 [の中] で何/どこ/だれ/いつがいちばん Adjective ですか
	... N2 がいちばん Adjective です

<b>第13課</b>	<b>第14課</b>
N が欲しいです	Verb conjugation
V ます form たいです	Verb groups
N (Place) へ V ます form に	Verb て—form
N (Place) へ N に行きます/来ます/帰ります	V て form ください
N に V/N を V	V て form います
どこか/何か	V ます form ましょうか
ご注文	S1 が、S2

	N が V
--	-------

第 15 課	第 16 課
V て form もいいですか	V て form、[V て form]、～
V て form はいけません	い Adj (～い) >～くて、～
V て form います (知る、結婚する、住む)	N で、～
V て form います (職業)	な Adj [な] で、～
知りません	V1 て-form から、V2
	N1 は N2 が Adjective
	どうやって
	どの N

第 17 課	第 18 課
Verb ない-form	Verb Dictionary form
V ない form ないてください	N ができます
V ない form なければなりません	V Dictionary form ことができます
V ない form なくてもいいです	わたしの趣味は N です
N (Object) は	わたしの趣味は V Dictionary form ことです
N (Time) までに V	V1 Dictionary form まえに、V2
	N のまえに、V2
	Quantifier (Period) まえに、V2
	なかなか
	ぜひ

第 19 課	第 20 課
Verb た-form	Polite style And plain style
V た form ことがあります	Proper use of The polite style or The plain style
V た form り、V た form りします	Conversation in The plain style
い-Adj [～い]>くなります	
な-Adj [な]>になります	
N になります	
そうですね	

第 21 課	第 22 課
Plain form と思います	Noun modification
"S" と言います	Noun modification by sentences

Plain form と言います	N が
V Plain form でしょう？	V Dictionary form 時間/約束/用事
い-Adjective Plain form でしょう？	
な-Adjective Plain form でしょう？	第 24 課
N ~だ でしょう？	くれます
N1 (Place) で N2 があります	V て form あげます
N (Occasion) で	V て form もらいます
N でも V	V て form くれます
V ない form ないと	N (Person) が V
	Interrogative が V

第 23 課	第 25 課
V Dictionary form とき、～	Plain past form ら、～
V ない form とき、～	V た form ら、～
い-Adj (～い) とき、～	V て form も、～
な-Adj なとき、～	い-Adj (～い) >～くても、～
N のとき、～	な-Adj (な) >～でも、～
V Dictionary form とき、～	N でも、～
V た form とき、～	もし And いくら
V Dictionary form と、～	N が
N が Adjective/V	
N (Place) を V (Verb of movement)	

『みんなの日本語初級Ⅱ』の文法項目

第 26 課	第 27 課
V plain form んです	Potential verbs
い-Adj plain form んです	Potential verb sentences
な-Adj plain form んです	見えます and 聞こえます
N～だ>～なんです	できます
V て form いただけませんか	は
Interrogative V た form らいいですか	もう
N (Object) は好きです/嫌いです	しか
N (Object) は上手です/下手です	
N (Object) はあります	

第 28 課	第 29 課
V1 ます-form ながら V2	V て form います
V て form います	V て form しまいました/しまいます
Plain form し、～	V て form しまいました
それに	ありました
それで	どこかで
よくこの喫茶店に来るんですか	どこかに

第 30 課	第 31 課
V て form あります	Volitional form
V て form おきます	How to use volitional form
まだ V (AffirmatiVe)	V Dictionary form つもりです
それは～	V ない form ないつもりです
	V Dictionary form 予定です
	N の予定です
	まだ V て form いません
	こ～/そ～

第 32 課	第 33 課
V た form ほうがいいです	Imperative And prohibitive forms
V ない form ほうがいいです	Use of The imperative And prohibitive forms
V plain form でしょう	～と読みます And ～と書いてあります
い-Adj plain form でしょう	X は Y という意味です
な-Adj plain form でしょう	"S" と言っていました
N ～だ でしょう	Plain form と言っていました
V plain form かもしれません	"S" と伝えていただけませんか
い-Adj plain form かもしれません	Plain form と伝えていただけませんか
な-Adj plain form かもしれません	
N ～だ かもしれません	
きっと/たぶん/もしかしたら	
何か心配なこと	
Quintifier で	

第 34 課	第 35 課
V1 Dictionary form とおりに、V2	How to make the conditional form
V1 た-form とおりに、V2	Conditional form、～

N のとおりに、V2	N なら、～
V1 たーform あとで、V2	Interrogative V conditional form いいですか
N のあとで、V2	V conditional form V conditional form ほど～
V1 てーform V2	いーAdj conditional form いーAdj (～い) ほど～
V1 ないーform ないで V2	なーAdj conditional form なーAdj なほど～
V1 ないーform ないで、 V2	

<b>第 36 課</b>	<b>第 37 課</b>
V1 Dictionary form ように、V2	Passive Verbs
V1 ないーform ないように、V2	N1 (Person) は N2 (Person) に V passive
V Dictionary form ようになります	N1 (Person) は N2 (Person) に N3 を V passive
V ない form なくなります	N (thing) が/は V passive
V Dictionary form ようにします	N1 は N2 (Person) によって V passive
とか	N から/N でつくります

<b>第 38 課</b>	<b>第 39 課</b>
V plain form の	V て form、～
V Dictionary form のは Adjective です	V ない form なくて、～
V Dictionary form のが Adjective です	い Adj (～い) >～くて、～
V Dictionary form のを忘れました	な Adj (な) >で、～
V plain form のを知っていますか	N で
V plain form のは N です	V plain form ので、～
いーAdj plain form のは N です	い Adj plain form ので、～
なーAdj plain form のは N です	な Adj plain form ので、～
N だ>～な のは N です	N ～だ>～なので、～
～ときも/～ときや/～ときの/～ときに	途中で

<b>第 40 課</b>	<b>第 41 課</b>
Interrogative V plain form が、～	Expressions for giving And receiving
Interrogative いーAdj plain form が、～	GiVing And receiving of actions
Interrogative なーAdj plain form が、～	V て form くださいませんか
Interrogative N ～だが、～	Nに V
V plain form かどうか、～	
いーAdj plain form かどうか、～	
なーAdj plain form かどうか、～	
N ～だ かどうか、～	

V て form みます	
い-Adj (～い) >～さ	
ハンスは学校でどうでしょうか	

<b>第 42 課</b>	<b>第 43 課</b>
V Dictionary form ために、～	V ます form そうです
N のために、～	い-Adj (～い) そうです
V Dictionary form のに、～	な-Adj (な) そうです
N に、～	V て form 来ます
Quantifier は	
Quantifier も	

<b>第 44 課</b>	<b>第 45 課</b>
V ます form すぎます	V Dictionary form 場合は、～
い-Adj (～い) すぎます	V た form 場合は、～
な-Adj (な) すぎます	V ない form ない場合は、～
V ます form やすいです	い-Adj (～い) 場合は、～
V ます form にくいです	な-Adj な場合は、～
い-Adj (～い) >～くします	N の場合は、～
な-Adj (な) >にします	V plain form のに、～
N にします	い-Adj plain form のに、～
い-Adj (～い) >～く V	な-Adj plain form のに、～
な-Adj (な) >に V	N ～だ>～なのに、～

<b>第 46 課</b>	<b>第 47 課</b>
V Dictionary form ところです	Plain form そうです
V て form いるところです	V plain form ようです
V た form ところです	い-Adj plain form ようです
V た form ばかりです	な-Adj plain form ～だ>～なようです
V Dictionary form はずです	N plain form ～だ>～のようです
V ない form ないはずです	声/音/におい/味がします
い-Adj (～い) はずです	
な-Adj なはずです	
N のはずです	

第 48 課	第 49 課
Causative Verbs	敬語 (Honorific expressions)
Causative Verbs Sentences	Types of 敬語
Usage of causative	尊敬語 (respectful expressions)
V causative て-form いただけませんか	敬語 And style of Sentences
	Uniform level of 敬語 in a sentences
	～まして

第 50 課	
謙讓語 (humble expressions)	
丁寧語 (polite expressions)	

資料2 『Situational Functional Japanese Volume 1・2・3』の各課のタイトル

第1課 紹介する	第13課 喫茶店で
第2課 郵便局	第14課 忘れ物の問い合わせ
第3課 レストランで	第15課 本を借りる
第4課 場所を聞く	第16課 電話(2) タクシーを呼ぶ
第5課 わからない言葉を聞く	第17課 音楽会への誘い
第6課 事務室で	第18課 電話(3) 指導教官のお宅
第7課 電話(1) 病院	第19課 訪問
第8課 許可を求める	第20課 コピー機の使い方
第9課 病院で	第21課 苦情
第10課 デパートで	第22課 お見舞い
第11課 本屋で	第23課 頼みを断る
第12課 道を聞く	第24課 旅行計画

表. 「SFJ」の各課のタイトル

資料3 『Situational Functional Japanese Volume 1・2・3』 の文法項目

Volume 1 の文法項目

第1課	第2課
～です	V ます/N ません/N ました/N ませんでした
～じゃありません	N を V (Transitive)
～ではありません	N (Place) へ行きます/来ます/帰ります
～ですか	助詞 が
N1 は N2 です	助詞 を
N1 は N2 じゃありません	助詞 に
N も	助詞 へ
N1 の N2 (所属)	助詞 は
N1 の N2 (所有)	助詞 も
N1 と N2	助詞 で 場所
	助詞 で 理由、手段
	助詞 と
	何
	いくら
	～枚
	～円
	数字

第3課	第4課
助詞 に 到達点、方向	この/その/あの/どの
～です	N があります/います
～にします	N1 (Place) に N2 があります/います
～になります	N1 (Place) には N2 があります/います
いつ	N1 は N2 (Place) にあります/います
V ましょう	から
V ませんか	なら
ひとつ、ふたつ	や
ひとり、ふたり	とか
助詞 には、とは、では	

第5課	第6課
Verb dictionary form	Adjectives

Verb て-form	程度副詞
V て form ください	どう
～んです	Verb て-form 連続
どうして	Verb て-form 手段、方法
助詞 で 場所	Verb て-form 理由
助詞 で 手段	～でいい
助詞 で 程度	～でもいい
昨日、今日、あした、何曜日	～ではいけません
	助詞 に 到達点
	助詞 で 動作の場所

<b>第7課</b>	<b>第8課</b>
V ます form たいです	Verb ない-form
～んです 理由	Verb なかった-form
～んです 確認	V ない form ないてください
～んです 驚き	はい/いいえ
逆説	V て form います 結果の状態
N (Time) に V	V ていない
～から、～まで	～てもいい
ごろ	～てはいけません
～時～分、～月～日	～てはだめ
	～か～
	N のとき、～
	い-Adj (～い) とき、～
	な-Adj なとき、～

### Volume 2 の文法項目

<b>第9課</b>	<b>第10課</b>
い Adj (～い) >～くて、～	な-Adj な N
な Adj [な] で、～	い-Adj (～い) N
N で、～	どんな N
"S" と言います	助詞 の
Plain form と言います	N1 のほうが N2 より Adjective です
～ので～	N2 より N1 のほうが Adjective です
い-Adj (～い) >～く V	N1 と N2 と どちらが Adjective ですか

な-Adj (な) >に V	N1 の中で N2 が一番
敬語	N1 は N2 が Adjective
だけ	~というのは
	~というのは~ということだ
	Adjective さ
	敬語 お V ます form になる/なります
	敬語 お V ます form ください

<b>第11課</b>	<b>第12課</b>
V たら	と 条件表現
Plain form と思う	V た form ほうがいいです
自・他動詞	V ない form ほうがいいです
~という~	~てから
助詞 で	N のあとで
~がかかる	V た form あとで
助詞 に	N のまえに
	V plain form まえに
	助詞 を
	~見える、~聞こえる
	ところ
	~は~
	~め

<b>第13課</b>	<b>第14課</b>
N はな-Adj[な]です	Potential verbs
あげる/さしあげる	V て form あげます/さしあげる
もらう/いただく	V て form もらいます/いただく
くれる/くださる	V て form くれます/くださる
連体修飾	N (Place) に V-masu form に行きます/来ます
V て form います 動作の持続	まで/までに
~ばかりだ	
数字~も	

<b>第15課</b>	<b>第16課</b>
~てみる	V おう-form と思います
~ておく	~たり、~たりする

～である	～し
～ていく	名詞の連体修飾
～てくる	
命令形	
何か/誰か/どこか	
何も/誰も/どこも	
いつも/よく/ときどき/たまに/あまり/めったに	
～中	

### Volume 3 の文法項目

<b>第 17 課</b>	<b>第 18 課</b>
～ほしい	敬語・謙譲語
V て form ほしい	～か
～そうだ	～かかどうか
～そうに	V plain form ことができる
受身形	～しか～ない
何でも/誰でも/どこでも/いつでも	はじめ/はじめて

<b>第 19 課</b>	<b>第 20 課</b>
～だろう	V た form ことがある
～だろうと思う	～とき
～そうだ	条件表現 ～ば
～つもりだ	～かもしれない
敬語・受身形	～すぎる
～ながら	～方
こんな/そんな/あんな/どんな	
～でも	

<b>第 21 課</b>	<b>第 22 課</b>
V て form 理由	使役形
こ/そ/あ/ど あ	使役形でーform もらう/いただく
～ように	V て form しまう
～ようにする	～らしい
～ようになる	～んじゃないかと思う
～ようにしてください	あと～

第 23 課	第 24 課
～なければならない	～ (の) なら
～なくてはいけない	～ても
～なくてもいい	～のに
～ことにする	～はずだ
～ことになる	～わけだ
V plain form ところだ	実は/やっぱり/せっかく
～ため	

資料4 『みんなの日本語初級』のデータ

みんなの日本語初級 I

課	ページ	文	動詞	用法	連体修飾
14	114	ミラーさんは今電話をかけています。	電話をかける	UJ-	—
14	114	今、会議室で松本さんと話しています。	話す	UJ-	—
15	122	サントスさんはパソコンを持っています。	待つ	SJ+	—
15	122	すみません、ちょっと...今使っています。	使う	UJ-	—
15	122	市役所の電話番号を知っていますか。	知る	SJ+	—
15	122	マリアさんはどこに住んでいますか。	住む	UJ+	—
15	122	大阪に住んでいます。	住む	UJ+	—
15	122	いいえ、結婚しています。	結婚する	KJ	—
15	122	教師です。富士大学で教えています。	教える	UJ+	—
15	123	ミラー：両親はニューヨークの近くに住んでいます。	住む	UJ+	—
15	123	母は高校で英語を教えています。	教える	UJ+	—
19	155	ええ、実はきのうからダイエットしています。	ダイエットする	UJ+	—
20	165	ありがとう、待ってるよ。	待つ	UJ-	—
21	172	ミラーさんはこのニュースを知っていますか。	知る	SJ+	—
21	172	ミラーさんは出張していましたから。	出張する	UJ-	—
22	180	あの着物を着ている人はだれですか。	着る	KJ	◎

みんなの日本語初級 I / 翻訳・文法解説 英語版

課	ページ	文	動詞	用法	連体修飾
14	95	ミラーさんは今電話をかけています。	電話をかける	UJ-	—
14	95	今雨が降っていますか。	降る	UJ-	—
14	95	... はい、降っています。	降る	UJ-	—
14	95	... いいえ、降っていません	降る	SJ+	—
14	95	雨が降っています。	降る	UJ-	—
15	100	わたしは結婚しています。	結婚する	KJ	—
15	100	わたしは田中さんを知っています。	知る	SJ+	—
15	100	わたしは大阪に住んでいます。	住む	UJ+	—
15	100	わたしはカメラを持っています。	持つ	SJ+	—

15	101	IMC はコンピューターソフトを作っています。	作る	UJ+	—
15	101	スーパーでフィルムを売っています。	売る	UJ+	—
15	101	ミラーさんは IMC で働いています。	働く	UJ+	—
15	101	妹は大学で勉強しています。	勉強する	UJ+	—
15	101	市役所の電話番号を知っていますか。	知る	SJ+	—
15	101	. . . はい、知っています。	知る	SJ+	—
20	131	辞書、持って「い」る。	持つ	SJ+	—
20	131	. . . うん、持って「い」る。	持つ	SJ+	—
20	131	. . . ううん、持って「い」ない。	持つ	SJ+	—
21	136	ミラーさんはこのニュースを知っていますか。	知る	SJ+	—
22	142	ワンさんは病院で働いています。	働く	UJ+	—
22	142	ワンさんが働いている病院。	働く	UJ+	◎
22	143	これはミラーさんが住んでいたうちです。	住む	UJ+	◎
22	143	ミラーさんが住んでいたうちは古いです。	住む	UJ+	◎
22	143	ミラーさんが住んでいたうちを買いました。	住む	UJ+	◎
22	143	わたしはミラーさんが住んでいたうちが好きです。	住む	UJ+	◎
22	143	ミラーさんが住んでいたうちに猫がいました。	住む	UJ+	◎
22	143	ミラーさんが住んでいたうちへ行ったことがあります。	住む	UJ+	◎
22	143	「あなたは」彼が生まれた所を知っていますか。	知る	SJ+	—

みんなの日本語初級Ⅱ

課	ページ	文	動詞	用法	連体修飾
26	2	大阪に住んでいたんですか。	住む	UJ+	—
26	2	ええ、15 歳まで大阪に住んでいました。	住む	UJ+	—
28	18	毎朝ジョギングをしています。	ジョギングする	KK	—
28	18	彼は働きながら大学で勉強しています。	勉強する	UJ+	—
28	18	休みの日はいつも何をしていますか。	する	KK	—
28	18	そうですね。たいてい絵をかいています。	書く	KK	—

29	26	窓が閉まっています。	閉まる	KJ	—
29	26	この自動販売機は壊れています。	壊れる	KJ	—
29	26	会議室のかぎが掛かっていますね。	掛かる	KJ	—
29	26	それは故障していますから、あちらのを使ってください。	故障する	KJ	—
29	26	いいえ。道が込んでいましたから、遅れてしまいました。	込む	KJ	—
29	27	イー：青いかばんです。このぐらいの．．．外側に大きいポケットが付いています。	付く	KJ	—
29	27	イー：よく覚えていません。でも、網棚の上に置きました。	覚える	SJ+	—
29	27	駅員：中に何が入っていますか。	入る	KJ	—
29	27	イー：えーと、確かに本と傘が入っています。	入る	KJ	—
30	34	．．．いいえ、そのままにしておいてください。まだ使っていますから。	使う	UJ-	—
31	44	将来自分の会社を作ろうと思っています。	思う	UJ-	—
31	44	．．．家族と温泉に行こうと思っています。	思う	UJ-	—
31	44	．．．いいえ、まだ書いていません。	書く	KR	—
31	44	金曜日までにまとめようと思っています。	思う	UJ-	—
31	45	インターネットを始めようと思っています。	思う	UJ-	—
31	45	小川：でも、普通の日は暇ですから、インターネットを始めようと思っています。	思う	UJ-	—
32	52	．．．大丈夫でしょう。すいぶんまえから準備していますから。	準備する	UJ-	—
33	60	ミラーさんは来週大阪へ出張すると言っていました。	言う	KR	—
33	60	．．．今出かけています。30分ぐらいで戻ると言っていました。	出かける	KJ	—
33	60	．．．今出かけています。30分ぐらいで戻ると言っていました。	言う	KR	—
34	68	少し細くなりましたね。ダイエットしたんですか．．． いえ。バスに乗らないで、駅まで歩いているんです。	歩く	KK	—
35	76	2, 3日旅行をしようと思っているんですが、	思う	UJ-	—

		どこかいい所はありませんか。			
35	77	タワポン：それから、スキーの道具や服は何も持っていないんですが. . .	持つ	SJ+	—
36	86	速く泳げるように、毎日練習しています	練習する	KK	—
36	86	毎日日記を書くようにしています。	する	KK	—
36	86	. . . ええ。知らないことばを聞いたらすぐ調べられるように、持っているんです。	待つ	SJ+	—
36	86	ええ。できるだけ食べないようにしています。	する	KK	—
36	87	*アナウンサー：お元気ですね。何か特別なことをしていらっしゃいますか。	する	KK	—
36	87	小川よね：毎日運動して、なんでも食べるようにしています。	する	KK	—
36	87	小川よね：何でも食べますが、特に魚が好きです。毎日違う料理を作るようにしています。	する	KK	—
36	87	*アナウンサー：頭と体をよく使っているんですね。	使う	KK	—
37	94	ドミニカでは何語が使われていますか。	使われる	UJ+	—
37	94	スペイン語が使われています。	使われる	UJ+	—
38	102	日記を続けていますか。	続ける	UJ+	—
38	102	木村さんに赤ちゃんが生まれたのを知っていますか。	知る	SJ+	—
38	102	初めて好きになった人のことを覚えていますか。	覚える	UJ-	—
39	110	最近布団で寝ているんですか、便利ですね。	寝る	KK	—
39	111	中村課長：それは大変でしたね。連絡がないので、みんな心配していたんですよ。	心配する	UJ-	—
39	111	ミラー：駅から電話したかったんですが、人がたくさん並んでいて. . . どうもすみませんでした。	並ぶ	KJ	—
40	118	. . . 酔っていたので、どこへ行ったか全然覚えていないんです。	酔う	KR	—
40	118	. . . 酔っていたので、どこへ行ったか全然覚えていないんです。	覚える	SJ+	—
40	118	山の高さはどうやって測るか、知っています	知る	SJ+	—

		か。			
40	118	わたしたちが始めて会ったのはいつか、覚えていますか。	覚える	UJ-	—
40	118	．．． 飛行機に乗る人がナイフなど危険な物を持っていないかどうか、調べるんです。	持つ	SJ+	—
40	119	クララ：そうですか。安心しました。勉強はどうですか。漢字が大変だと言っていますが、．．	言う	KR	—
40	119	伊藤先生：毎日漢字のテストをしています、ハンス君はいい成績ですよ。	テストをする	KK	—
42	136	将来自分の店を持つために、貯金しています。	貯金する	KK	—
42	136	この夏盆踊りに参加するために、毎日練習しています。	練習する	KK	—
42	136	健康のために、何をしていますか。	する	KK	—
42	136	．．． いいえ、でも、来週から毎朝走ろうと思っています。	思う	UJ-	—
42	137	林：いいえ。いつかイギリスへ留学しようと思っています。	思う	UJ-	—
44	152	泣いているんですか。	泣く	UJ-	—
46	170	．．． いいえ、今調べているところです。	調べる	UJ-	◎
46	171	係員：お待たせしました。今そちらに向かっているところです。	向かう	UJ-	◎
47	178	クララさんは子どものとき、フランスに住んでいたそうです。	住む	UJ+	—
47	178	．．． ええ。パーティーでもしているようですね。	する	UJ-	—
47	178	人が大勢集まっていますね。	集まる	KJ	—
47	178	．．． 事故のようですね。パトカーと救急車が来ていますよ。	来る	KJ	—
48	186	．．． ええ。体にいいし、友達もできるし、できるだけ外で遊ばせています。	遊ばせる	KK	—
48	186	．．． すみません。今お風呂に入っています。	入る	KJ	—
50	203	*ミラー：はい。ビデオに撮って、アメリカの両親にも見せたいと思っています。	思う	UJ-	—

みんなの日本語初級Ⅱ／翻訳・文法解説 英語版

課	ページ	文	動詞	用法	連体修飾
26	8	大阪に住んでいたんですか。	住む	UJ+	—
26	8	．．． ええ、15歳まで大阪に住んでいました。	住む	UJ+	—
28	20	働きながら、日本語を勉強しています。	勉強する	UJ+	—
28	20	毎朝ジョギングをしています。	ジョギングを する	KK	—
28	20	子どものとき、毎晩8時に寝ていました。	寝る	KR	—
29	26	窓が割れています。	割れる	KJ	—
29	26	電気がついて 있습니다。	付く	KJ	—
29	26	けさは道が込んでいました。	込む	KJ	—
29	26	このいすは壊れています。	壊れる	KJ	—
30	32	窓が閉まっています。	閉まる	KJ	—
30	33	まだ雨が降っています。	降る	UJ-	—
30	33	．．． まだ使っていますから、そのままに しておいてください。	使う	UJ-	—
31	38	週末は海に行こうと思っています。	思う	UJ-	—
31	38	彼は外国で働こうと思っています。	思う	UJ-	—
31	39	銀行は、まだ開いていません。	開く	KR	—
31	39	．．． いいえ、まだ書いていません。	書く	KR	—
33	51	田中さんは「あした休みます」と言ってい ました。	言う	KR	—
33	51	田中さんはあした休むと言っていました。	言う	KR	—
36	68	早く泳げるように、毎日練習しています。	練習する	KK	—
36	69	毎日運動して、何でも食べるようにしてい ます。	する	KK	—
36	69	歯に悪いですから、甘いものを食べないよ うにしています。	する	KK	—
36	69	どんなスポーツをしていますか。	する	KK	—
37	75	日本の車は世界中へ輸出されています。	輸出する	UJ+	—
38	80	鈴木さんが来月結婚するのを知っています か。	知る	SJ+	—
38	81	木村さんに赤ちゃんが生まれたのを知ってい ますか。	知る	SJ+	—

38	81	ミラーさんの住所を知っていますか。	知る	SJ+	—
38	81	生まれたときから、ずっと大阪に住んでいます。	住む	UJ+	—
40	92	結婚のお祝いは何がいいか、話しています。	話す	UJ-	—
40	92	わたしたちが始めて会ったのはいつか、覚えていますか。	覚える	UJ-	—
40	93	山の高さはどうやって測るか、知っていますか。	知る	SJ+	—
42	104	自分の店を持つために、貯金しています。	貯金する	KK	—
42	104	健康のために、毎朝走っています。	走る	KK	—
42	104	自分の店を持つために、貯金しています。	貯金する	KK	—
42	104	自分の店が持てるように、貯金しています。	貯金する	KK	—
42	104	弁護士になるために、法律を勉強しています。	勉強する	UJ+	—
42	104	日本語が上手になるように、毎日勉強しています。	勉強する	KK	—
46	128	．．． いいえ、今調べているところです。	調べる	UJ-	◎
47	134	クララさんは子どものとき、フランスに住んでいたそうです。	住む	UJ+	—
47	134	ミラーさんはあした京都へ行くと言っていました。	言う	KR	—
47	135	人が大勢集まっていますね。	集まる	KJ	—
47	135	．．． 事故のようですね。パトカーと救急車が来ていますよ。	来る	KJ	—

資料5 『Situational Functional Japanese』のデータ

Situational Functional Japanese Volume 1

課	ページ	文	動詞	用法	連体修飾
2	45	Costumer : あのう、おつり、ちがってるんですけど。	違う	KJ	-
3	73	Costumer : あのう、これ、ちがってるんですけど。	違う	KJ	-
3	74	何が入っているんですか。	入る	KJ	-
3	74	Costumer : あの、これ、ぶた肉が入っていますか。	入る	KJ	-
3	74	Waitress : ぶた肉ですか。いえ、入っていませんよ。	入る	SJ+	-
6	134	シャルマ : ええと、はんこは持ってないんですけど。	持つ	SJ+	-
6	137	はんこは持ってないんですけど。	持つ	SJ+	-
6	149	シャルマ : ええと、はんこは持ってないんですけど。	持つ	SJ+	-
6	150	シャルマ : ええと、はんこは持ってないんですけど。	持つ	SJ+	-
7	152	山下 : きょうの午後、やっていますか。	やる	KK	-
7	153	受付 : はい、やっています。	やる	KK	-
7	153	ほかの日は朝9時から夕方5時半までやっていますが、火曜日と土曜日は昼の12時までです。	やる	KK	-
7	154	きょうの午後、やっていますか。	やる	KK	-
7	169	何時から何時までやっていますか。	やる	KK	-
7	169	山下 : きょうの午後、やっていますか。	やる	KK	-
8	175	鈴木 : あ、いまソーターがこわれているから、ちょっと使わないで。	こわれる	KJ	-
8	175	このコピー機は、ソーターがこわれています。	こわれる	KJ	-
8	183	お金が落ちています。	落ちる	KJ	-
8	183	鈴木さんは結婚しています。	結婚する	KJ	-
8	183	お金が落ちています。	落ちる	KJ	-

8	183	結婚しています。	結婚する	KJ	-
8	184	A：奥さんの写真を持っていますか。	持つ	SJ+	-
8	184	B：いいえ、持っていません。	持つ	SJ+	-
8	184	A：どこに住んでいますか。	住む	UJ+	-
8	184	B：大学の宿舎に住んでいます。	住む	UJ+	-
8	184	A：シャルマさんも宿舎に住んでいますか。	住む	UJ+	-
8	184	B：いいえ、宿舎には住んでいません。	住む	SJ+	-
8	184	A：あの人を知っていますか。	知る	SJ+	-
8	184	B：はい、知っています。	知る	SJ+	-
8	185	B：いいえ、まだ食べていません。	食べる	KR	-
8	185	B：いいえ、まだ読んでいません。	読む	KR	-
8	185	まだ、手紙を出していません。	出す	KR	-
8	185	準備ができていません。	できる	SJ+	-
8	185	B：いいえ、まだ書いていません。	書く	KR	-
8	187	子供のとき名古屋に住んでいました。	住む	KR	-
8	194	B：あ、いまはちょっと使わないで。こわれてるから。	こわれる	KJ	-
8	194	B：ううん、でも、これ、こわれてるから...	こわれる	KJ	-
8	195	学生：あまり準備ができていないんです。	できる	SJ+	-
8	195	学生：準備ができていないので、できれば発表を来週にしていただけませんか。	できる	SJ+	-
まとめ1	206	お金が落ちている。	落ちる	KJ	-
まとめ1	206	まだひるごはんを食べていません。	食べる	KR	-
まとめ1	209	きょうの午後（は）、やっていますか。	やる	KK	-
まとめ1	210	ええと、はんこは持ってないんですけど。	持つ	SJ+	-
まとめ1	212	シャルマ：ええと、はんこは持ってないんですけど。	持つ	SJ+	-

### Situational Functional Japanese Volume 2

課	ページ	文	動詞	用法	連体修飾
9	10	山田さんは「3時に行きます」と言っています。	言う	KR	-

		す。			
9	10	山田さんは3時に来ると言っています。	言う	KR	—
9	12	B：山田さんは3時に来ると言っています。	言う	KR	—
9	19	林さんは横浜に住んでいらっしゃいます。	住む	UJ+	—
9	20	山田さんだけ（が）欠席しています。	欠席	UJ-	—
10	51	いえ。ちょっと見ているだけですから。	見る	UJ-	—
10	52	本日は、6階、催し物場におきまして、九州うまいもの展を行っております。	行う	UJ-	—
10	58	母に誕生日プレゼントをさがしてるんですけど、どんなのがいいでしょうか。50歳ぐらいなんですけど。	探す	UJ-	—
10	58	友達に結婚のプレゼントをさがしてるんですけど、どんなのがいいでしょうか。30歳ぐらいの男性なんですけど。	探す	UJ-	—
11	68	デパートで買い物していたら、田中さんに会いました。	買い物する	UJ-	—
11	69	新しい車を買いたいと思っています。	思う	UJ-	—
11	70	北海道に行きたいと思っています。	思う	UJ-	—
11	72	あそこに車が止まっています。	止まる	KJ	—
12	99	いろいろなところを見たいと思っています。	思う	UJ-	—
まとめ2	115	お金が落ちています。	落ちる	KJ	—
まとめ2	115	ドアが開いています。	開く	KJ	—
まとめ2	115	まだ新聞を読んでいません。	読む	KR	—
まとめ2	115	まだごはんを食べていません。	食べる	KR	—
まとめ2	118	田中さんはあした東京に行くと言っています。	言う	KR	—
まとめ2	121	大学ではどんな勉強をしていますか。	勉強する	UJ+	—
まとめ2	126	シャルマ：ええと、はんこは持ってないんですけど。	持つ	SJ+	—
13	130	鈴木：先生たちと昼飯くってたもんだから	食う	UJ-	—

13	130	鈴木：こちらこそ。鈴木です。おうわさは山下くんからいつも聞いています。	聞く	KK	—
13	130	鈴木：ああ、そうそう。ブラウンさん、リサイクルの安い店、さがしているんですって。	探す	UJ-	—
13	131	鈴木：実は2台もあって、困ってたんです。	困る	SJ+	—
13	131	鈴木さんは、先生と食事をしていて、20分も遅れてきた。	食事する	UJ-	—
13	131	ところが、鈴木さんはテレビを2台持っているから、古いのをリサさんにあげると言った。	持つ	SJ+	—
13	131	鈴木さんはいつもお金がないと言っているのだが、リサさんにはとても親切だった。	言う	KK	—
13	132	昼飯くってたもんだから。	食う	UJ-	—
13	142	あそこで本を買っている人を知っていますか。	買う	UJ-	◎
13	142	あそこで本を買っている人を知っていますか。	知る	SJ+	—
13	142	「電気がついている」部屋はアニルさんの部屋です。	付く	KJ	◎
13	142	「まだ習っていない」漢字がたくさんあります。	習う	KR	◎
13	143	アニルさんはいま手紙を書いています。	書く	UJ-	—
13	143	きのう一日中雨が降っていました。	降る	UJ-	—
13	143	子どもの時、インドに住んでいました。	住む	KR	—
13	143	きのうの午後5時から7時まで黒い車が止まっていたいました。	止まる	KJ	—
13	143	A：何をして(い)るんですか。	する	UJ-	—
13	143	B：国の友だちに手紙を書いて(い)ます。	書く	UJ-	—
13	143	田中さんがそう言って(い)ました。	言う	KR	—
13	147	A：どのぐらい日本語を勉強しているんですか。	勉強する	UJ+	—
13	147	B：まだ、3か月しか勉強していないんです。	勉強する	KR	—
13	148	遅くなっちゃってごめん。道がこんでたもんだから。	込む	SJ+	—
13	150	A：リサイクルの安い店さがしているんだっ	探す	UJ-	—

		て。			
13	150	リサさんはリサイクルの安い店をさがしているんだって。	探す	UJ-	—
13	154	日本人：どのぐらい、日本語を勉強しているんですか。	勉強する	UJ+	—
14	156	職員 A：駅前の営業所であつかつてるんですよ。	扱う	SJ+	—
14	157	田中：茶色の紙袋です。中に本が入ってるんですけど。	入る	KJ	—
14	157	田中：あ、そうですか。本、入ってますか。	入る	KJ	—
14	157	田中さんはバスの中に本が入っている茶色の紙袋を忘れました。	入る	KJ	◎
14	157	すると、職員は、忘れ物は駅前の営業所であつかっていると答えました。	扱う	SJ+	—
14	174	A：茶色の紙袋です。中に本が入っているんですけど。	入る	KJ	—
14	176	A：中に何が入っていますか。	入る	KJ	—
14	176	B：ええと、銀色の時計が入っています。	入る	KJ	—
14	176	B：むらさきの紙袋で、中に辞書が入っています。	入る	KJ	—
15	178	田中：どうも、ごぶさたしてます。	ご無沙汰する	SJ+	—
15	178	鈴木：どう。論文、進んでる。	進む	UJ+	—
15	178	田中：あ、東京なんです。どこかの会社にインタビューに行くって言ってましたけど。	言う	KR	—
15	178	田中：ええと、エキスパート・システムについてさがしているんですけど、何かありますか。	探す	UJ-	—
15	179	鈴木：だれか借りてってるんじゃないかな。ちょっと待ってて。	借りていく	KJ	—
15	179	鈴木：だれか借りてってるんじゃないかな。ちょっと待ってて。	待つ	UJ-	—
15	179	ときどき、鈴木さんが貸し出しの仕事を手伝っている。	手伝う	KK	—
15	181	ごぶさたしています。	ご無沙汰す	SJ+	—

			る		
15	181	だれか借りてってるんじゃないかな。	借りていく	KJ	—
15	186	ドアが開いている。	開く	KJ	—
15	187	ドアが開いている。	開く	KJ	—
15	187	ドアが開いている。	開く	KJ	—
15	188	あ、お金が落ちている。	落ちる	KJ	—
15	191	だれか（が）ドアをロックしています。	ロックする	UJ-	—
15	193	きのうは一日中雨が降っていました。	降る	UJ-	—
15	197	山下：先生、ごぶさたしてます。	ご無沙汰する	SJ+	—
15	199	鈴木：どう、論文、進んでる。	進む	UJ+	—
15	199	田中：あ、東京なんです。どこかの会社にインタビューに行くって言ってましたけど。	言う	KR	—
15	200	山下：田中さん、どうしてる。	する	UJ+	—
15	200	リサ：今、論文ですごくいそがしいって言ってたけど。	言う	KR	—
15	200	田中：ええと、エキスパート・システムについてさがしているんですけど。	探す	UJ-	—
16	205	山下：「ノア」です。2階がディスコになっているところなんですけど。	なる	SJ+	◎
16	206	論文のほうはどうですか。ぼくはあまり進んでいません。	進む	SJ+	—
16	206	気がついたらもう11時すぎて、バスはないし、先輩の鈴木さんはよっぱらっていたし、タクシーで帰ってきました。	酔っ払う	KR	—
16	208	2階がディスコになっているところ。	なる	SJ+	◎
16	210	北海道を旅行しようと思っています。	思う	UJ-	—
16	211	九州を旅行しようと思っています。	思う	UJ-	—
16	212	毎日ラジオを聞いたり、テレビを見たりしています。	する	KK	—
16	212	友だちに会ったり、買い物したりしようと思っています。	思う	UJ-	—
16	216	スミスさんが国に帰るのを知っていますか。	知る	SJ+	—
16	216	ゆうべ鈴木さんがきれいな女の人と歩いているのを見ました。	歩く	UJ-	◎

16	216	電話がなっているのが聞こえませんか。	なる	UJ-	◎
16	217	2階がディスコになっているところです。	なる	SJ+	◎
16	218	2階がディスコになっているところです。	なる	SJ+	◎
16	218	B: ああ、あそこでコピーをとっている人です。	取る	UJ-	◎
16	218	B: あそのの、地下が駐車場になっているビルですよ。	なる	SJ+	◎
16	224	山下: 「ノア」です。2階がディスコになっているところなんですけど。	なる	SJ+	◎
まとめ2	231	お金もないし、雨も降っているし、どこへも行かない。	降る	UJ-	—
まとめ2	231	ロペスさんは夏休みに国に帰りたっています。	言う	KR	—
まとめ2	231	田中さんはパーティーに行かないって言うていたよ。	言う	KR	—
まとめ2	232	2階がディスコになっているところです。	なる	SJ+	◎
まとめ2	234	お金が落ちていますよ。	落ちる	KJ	—
まとめ2	234	うちの前に車が止まっていますよ。	止まる	KJ	—
まとめ2	236	たろうが読んでいますよ。	読む	UJ-	—
まとめ2	236	新聞は、たろうが読んでいますよ。	読む	UJ-	—
まとめ2	237	たろうが読んでいますよ。	読む	UJ-	—

### Situational Functional Japanese Volume 3

課	ページ	文	動詞	用法	連体修飾
17	2	リサ: あら、クラブって何やってるんですか。	やる	UJ-	—
17	3	リサ: いいえ、先生に翻訳のチェックしてほしいって頼まれてるんです。	頼まれる	KJ	—
17	3	リサさんに来てほしいと思って誘ったが、先生に頼まれている仕事があるからとことわ	頼まれる	KJ	◎

		られた。			
17	5	先生に翻訳のチェックしてほしいって頼まれてるんです。	頼まれる	KJ	—
17	6	鈴木さんは車がほしいと言っています。	言う	KR	—
17	7	アニルさんはビデオがほしいと言っています。	言う	KR	—
17	7	田中さんが翻訳をチェックしてほしいと言っています。	言う	KR	—
17	9	田中さんがあした6時に来てほしいと言っています。	言う	KR	—
17	9	田中さんがあした6時に来てもらいたいと言っています。	言う	KR	—
17	11	アニルさんはおいしそうなケーキを食べています。	食べる	UJ-	—
17	11	学生たちは楽しそうに話をしています。	話す	UJ-	—
17	11	学生たちはおいしそうにビールを飲んでいきます。	飲む	UJ-	—
17	13	こんばん（私は）木村先生に食事にさそわれています。	誘われる	KJ	—
17	22	A：キネカで「レインマン」やってるんです。	やる	UJ-	—
17	22	A：キネカで「レインマン」やってるんです。	やる	UJ-	—
17	23	A：キネカで「レインマン」やってるの。	やる	UJ-	—
17	24	B：今度土曜日は、保証人のお宅に行くことになってるから。	なる	SJ+	—
18	26	奥さん：すみません。まだ帰ってきてないんですよ。	来る	KR	—
18	26	奥さん：そうですね。10時ごろには帰ってると思いますけど。	帰る	KJ	—
18	27	先生は、「あしたは鈴木さんに発表してもらおう」とおっしゃってましたので、よろしくお願いします。	おっしゃる	KR	—
18	38	誰がコンピュータを使ったか知っていますか。	知る	SJ+	—
18	38	田中さんがコンピュータを使ったかどうか知っていますか。	知る	SJ+	—

18	40	B：うん、いいよ。あっ、千円しか持っていない。	持つ	SJ+	—
18	41	ひらがなしか覚えていない。	覚える	SJ+	—
18	41	千円だけ持っている。	持つ	SJ+	—
18	41	ひらがなだけ覚えている。	覚える	UJ-	—
18	41	千円しか持っていない。	持つ	SJ+	—
18	41	千円だけ持っている。	持つ	SJ+	—
18	43	田中：はい。じゃ、お待ちしております。	待つ	UJ-	—
18	43	B：はい。お待ちしております。	待つ	UJ-	—
18	43	田中：7時ごろっておっしゃってたよ。	おっしゃる	KR	—
18	44	みどりの母：あ、いまちょっと出かけてますけど。	出かける	KJ	—
18	44	Secretary：もうしわけございません。社長は、ただいま外出しておりますが。	外出する	KJ	—
18	46	みどりの母：あ、いまちょっと出かけてますけど。	出かける	KJ	—
18		木村夫人：すみません。まだ帰ってきてないんですが。	来る	SJ+	—
18	47	会社の人：少々お待ちください。すみません。今ちょっと席をはずしてありますが。	席をはずす	KJ	—
18	47	鈴木：すみません。いまちょっと席をはずしていらっしゃいますが。	席をはずす	KJ	—
18	47	B：すみません。まだお見えになってませんが。	お見えになる	KR	—
18	48	きょうは遅くなるって言ってましたけど。	言う	KR	—
18	49	みどりの母：10時ごろ帰るって言ってましたけど。	言う	KR	—
18	49	木村夫人：そうですね。10時ごろには帰ってると思いますけど。	帰る	KJ	—
18	50	B：すみません。まだお見えになってませんが。	お見えになる	KR	—
18	50	みどりの母：きょうは遅くなるって言ってましたけど。	言う	KR	—
18	50	鈴木：いまちょっと席をはずしていらっしゃいますが。	席をはずす	KJ	—

18	53	鈴木：お宅に電話してくださいとおっしゃってました。	おっしゃる	KR	—
18	54	友だちの家に電話して、「ただ今留守にしております。ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。	留守にする	SJ+	—
19	58	今後の研究計画については、先生のご意見を参考にして、もう1度考えてみようと思っています。	思う	UJ-	—
19	69	A：結婚されていますか。	結婚される	KJ	—
20	84	山下：アニルさん、何してんの。	する	UJ-	—
20	86	何してんの。	する	UJ-	—
20	86	何をしていますか。	する	UJ-	—
20	91	晩ごはんを食べているとき、電話がなった。	食べる	UJ-	◎
20	93	私はピアノをひいているときが一番楽しい。	引く	UJ-	◎
20	104	お、いいネクタイしてるね。	ネクタイする	SJ+	—
20	105	A：台風が来て（い）るらしいですよ。	来る	UJ-	—
20	108	A：折り紙って、知ってる。	知る	SJ+	—
まとめ3	113	アニルさんはきれいなアパートに住んでいます。	住む	UJ+	—
まとめ3	114	病気がなおって、いまは元気に大学に行っています。	行く	UJ+	—
まとめ3	115	宿題がまだできていません。	できる	KR	—
まとめ3	115	この車のエンジンはセラミックスでできている。	できる	KJ	—
まとめ3	116	年をとったら、1人で世界旅行に出かけようと思っている。	思う	UJ-	—
まとめ3	118	本を読んでいる。	読む	UJ-	—
まとめ3	121	いいネクタイしてるね。	ネクタイする	SJ+	—
まとめ3	128	何してんの。	する	UJ-	—
まとめ3	128	何をしていますの。	する	UJ-	—

まとめ	129	困ってたんですよ。	困る	SJ+	—
まとめ3	129	困っていたんですよ。	困る	SJ+	—
まとめ3	129	やってないの。	やる	SJ+	—
まとめ3	129	やっていないの。	やる	SJ+	—
まとめ3	130	何してんの。	する	UJ-	—
まとめ3	130	何しているの。	する	UJ-	—
21	132	隣の人：今、友達が集まって、ちょっとパーティーをやってるもんですから。	やる	UJ-	—
21	132	山下：あのう、もう11時をすぎてるんですけど。	過ぎる	KJ	—
21	132	山下：レポートを書いているもんですから。お願いします。	書く	UJ-	—
21	133	大家：じゃ、今まで、ずっと間違えていたの。しょうがないわね。	間違える	KR	—
21	134	山下さんはきのうの晩レポートを書いていたが、隣の部屋のパーティーがうるさくてなかなか書けなかった。	書く	KR	—
21	134	隣人は11時をすぎていることに気がついていなかった。	過ぎる	KJ	◎
21	134	隣人は11時をすぎていることに気がついていなかった。	気が付く	SJ+	—
21	134	鈴木さんはもえるごみを出す日ともえないごみを出す日を間違えていた。	間違える	KR	—
21	136	パーティーをやってるもんですから。	やる	UJ-	—
21	141	それとってないんですけど、何の授業ですか。	取る	SJ+	—
21	148	A：あのう、今、論文を書いているんですけど. . .	書く	UJ-	—
21	148	A：もう少し、小さくしていただけないでしょうか。今、論文を書いているもんですから。	書く	UJ-	—

21	152	B: あ、すみません。じつは、ひるまずっと働いているもんですから。	働く	UJ+	—
22	154	リサ: ええ、たいくつしてるんじゃないかと思って。	退屈する	SJ+	—
22	155	リサ: 鈴木さん、自転車に乗ってたんですって。	乗る	KR	—
22	155	鈴木: うん、少しね。でも、単純骨折だからすぐなおるって、医者が言ってた。	言う	KR	—
22	155	鈴木さんが交通事故にあって入院していると聞いて、病院へお見舞いに行った。	入院する	KJ	—
22	155	足のほねが折れてしまったと言っていたが、わりに元気そうで安心した。	言う	KR	—
22	155	自転車に乗っていて、車にぶつけられた時は、もうだめなんじゃないかと思ったという話だったが、1週間ぐらいで退院できるそうさ。	乗る	UJ-	—
22	169	大学に来ないから、病気なんじゃないかと思って、心配していました。	心配する	UJ-	—
22	170	たいくつしているんじゃないかと思って、(音楽のテープを持ってきた。)	退屈する	SJ+	—
22	176	A: たいくつなさってるんじゃないかと思って。	退屈なさる	SJ+	—
22	177	B: ありがとう。ちょうどたいくつしてたの。	退屈する	SJ+	—
22	179	B: いや、たいしたことないですよ。医者は1週間って言ってるんです。	言う	KR	—
22	180	A: 落とさないでね。大切なものが入ってるから。	入る	KJ	—
23	182	鈴木: センターの方からソフト頼まれてるんだけど。	頼まれる	KJ	—
23	182	鈴木: うん。今週中にセンターの方に渡すことになってるから。	なる	SJ+	—
23	184	今週中に留学生センターに渡すことになっているが、1人では間に合いそうもない。	なる	SJ+	—
23	184	困っていたら、たまたま山下君に会った。	困る	SJ+	—
23	191	B: いや、残念だな。今から木村先生と会うことになっているんだ。	なる	SJ+	—

23	191	留学生センターで6か月日本語を勉強することになっています。	なる	SJ+	—
23	192	手紙を書いているところです。	書く	UJ-	◎
23	193	日本へ留学するために日本語を勉強しています。	勉強する	UJ+	—
23	193	入学試験のために夜遅くまで勉強しています。	勉強する	UJ+	—
23	194	日本へ留学するために日本語を勉強しています。	勉強する	UJ+	—
23	196	台風のために新幹線は止まっている。	止まる	KJ	—
23	199	あの、いま、日本語でレポート書いてるんですけど。	書く	UJ-	—
23	204	1人で困ってるんです。	困る	SJ+	—
24	206	田中：ううん、．．．まだ決めてないんですけど。どうして。	決める	KR	—
24	207	山下：あ、鈴木さん。今、田中さんと相談してたんですけどね。	相談する	UJ-	—
24	207	田中：ああ、そうそう。リサさん、日光行ったことないから、行きたいなんて、言ってたんですよね。	言う	KR	—
24	208	どこに行くかまだ決まっていないというので、日光がいいと提案しておきました。	決まる	KR	—
24	208	鈴木さんは、はじめは箱根のほうががいいと言っていたのに、リサさんが日光へ行きたいと言っていたと話したら、「日光もいいなあ」ですって！	言う	KR	—
24	208	鈴木さんは、はじめは箱根のほうががいいと言っていたのに、リサさんが日光へ行きたいと言っていたと話したら、「日光もいいなあ」ですって！	言う	KR	—
24	211	車を買おうと思っています。	思う	UJ-	—
24	214	何年住んでいても、新しい発見があります。	住む	UJ+	—
24	215	こんなに愛しているのに、どうして行ってしまうのですか。	愛す	UJ-	—
24	215	ア Nilさんは寒いのに、半袖シャツを着ている。	着る	KJ	—

24	215	寒いので、アニルさんはセーターを着ている。	着る	KJ	—
24	217	A：山田さんはまだ来ていませんね。	来る	KR	—
24	217	B：ええ、夕べ。いまごろはもうアメリカに着いているはずですよ。	着く	KJ	—
24	219	A：山田さんが来ていますね。	来る	KJ	—
24	220	A：サニさんは日本に何年ぐらい住んでいるの。	住む	UJ+	—
24	220	日本に10年ぐらい住んでいる。	住む	KR	—
24	230	田中：山下さんはどう思ってるのよ。	思う	UJ-	—
まとめ3	234	勉強しているとき、いつもアニルさんに来られます。	勉強する	KK	◎
まとめ3	237	実はまだ準備ができていないんです。	できる	KR	—
まとめ3	238	できるだけ日本語で話そうと思っている。	思う	UJ-	—
まとめ3	239	6年間もずっとこのアパートに住んでいる。	住む	UJ+	—
まとめ3	239	毎朝ジョギングしています。	ジョギングする	KK	—